



NEARプロジェクト海辺の漂着物調査報告書

2025年度



公益財団法人 環日本海環境協力センター
NPEC Northwest Pacific Region Environmental Cooperation Center

目 次

はじめに

1. 海辺の漂着物調査の概要	1
1.1 海辺の漂着物調査の背景	1
1.2 海辺の漂着物調査の構成	2
1.3 調査主体及び調査海岸	2
1.4 調査方法	6
(1) 漂着物調査	6
(2) マイクロプラスチック調査	7
2. 海辺の漂着物調査の結果	9
2.1 漂着物量の結果	9
(1) 漂着物の重量	9
(2) 漂着物の個数	12
(3) 単位面積あたりの漂着物重量	15
(4) 単位面積あたりの漂着物個数	18
2.2 調査海岸別の漂着物量の結果	21
(1) 海岸別単位面積あたりの漂着物重量	21
(2) 海岸別単位面積あたりの漂着物重量の割合	21
(3) 海岸別単位面積あたりの漂着物個数	21
(4) 海岸別単位面積あたりの漂着物個数の割合	21
2.3 漂着物量の経年変化	26
(1) 全調査海岸の漂着物量の経年変化	26
(2) 継続調査海岸の漂着物量の経年変化	29
(3) 国内・海外起因別の漂着物量の経年変化	48
(4) 分類別の国内・海外起因別漂着物量	50
2.4 エリア別漂着物量の結果	52
(1) エリア別単位面積あたりの漂着物重量	54
(2) エリア別単位面積あたりの漂着物重量の割合	54
(3) エリア別単位面積あたりの漂着物個数	54

(4) エリア別単位面積あたりの漂着物個数の割合	54
(5) エリア別の漂着物量の経年変化	57
(6) エリア別の国内・海外起因別の漂着物量の結果	60
(7) エリア別の国内・海外起因別漂着物量の経年変化	63
2. 5 プラスチック類の小分類別結果	69
(1) プラスチック類の小分類別個数	69
(2) プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数	72
(3) プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数	75
(4) プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数の割合	75
(5) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数	78
(6) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数の割合	78
3. マイクロプラスチック調査の結果	80
3. 1 マイクロプラスチック量の結果	80
(1) マイクロプラスチックの分類別単位面積あたりの個数	80
(2) マイクロプラスチックの分類別単位体積あたりの個数	82
(3) マイクロプラスチックの海岸別単位面積あたりの個数	84
(4) マイクロプラスチックの海岸別単位体積あたりの個数	84
(5) マイクロプラスチックの海岸別単位面積あたりの個数と体積の割合	84
(6) エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位面積あたりの個数	89
(7) エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位面積あたりの個数の割合	89
(8) エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位体積あたりの個数	89
(9) エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位体積あたりの個数の割合	89
4. 漂着物とマイクロプラスチックの相関について	92
4. 1 漂着物のプラスチック類等とマイクロプラスチックの相関	92
4. 2 漂着物のプラスチック破片類等とマイクロプラスチックの相関	94
5. 調査結果のまとめ	98

はじめに

日本海及び黄海は陸地に囲まれた閉鎖性の高い海域であり、近年、沿岸地域における社会・経済活動による環境負荷が増大し、海洋環境の悪化や海洋生物への影響等が心配されている。

日本海及び黄海沿岸における漂流・漂着物も国際的な環境問題の一つとして注目されており、環日本海地域の「産・学・官」が協力して解決に取り組むべき課題となっている。

このような中、富山県の提案により 1996 年度から開始された海辺の漂着物調査は、北東アジア地域自治体連合 (NEAR) 環境分科委員会の共同プロジェクトとして、多くの自治体等が参加して継続的に実施されており、地域レベルの国際環境協力のモデルケースの一つになっている。

この調査を通じて、漂流・漂着物対策の基礎資料として有用な情報を得られるだけでなく、参加者の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育むことができるため、漂流・漂着物問題の解決に貢献できるのではないかと期待している。

この報告書は、2025 年度に北東アジア地域の自治体、市民等が共同で実施した海辺の漂着物調査の結果を取りまとめたものであり、こうした情報が関係者の間で共有され、対策の実施や市民等への啓発に活用されることで、漂流・漂着物問題の解決に寄与できれば幸いである。

1. 海辺の漂着物調査の概要

1. 1 海辺の漂着物調査の背景

海辺の漂着物調査は、海洋環境保全対策や廃棄物対策、漁場保全対策の基礎資料を得るとともに、沿岸住民の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育み、さらには、環日本海海域の沿岸自治体とのネットワーク形成を目的として、富山県の主唱により 1996 年度に日本国内 10 自治体の連携・協力により開始したものである。

翌 1997 年度からは、(公財)環日本海環境協力センターが事務局業務を担い日本海沿岸の国際共同調査として、また、2010 年度からは「NEAR プロジェクト海辺の漂着物調査」として、日本、中国、韓国、ロシアの自治体が参加する国際共同調査を実施している。

2018 年度には生態系への悪影響が懸念され、世界的に関心が高まっているマイクロプラスチックについても調査項目に追加し、さらに、2021 年度にはマイクロプラスチックの分類別の調査をスタートしている。

これまで、北東アジア地域の沿岸4か国の 38 自治体、268 海岸において、延べ 48,385 人の参加者の協力を得て調査を実施している。

延べ参加人数の推移を図1. 1-1に示す。

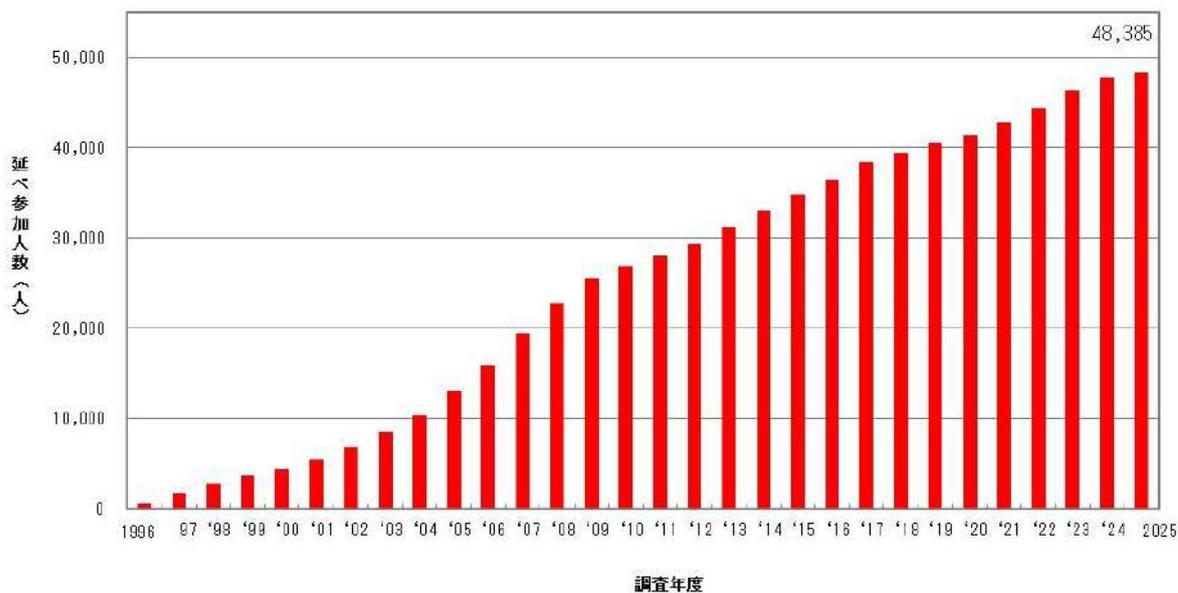


図1. 1-1 延べ参加人数の推移

1. 2 海辺の漂着物調査の構成

調査全体のフローを図1. 2-1に示す。

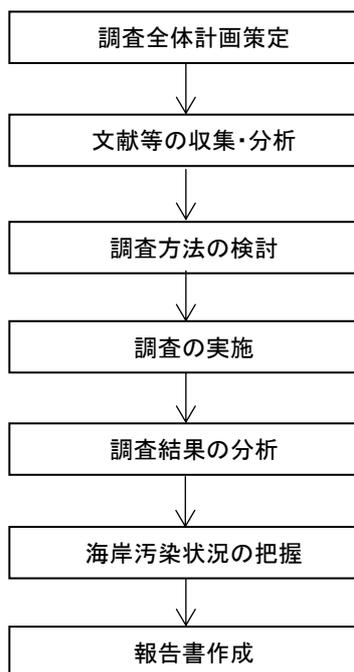


図1. 2-1 調査全体のフロー

1. 3 調査主体及び調査海岸

調査は、各県や市町村が中心となり、地元の市町村、NGO・NPO、小・中学校等と連携・協力して行った。2025年度は、9月5日から11月26日までの期間に、日本、韓国、ロシアの3か国の9自治体、23海岸において、延べ643人が調査に参加した。このうち、マイクロプラスチック調査においては、8自治体、17海岸43地点で実施した。

調査海岸は、原則として大きな河川の河口から1km以内、あるいは前面に消波ブロック等が設置されている海岸を除く砂浜海岸から選定した。

調査位置を図1. 3-1、調査海岸、調査参加団体を表1. 3-1~2に示す。

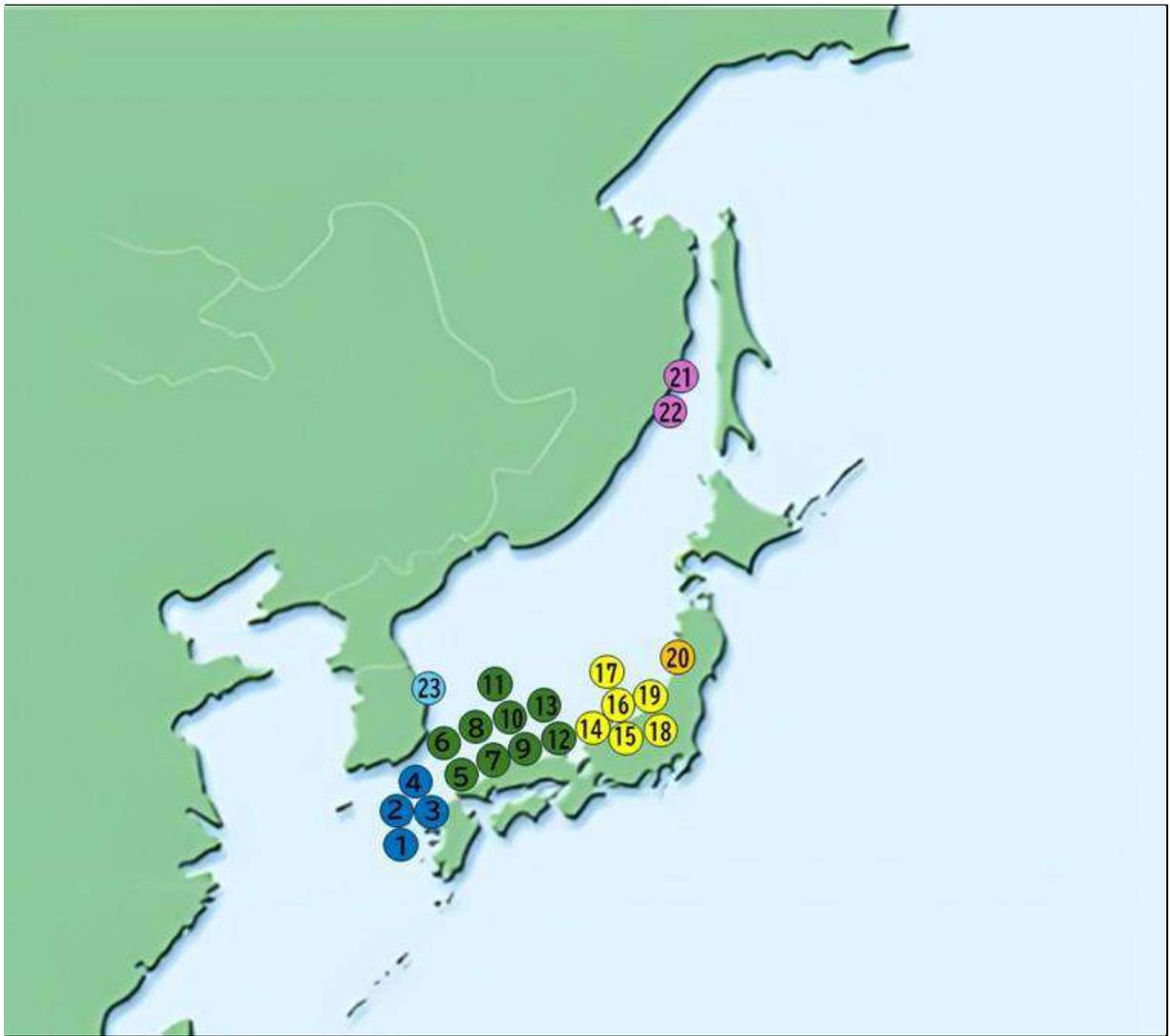


図1. 3-1 2025年度 調査位置

表1.3-1 調査海岸

番号	エリア	所在地	調査海岸	海岸コード	調査実施日	参加人数	列数/区画数		調査面積 (m ²)	マイクロプラスチック 調査地点数		
1	A	長崎県	田尾海岸	J 42 - 14	10/16	4	1列	3区画	300	1地点		
2			蛤浜海水浴場	J 42 - 11	9/30	12	3列	3区画	300	3地点		
3			湊浜海浜公園	J 42 - 13	9/18	5	1列	3区画	300	1地点		
4			里浜海水浴場	J 42 - 12	9/30	5	2列	4区画	400	3地点		
5	B	山口県	大浜海岸	J 35 - 05	10/1	83	5列	5区画	500	—		
6			島根県	持石海岸	A J 32 - 15A	9/5	29	3列	3区画	300	—	
7				持石海岸	C J 32 - 15C	10/3	32	3列	3区画	300	—	
8				持石海岸	E J 32 - 15E	11/12	22	3列	3区画	300	—	
9				持石海岸	F J 32 - 15F	11/26	25	3列	3区画	300	—	
10				小浜海岸	B J 32 - 19B	9/25	28	3列	3区画	300	—	
11				西浜海岸	J 32 - 17	11/12	5	—	—	—	2地点	
12		鳥取県	弓ヶ浜海岸	J 31 - 11	11/19	25	3列	3区画	300	2地点		
13			浦富海岸	J 31 - 02	11/7	13	3列	3区画	300	3地点		
14		C	石川県	柴垣海岸	J 17 - 06	10/15	35	—	—	1,500	3地点	
15				富山県	島尾・松田江浜	J 16 - 04	9/12	72	4列	4区画	400	3地点
16					松太枝浜	J 16 - 03	9/26	30	2列	2区画	200	3地点
17	海老江海岸				J 16 - 05	10/3	55	4列	4区画	400	3地点	
18	岩瀬浜				J 16 - 02	9/30	44	3列	3区画	300	3地点	
19	宮崎・境海岸				J 16 - 01	10/7	59	4列	4区画	400	3地点	
20	D	山形県	浜中あさり海水浴場	J 06 - 03	10/22	3	1列	3区画	300	3地点		
21	F	ハバロフスク 地方	トキ入江	R 01 - 02	9/9	18	3列	3区画	300	2地点		
22			オブマンナヤ入江	R 01 - 05	9/10	11	3列	3区画	300	2地点		
23	G	江原特別自治道	安木(アンモク)海岸	K 01 - 11	10/29	28	2列	6区画	600	3地点		
6エリア 9自治体 23海岸(マイクロプラスチック 8自治体 17海岸)						643人	59列	71区画	8,600	43地点		

表1.3-2 調査参加団体

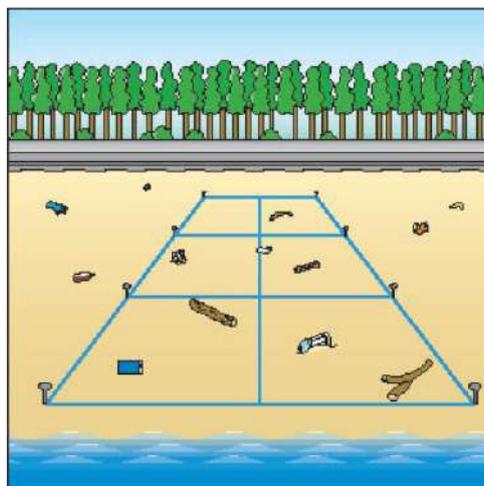
番号	エリア	所在地	調査海岸	調査参加団体		
1	A	長崎県	五島市 田尾海岸	五島市環境生活課、五島保健所		
2			南松浦郡 新上五島町 蛤浜海水浴場	上五島保健所衛生環境課、新上五島町役場住民生活課環境班		
3			対馬市 湊浜海浜公園	対馬市役所、対馬保健所		
4			壱岐市 里浜海水浴場	壱岐保健所		
5	B	山口県	長門市 大浜海岸	長門市生活環境課、長門健康福祉センター、長門市立菱海中学校		
6			島根県	益田市 持石海岸 A	島根県廃棄物対策課、益田市役所、益田地区広域市町村圏事務組合、益田保健所、吉賀町役場、益田市立安田小学校	
7				持石海岸 C	島根県益田県土整備事務所、益田市役所、益田地区広域市町村圏事務組合、吉賀町役場、津和野町役場、浜田海上保安部、吉賀町六日市小学校	
8				持石海岸 E	島根県西部農林水産振興センター、益田市役所、益田地区広域市町村圏事務組合、吉賀町役場、津和野町役場、浜田海上保安部、益田商会、津和野町立日原小学校	
9				持石海岸 F	島根県廃棄物対策課、島根県西部農林水産振興センター、益田市役所、益田地区広域市町村圏事務組合、吉賀町役場、津和野町役場、浜田海上保安部、吉賀町立柿木小学校	
10			小浜海岸 B	益田市役所、益田地区広域市町村圏事務組合、益田保健所、吉賀町役場、浜田海上保安部、益田市立中西小学校		
11			出雲市 西浜海岸	島根県廃棄物対策課、島根県立出雲西高等学校		
12			鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	鳥取県(循環型社会推進課及び西部総合事務所環境建築局環境・循環推進課)、米子市クリーン推進課、鳥取県立境港総合技術高等学校
13					岩美郡岩美町 浦富海岸	鳥取県循環型社会推進課、鳥取市役所、岩美町環境水道課、岩美町観光協会、牧谷自治体、岩見町立渚交流館
14			C	石川県	羽咋市 柴垣海岸	石川県資源循環推進課、羽咋市役所、羽咋市広域圏事務組合、金沢星陵大学野外スポーツ部、石川県立大学、クリーン・ビーチいしかわ実行委員会、国立能登青少年交流の家、櫛環境公害研究センター
15					氷見市 島尾・松田江浜	氷見市環境保全課、氷見市立窪小学校、富山県環境保全課、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス㈱
16	高岡市 松太枝浜	高岡市環境政策課、高岡市立太田小学校、太田校下老人クラブ連合会、富山県環境保全課、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス㈱				
17	射水市 海老江海岸	射水市環境課、射水市河川港湾課、射水市立東明小学校、富山県環境保全課、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス㈱				
18	富山市 岩瀬浜	富山市環境保全課、富山市立岩瀬小学校、富山大学、富山国際大学付属高等学校、富山県環境保全課、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス㈱				
19	下新川郡 朝日町	宮崎・境海岸	朝日町住民・子ども課、朝日町立さみさと小学校、NOWPAP RCU、富山県環境保全課、(公財)環日本海環境協力センター、日本海環境サービス㈱			
20	D	山形県	酒田市 浜中あさり海水浴場	山形県庄内総合支庁保健福祉環境部環境課		
21	F	ハバロフスク地方	ワーニンスキー区 トキ入江	ハバロフスク地方天然資源省、ワニノタウン放課後教育機関「放課後活動センター」、ワニノタウン第2総合学校、第3総合学校、第4総合学校、ワニノタウンオクチャプリスキー総合学校		
22			ソビエツカヤガバン区 オブマンナヤ入江	ハバロフスク地方天然資源省、ソビエツカヤガバン市青少年創造センター「パラダ」、ソビエツカヤガバン市第1号総合学校、ソビエツカヤガバン市第2号総合学校、ソビエツカヤガバン市第3号総合学校、ソビエツカヤガバン市第6号総合学校		
23	G	江原特別自治道	江陵市 安木(アンモク)海岸	カンイル女子高等学校		
6エリア 9自治体 23海岸						

1. 4 調査方法

(1) 漂着物調査

① 採集方法

調査範囲は、原則、調査対象の海岸全体の漂着物が概括的に把握できるよう、また、調査範囲が偏らないように選定し、波打ち際から陸地方向へ連続的に縦横 10mの区画(以下「調査区画」という。)を砂浜が途切れる地点まで設定した。1列あたり最大 10 区画を限度とした。なお、調査区画は原則1列3区画とするが、海岸の奥行きが狭く1列あたり3区画を確保できない場合は、複数列とした。



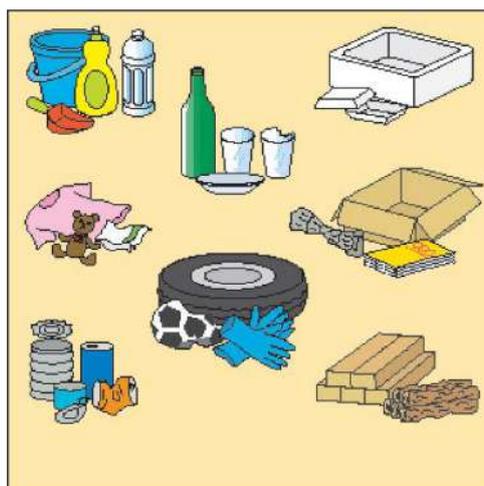
選定した調査範囲について、まず海岸の用途、周辺の状況、直近の清掃状況等の基礎調査を実施し、その後、漂着物調査を実施した。漂着物調査は、調査区画が判るようにビニールひも等で分けした後、区画内の漂着物を全て拾い集めた。集めた漂着物は、区画ごとに種類別に分別し、個数及び重量を測定した。



なお、この調査手法は、一般社団法人 JEAN の調査手法を参考に (公財)環日本海環境協力センターが開発したものである。

② 分類方法

漂着物の分類は、(1)プラスチック類、(2)ゴム類、(3)発泡スチロール類、(4)紙類、(5)布類、(6)ガラス・陶磁器類、(7)金属類、(8)その他の人工物の8種類とし、「大分類」ごとに分別し、重量を測定し、個数の集計をした。また、プラスチック類はさらに9種類の「小分類」に分別し、さらに「品目」に分類した。

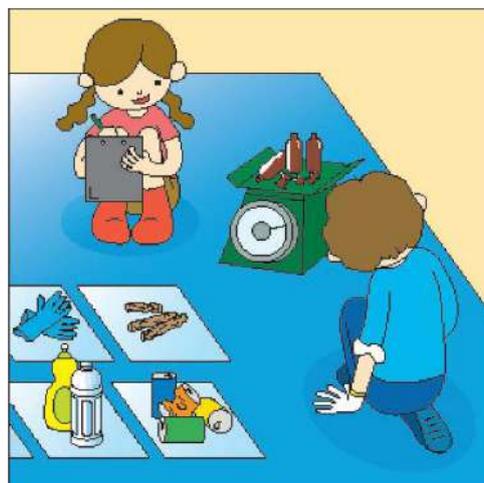


大分類(8分類)	小分類	品目分類
(1)プラスチック類	①袋	食品用・包装用
(2)ゴム類	②プラボトル	スーパー・コンビニの袋
(3)発泡スチロール類	③容器類	お菓子の袋
(4)紙類	④ひも類	その他の袋
(5)布類	⑤雑貨類
(6)ガラス・陶磁器	⑥漁具	
(7)金属類	
(8)その他の人工物		

漂着物に印字されている文字から、①日本、②中国・台湾、③韓国・北朝鮮、④ロシア、⑤その他に分類し、海外のものと特定される漂着物は、その種類と個数を海外起因欄に記入した。

なお、漂着物に文字等が印字されていない発生起因が不明なものについては、全て国内が発生起因として集計を行った。

調査海岸概況票及び調査票の様式については、付属資料に示す。



(2) マイクロプラスチック調査

① 採取方法

調査範囲は、「海辺の漂着物調査」調査区画近辺等の砂地を調査地点として選定し、原則として満潮線上で 10m 程度離れた3地点を目安に縦横 20cm の正方形の区画を設定した。表面の大きなごみ(5mm 超)は、出来るだけ除去した。

区画内の砂を原則 2.5cm の深さまでバケツ等に採取した。(砂採取量約 1,000cm³) 採取した砂を2~3回に分けて、5mm 目ふるいにかけて、バットの上に残った砂を試料とした。

なお、この調査手法は、(公財)環日本海環境協力センターが開発したものであり、可能な限りこれに準じて調査することとしているが、調査地点数や砂の採取面積、深さ(採取体積)、ふるい目(採取したマイクロプラスチックの大きさ)については海岸によって異なる場合がある。



② 分離・分類方法

マイクロプラスチックの分離は、砂粒の大きさや砂の乾湿の状態に応じて、作業方法を変えた。

砂粒の大きさが概ね2mm より小さく、十分に乾いている場合は、ふるいによる分離を行った。

砂粒の大きさが概ね2mm 以上又は砂が湿っている場合は、浮上分離を行った。

調査票の様式については、付属資料に示す。



【ふるいによる分離】

試料を2～3回に分けて概ね2mm 目のふるいにかけた。

ふるいに残ったごみをバットに移し、色、形状等からプラスチックと推定されるごみを集め、8分類ごとに個数を数え、調査票に記録した。(風が強い場合はビニール袋に入れて数えた。)

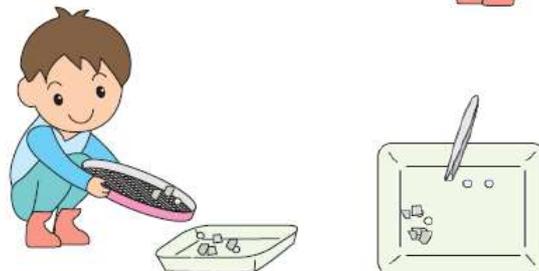


【浮上分離】

試料をバケツに入れ、数Lの水を加えて、よく攪拌した。上澄み液を浮き上がった浮遊物ごと概ね2mm 目ふるいに流し込んだ。同様の操作をもう1回繰り返し、最後にふるい上に残った物を採取した。

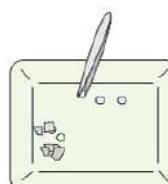
ただし、水より比重が大きいプラスチックは沈降するため、採取できない。

採取した物をバットに移し、色、形状等からプラスチックと推定されるごみを集め、8分類ごとに個数を数え、調査票に記録した。(風が強い場合はビニール袋に入れて数えた。)



【分類方法】

マイクロプラスチックの8分類は、(1)硬質プラスチック破片、(2)シート状破片、(3)繊維状破片、(4)発泡スチロール片、(5)レジンペレット、(6)人工芝破片、(7)肥料コーティングカプセル、(8)その他とした。



2. 海辺の漂着物調査の結果

2. 1 漂着物量の結果

調査で採集した漂着物の重量とその割合を図2. 1-1、表2. 1-1~2に、漂着物の個数とその割合を図2. 1-2、表2. 1-3~4に示す。

また、単位面積（1区画の面積に相当する 100m²）あたりの漂着物重量とその割合を図2. 1-3、表2. 1-5~6に、漂着物個数とその割合を図2. 1-4、表2. 1-7~8に示す。

(1) 漂着物の重量

総重量は 88,595gであり、分類別では、「プラスチック類」が 52,726g(総重量:59.5%)と最も重く、次いで「その他の人工物」が 18,719g(同 21.1%)の順であり、「ゴム類」、「紙類」、「布類」の占める割合は、いずれも総重量の3%未満であった。

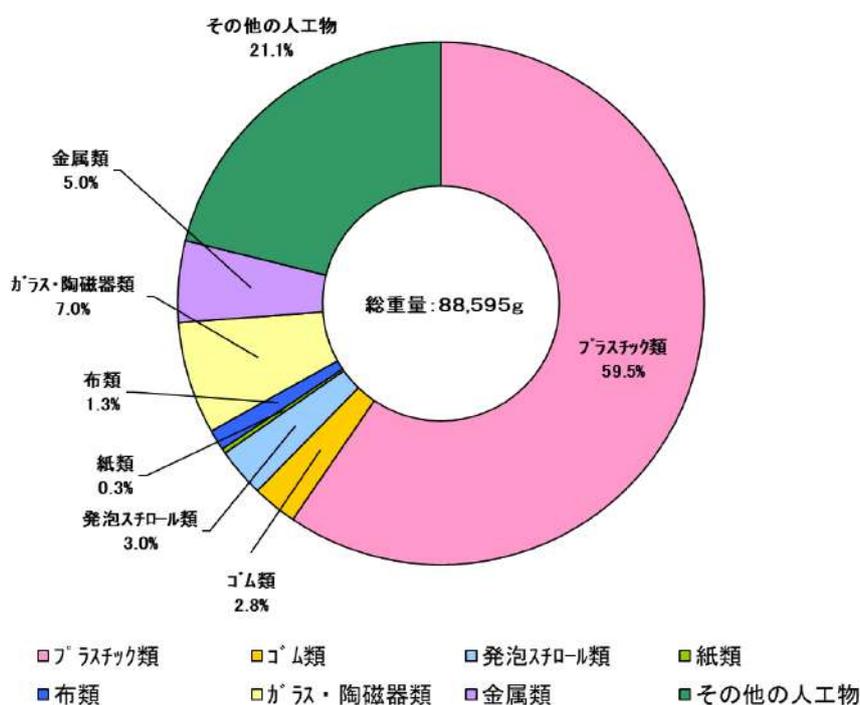


図2. 1-1 漂着物の重量(g)の割合

表2. 1-1 漂着物の重量(g)

	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
総重量 (g)	52,726	2,451	2,680	259	1,135	6,168	4,457	18,719	88,595
割合 (%)	59.5%	2.8%	3.0%	0.3%	1.3%	7.0%	5.0%	21.1%	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

表2. 1-2(1) 漂着物の重量 (g)

重量 (g)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	湊浜海浜公園	里浜海水浴場	大浜海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-13	J42-12	J35-05	J32-15A
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1
	調査面積 (m ²)	300	300	300	400	500	300
(1)プラスチック類		650	248	5,404	5,900	6,002	2,372
(2)ゴム類		0	2	87	0	6	100
(3)発泡スチロール類		5	0	253	0	49	51
(4)紙類		0	0	0	0	2	9
(5)布類		3	0	0	0	0	355
(6)ガラス・陶磁器類		866	0	0	0	33	169
(7)金属類		18	24	542	0	67	243
(8)その他人工物		469	0	1,000	300	1,893	100
合計		2,011	274	7,286	6,200	8,052	3,399

重量 (g)	調査海岸	持石海岸C	持石海岸E	持石海岸F	小浜海岸B	弓ヶ浜海岸	浦富海岸
	海岸コード	J32-15C	J32-15E	J32-15F	J32-19B	J31-11	J31-02
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1
	調査面積 (m ²)	300	300	300	300	300	300
(1)プラスチック類		3,508	3,094	2,539	3,904	3,540	32
(2)ゴム類		183	1,420	1	65	140	5
(3)発泡スチロール類		71	547	524	69	210	4
(4)紙類		8	20	1	8	30	11
(5)布類		224	16	5	199	50	0
(6)ガラス・陶磁器類		0	7	0	1	20	142
(7)金属類		89	90	401	295	0	0
(8)その他人工物		252	500	1	322	2,160	0
合計		4,335	5,694	3,472	4,863	6,150	194

重量 (g)	調査海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり海水浴場
	海岸コード	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1
	調査面積 (m ²)	400	200	400	300	400	300
(1)プラスチック類		3,313	4,580	430	1,183	101	1,500
(2)ゴム類		18	125	7	30	147	0
(3)発泡スチロール類		380	359	15	47	33	8
(4)紙類		2	2	3	1	1	1
(5)布類		1	0	0	3	0	0
(6)ガラス・陶磁器類		200	209	0	466	0	0
(7)金属類		15	181	0	31	0	0
(8)その他人工物		1,848	2,115	941	2,962	3,756	2
合計		5,777	7,571	1,396	4,723	4,038	1,511

表2. 1-2(2) 漂着物の重量 (g)

重量 (g)	調査海岸	トキ入江	オプマンヤ入江	安木 (アノモク)海岸	全調査海岸合計	
	海岸コード	R01-02	R01-05	K01-11		
	調査実施回数	1	1	1	調査実施回数	21
	調査面積 (m ²)	300	300	600	調査面積 (m ²)	7,100
(1)プラスチック類		584	2,174	1,668	52,726	59.5%
(2)ゴム類		21	90	4	2,451	2.8%
(3)発泡スチロール類		19	34	2	2,680	3.0%
(4)紙類		0	158	2	259	0.3%
(5)布類		0	275	4	1,135	1.3%
(6)ガラス・陶磁器類		1,370	2,675	10	6,168	7.0%
(7)金属類		813	1,640	8	4,457	5.0%
(8)その他人工物		73	0	25	18,719	21.1%
合 計		2,880	7,046	1,723	88,595	100.0%

注)小数点以下を四捨五入した。ただし、1g未満のものは1gとした。

なお、表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(参考)

重量 (g)	調査海岸	柴垣海岸
	海岸コード	J17-06
	調査実施回数	1
	調査面積 (m ²)	1,500
(1)プラスチック類		308,435
(2)ゴム類		2,151
(3)発泡スチロール類		65,112
(4)紙類		586
(5)布類		0
(6)ガラス・陶磁器類		8,539
(7)金属類		1,349
(8)その他人工物		519,901
合 計		906,073

注) 上記の海岸については、分類別の重量が測定されていない又は分類方法が異なるため、全調査海岸合計に含めない。

(2) 漂着物の個数

総個数は 11,040 個であり、分類別では、「プラスチック類」が 7,190 個(総個数:65.1%)と最も多く、次いで「発泡スチロール類」が 2,532 個(同 22.9%)の順であり、「ゴム類」、「紙類」、「布類」の占める割合は、いずれも総個数の1%未満であった。

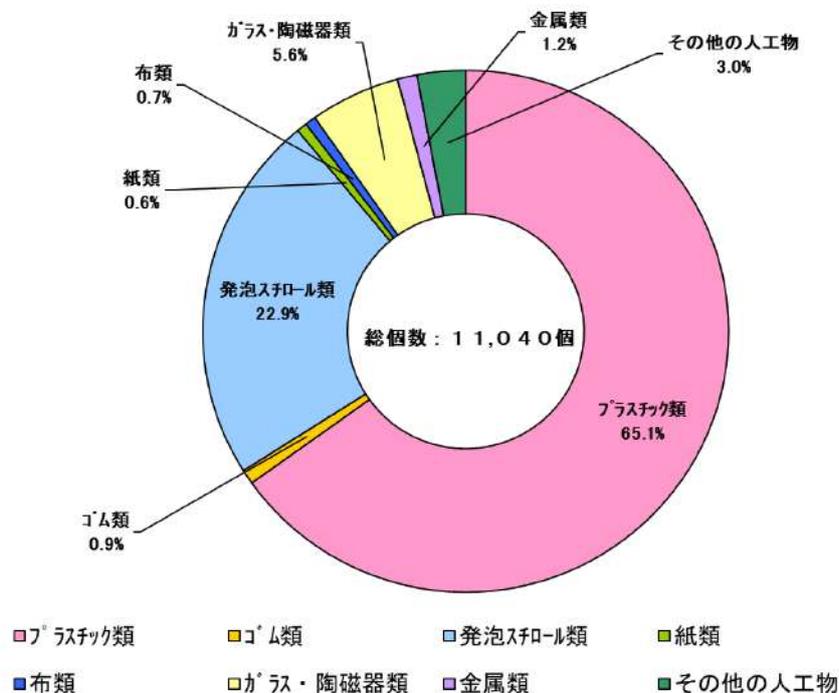


図2. 1-2 漂着物の個数(個)の割合

表2. 1-3 漂着物の個数(個)

	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
総個数(個)	7,190	100	2,532	71	73	613	133	328	11,040
割合(%)	65.1%	0.9%	22.9%	0.6%	0.7%	5.6%	1.2%	3.0%	100.0%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

表2. 1-4(1) 漂着物の個数(個)

個数(個)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	湊浜海浜公園	里浜海水浴場	大浜海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-13	J42-12	J35-05	J32-15A
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1
	調査面積(m ²)	300	300	300	400	500	300
(1)プラスチック類		83	117	464	381	1,060	274
(2)ゴム類		0	11	3	0	6	4
(3)発泡スチロール類		4	0	97	0	112	37
(4)紙類		0	0	0	0	13	6
(5)布類		1	0	0	0	0	13
(6)ガラス・陶磁器類		19	0	0	0	6	2
(7)金属類		2	4	9	0	2	13
(8)その他人工物		1	0	6	1	16	19
合計		110	132	579	382	1,215	368

個数(個)	調査海岸	持石海岸C	持石海岸E	持石海岸F	小浜海岸B	弓ヶ浜海岸	浦富海岸
	海岸コード	J32-15C	J32-15E	J32-15F	J32-19B	J31-11	J31-02
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1
	調査面積(m ²)	300	300	300	300	300	300
(1)プラスチック類		376	165	130	386	372	73
(2)ゴム類		19	5	2	3	8	3
(3)発泡スチロール類		94	89	30	72	253	38
(4)紙類		5	5	1	5	2	4
(5)布類		9	2	4	4	2	0
(6)ガラス・陶磁器類		0	1	0	2	7	3
(7)金属類		9	5	6	12	0	0
(8)その他人工物		8	20	23	8	5	0
合計		520	292	196	492	649	121

個数(個)	調査海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり海水浴場
	海岸コード	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03
	調査実施回数	1	1	1	1	1	1
	調査面積(m ²)	400	200	400	300	400	300
(1)プラスチック類		575	843	850	436	88	49
(2)ゴム類		2	3	7	4	1	0
(3)発泡スチロール類		708	355	185	228	138	9
(4)紙類		3	4	6	1	1	1
(5)布類		1	0	0	1	0	0
(6)ガラス・陶磁器類		3	2	0	7	0	0
(7)金属類		5	6	0	1	0	0
(8)その他人工物		43	22	39	18	12	1
合計		1,340	1,235	1,087	696	240	60

表2. 1-4(2) 漂着物の個数(個)

個数(個)	調査海岸	トキ入江	オブマンヤ入江	安木(アノモク)海岸	全調査海岸合計	
	海岸コード	R01-02	R01-05	K01-11		
	調査実施回数	1	1	1	調査実施回数	21
	調査面積(m ²)	300	300	600	調査面積(m ²)	7,100
(1)プラスチック類		23	306	139	7,190	65.1%
(2)ゴム類		1	10	8	100	0.9%
(3)発泡スチロール類		4	11	68	2,532	22.9%
(4)紙類		0	5	9	71	0.6%
(5)布類		0	16	20	73	0.7%
(6)ガラス・陶磁器類		496	50	15	613	5.6%
(7)金属類		6	32	21	133	1.2%
(8)その他人工物		3	0	83	328	3.0%
合計		533	430	363	11,040	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(参考)

個数(個)	調査海岸	柴垣海岸
	海岸コード	J17-06
	調査実施回数	1
	調査面積(m ²)	1,500
(1)プラスチック類		876
(2)ゴム類		15
(3)発泡スチロール類		89
(4)紙類		7
(5)布類		0
(6)ガラス・陶磁器類		42
(7)金属類		23
(8)その他人工物		49
合計		1,101

注)上記の海岸については、分類別の重量が測定されていない又は分類方法が異なるため、全調査海岸合計に含めない。

(3) 単位面積あたりの漂着物重量

単位面積あたりの漂着物重量(全調査海岸平均)は 1332.5g/100m²となった。

分類別では、「プラスチック類」が 783.3g/100m²(単位面積あたりの総重量:58.8%)と最も重く、次いで「その他の人工物」が 274.5g/100m²(同 20.6%)の順であり、「ゴム類」、「紙類」、「布類」の占める割合は、いずれも重量の3%未満であった。

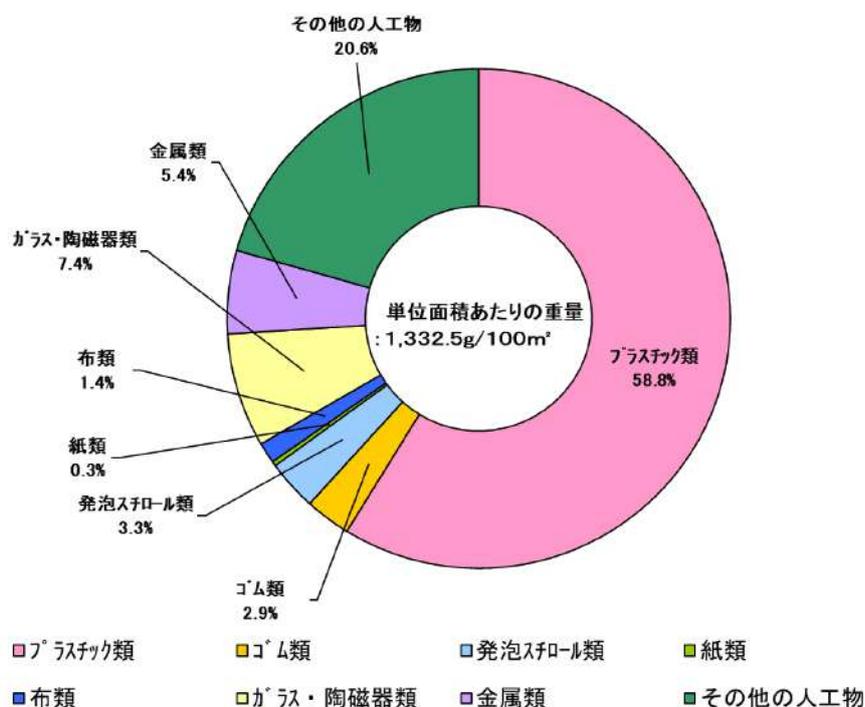


図2. 1-3 単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)の割合

表2. 1-5 単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
単位面積あたりの重量(g/100m ²)	783.3	39.2	43.4	4.1	18.0	98.5	71.6	274.5	1,332.5
割合 (%)	58.8%	2.9%	3.3%	0.3%	1.4%	7.4%	5.4%	20.6%	100.0%

表2. 1-6(1) 単位面積あたりの漂着物重量 (g/100m²)

単位面積あたりの重量(g/100m ²)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	湊浜海浜公園	里浜海水浴場	大浜海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-13	J42-12	J35-05	J32-15A
(1)プラスチック類		216.7	82.7	1,801.3	1,475.0	1,200.4	790.7
(2)ゴム類		0.0	0.7	29.0	0.0	1.2	33.3
(3)発泡スチロール類		1.7	0.0	84.3	0.0	9.8	17.0
(4)紙類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.0
(5)布類		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	118.3
(6)ガラス・陶磁器類		288.7	0.0	0.0	0.0	6.6	56.3
(7)金属類		6.0	8.0	180.7	0.0	13.4	81.0
(8)その他人工物		156.3	0.0	333.3	75.0	378.6	33.3
合計		670.3	91.3	2,428.7	1,550.0	1,610.4	1,133.0

単位面積あたりの重量(g/100m ²)	調査海岸	持石海岸C	持石海岸E	持石海岸F	小浜海岸B	弓ヶ浜海岸	浦富海岸
	海岸コード	J32-15C	J32-15E	J32-15F	J32-19B	J31-11	J31-02
(1)プラスチック類		1,169.3	1,031.3	846.3	1,301.3	1,180.0	10.7
(2)ゴム類		61.0	473.3	0.3	21.7	46.7	1.7
(3)発泡スチロール類		23.7	182.3	174.7	23.0	70.0	1.3
(4)紙類		2.7	6.7	0.3	2.7	10.0	3.7
(5)布類		74.7	5.3	1.7	66.3	16.7	0.0
(6)ガラス・陶磁器類		0.0	2.3	0.0	0.3	6.7	47.3
(7)金属類		29.7	30.0	133.7	98.3	0.0	0.0
(8)その他人工物		84.0	166.7	0.3	107.3	720.0	0.0
合計		1,445.0	1,898.0	1,157.3	1,621.0	2,050.0	64.7

単位面積あたりの重量(g/100m ²)	調査海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり海水浴場
	海岸コード	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03
(1)プラスチック類		828.3	2,290.0	107.5	394.3	25.3	500.0
(2)ゴム類		4.5	62.5	1.8	10.0	36.8	0.0
(3)発泡スチロール類		95.0	179.5	3.8	15.7	8.3	2.7
(4)紙類		0.5	1.0	0.8	0.3	0.3	0.3
(5)布類		0.3	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
(6)ガラス・陶磁器類		50.0	104.5	0.0	155.3	0.0	0.0
(7)金属類		3.8	90.5	0.0	10.3	0.0	0.0
(8)その他人工物		462.0	1,057.5	235.3	987.3	939.0	0.7
合計		1,444.3	3,785.5	349.0	1,574.3	1,009.5	503.7

表2. 1-6(2) 単位面積あたりの漂着物重量 (g/100m²)

単位面積あたりの重量 (g/100m ²)	調査海岸	トキ入江	オブマンヤ入江	安木(アンモク)海岸	全調査海岸平均	
	海岸コード	R01-02	R01-05	K01-11		
(1)プラスチック類		194.7	724.7	278.0	783.3	58.8%
(2)ゴム類		7.0	30.0	0.7	39.2	2.9%
(3)発泡スチロール類		6.3	11.3	0.3	43.4	3.3%
(4)紙類		0.0	52.7	0.3	4.1	0.3%
(5)布類		0.0	91.7	0.7	18.0	1.4%
(6)ガラス・陶磁器類		456.7	891.7	1.7	98.5	7.4%
(7)金属類		271.0	546.7	1.3	71.6	5.4%
(8)その他人工物		24.3	0.0	4.2	274.5	20.6%
合 計		960.0	2,348.7	287.2	1,332.5	100.0%

注) 1. 全調査海岸平均は、各海岸の単位面積あたりの重量を算術平均したものである。

2. 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(参考)

単位面積あたりの重量 (g/100m ²)	調査海岸	柴垣海岸
	海岸コード	J17-06
(1)プラスチック類		20,562.3
(2)ゴム類		143.4
(3)発泡スチロール類		4,340.8
(4)紙類		39.1
(5)布類		0.0
(6)ガラス・陶磁器類		569.3
(7)金属類		89.9
(8)その他人工物		34,660.1
合 計		60,404.9

注) 上記の海岸については、分類別の重量が測定されていない又は分類方法が異なるため、全調査海岸平均に含めない。

(4) 単位面積あたりの漂着物個数

単位面積あたりの漂着物個数(全調査海岸平均)は 162 個/100m²となった。

分類別では、「プラスチック類」が 105 個/100m²(単位面積あたりの総個数:65.0%)と最も多く、次いで「発泡スチロール類」が 38 個/100m²(同 23.2%)の順であり、「ゴム類」、「紙類」、「布類」の占める割合は、いずれも個数の1%未満であった。

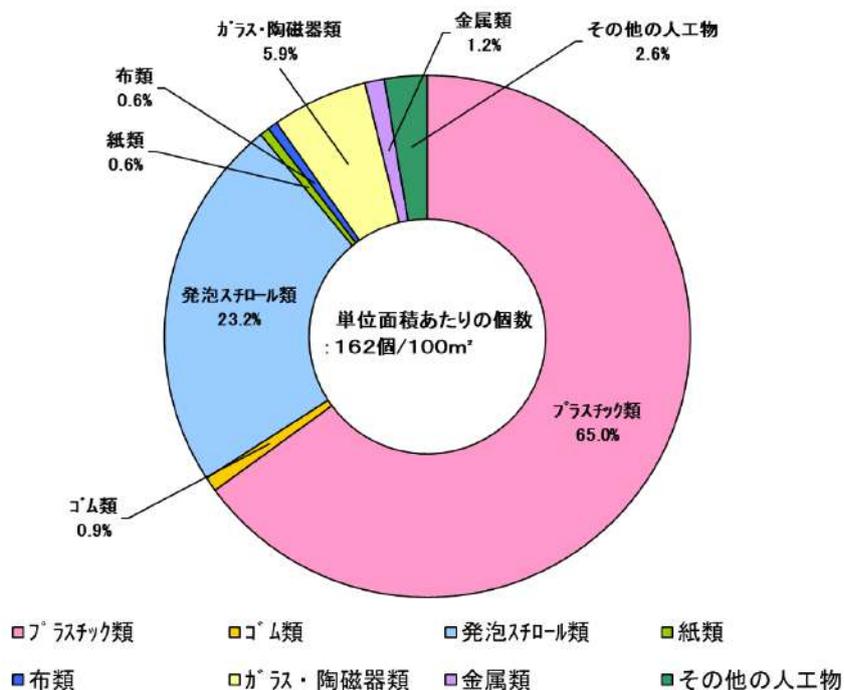


図2.1-4 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)の割合

表2.1-7 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
単位面積あたりの個数(個/100m ²)	105	1	38	1	1	10	2	4	162
割合 (%)	65.0%	0.9%	23.2%	0.6%	0.6%	5.9%	1.2%	2.6%	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

表2. 1-8(1) 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	湊浜海浜公園	里浜海水浴場	大浜海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-13	J42-12	J35-05	J32-15A
(1)プラスチック類		28	39	155	95	212	91
(2)ゴム類		0	4	1	0	1	1
(3)発泡スチロール類		1	0	32	0	22	12
(4)紙類		0	0	0	0	3	2
(5)布類		0	0	0	0	0	4
(6)ガラス・陶磁器類		6	0	0	0	1	1
(7)金属類		1	1	3	0	0	4
(8)その他人工物		0	0	2	0	3	6
合 計		37	44	193	96	243	123

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	持石海岸C	持石海岸E	持石海岸F	小浜海岸B	弓ヶ浜海岸	浦富海岸
	海岸コード	J32-15C	J32-15E	J32-15F	J32-19B	J31-11	J31-02
(1)プラスチック類		125	55	43	129	124	24
(2)ゴム類		6	2	1	1	3	1
(3)発泡スチロール類		31	30	10	24	84	13
(4)紙類		2	2	0	2	1	1
(5)布類		3	1	1	1	1	0
(6)ガラス・陶磁器類		0	0	0	1	2	1
(7)金属類		3	2	2	4	0	0
(8)その他人工物		3	7	8	3	2	0
合 計		173	97	65	164	216	40

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場
	海岸コード	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03
(1)プラスチック類		144	422	213	145	22	16
(2)ゴム類		1	2	2	1	0	0
(3)発泡スチロール類		177	178	46	76	35	3
(4)紙類		1	2	2	0	0	0
(5)布類		0	0	0	0	0	0
(6)ガラス・陶磁器類		1	1	0	2	0	0
(7)金属類		1	3	0	0	0	0
(8)その他人工物		11	11	10	6	3	0
合 計		335	618	272	232	60	20

表2. 1-8(2) 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	トキ入江	オブマンヤ 入江	安木(アンモク)海岸	全調査海岸平均	
	海岸コード	R01-02	R01-05	K01-11		
(1)プラスチック類		8	102	23	105	65.0%
(2)ゴム類		0	3	1	1	0.9%
(3)発泡スチロール類		1	4	11	38	23.2%
(4)紙類		0	2	2	1	0.6%
(5)布類		0	5	3	1	0.6%
(6)ガラス・陶磁器類		165	17	3	10	5.9%
(7)金属類		2	11	4	2	1.2%
(8)その他人工物		1	0	14	4	2.6%
合 計		178	143	61	162	100.0%

注) 1. 全調査海岸平均は、各海岸の単位面積あたりの個数を算術平均したものである。

2. 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(参考)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	柴垣海岸
	海岸コード	J17-06
(1)プラスチック類		58
(2)ゴム類		1
(3)発泡スチロール類		6
(4)紙類		0
(5)布類		0
(6)ガラス・陶磁器類		3
(7)金属類		2
(8)その他人工物		3
合 計		73

注) 上記の海岸については、分類別の重量が測定されていない又は分類方法が異なるため、全調査海岸平均に含めない。

2. 2 調査海岸別の漂着物量の結果

調査海岸別漂着物量の結果については、調査海岸ごとに調査実施面積が異なるため、単位面積あたりの漂着物重量及び個数について比較した。

重量とその割合を図2. 2-1~2、個数とその割合を図2. 2-3~4に示す。

(1) 海岸別単位面積あたりの漂着物重量

海岸別単位面積あたりの漂着物重量は、「松太枝浜(富山県)」が 3785.5g/100m²(全調査海岸平均 1,332.5g/100m²の 2.8 倍)と最も重く、次いで「湊浜海浜公園(長崎県)」2,428.7g/100m²(同 1.8 倍)、「オブマンナヤ入江(ロシア ハバロフスク地方)」2,384.7g/100m²(同 1.8 倍)の順であった。重量が軽かったのは、「浦富海岸(鳥取県)」が 64.7g/100m²、次いで「蛤浜海水浴場(長崎県)」91.3g/100m²、「安木(アンモク)海岸(韓国 江原特別自治道)」287.2g/100m²の順であった。

(2) 海岸別単位面積あたりの漂着物重量の割合

ほとんどの海岸においてプラスチック類の割合が高い傾向にあった。

海岸別での「プラスチック類」の割合は、「浜中あさり海水浴場(山形県)」が 99.3%と最も高く、次いで「安木(アンモク)海岸(韓国 江原特別自治道)」96.8%、「里浜海水浴場(長崎県)」95.2%の順であった。「その他の人工物」の割合は、「宮崎・境海岸(富山県)」が 93.0%と最も高く、次いで「海老江海岸(富山県)」67.4%、「岩瀬浜(富山県)」62.7%の順であった。

(3) 海岸別単位面積あたりの漂着物個数

海岸別単位面積あたりの漂着物個数は、「松太枝浜(富山県)」が 618 個/100m²(全調査海岸平均 162 個/100m²の 3.8 倍)と最も多く、次いで「島尾・松田江浜(富山県)」335 個/100m²(同 2.1 倍)、「海老江海岸(富山県)」272 個/100m²(同 1.7 倍)の順であった。個数が少なかったのは、「浜中あさり海水浴場(山形県)」が 20 個/100m²、次いで「田尾海岸(長崎県)」37 個/100m²、「浦富海岸(鳥取県)」40 個/100m²の順であった。

(4) 海岸別単位面積あたりの漂着物個数の割合

ほとんどの海岸においてプラスチック類の割合が高い傾向にあった。

海岸別での「プラスチック類」の割合は、「里浜海水浴場(長崎県)」が 99.7%と最も高く、次いで「蛤浜海水浴場(長崎県)」88.6%、「大浜海岸(山口県)」87.2%の順であった。「発泡スチロール類」の割合は、「宮崎・境海岸(富山県)」が 57.5%と最も高く、次いで「島尾・松田江浜(富山県)」52.8%、「弓ヶ浜海岸(鳥取県)」39.0%の順であった。

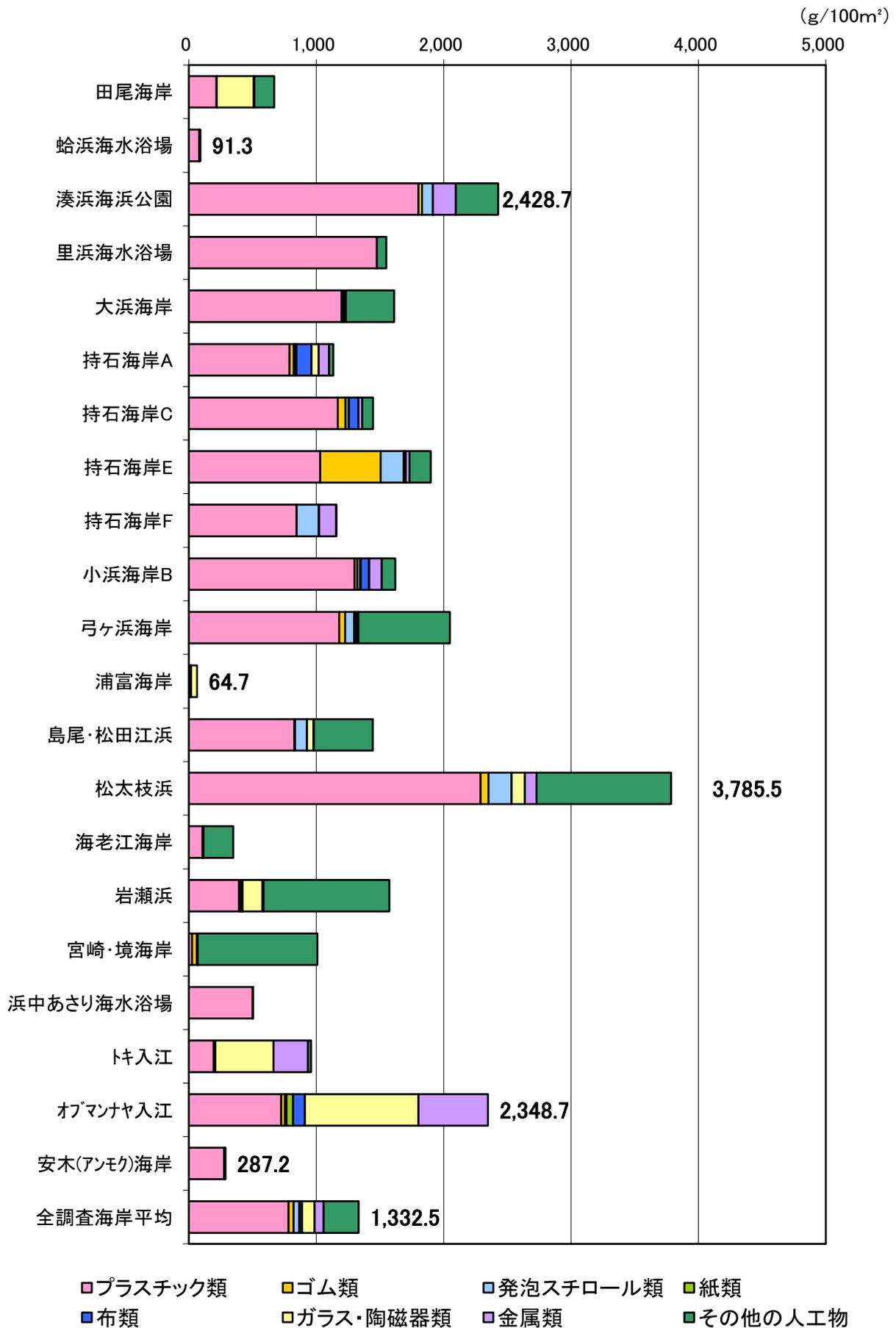


図2. 2-1 海岸別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

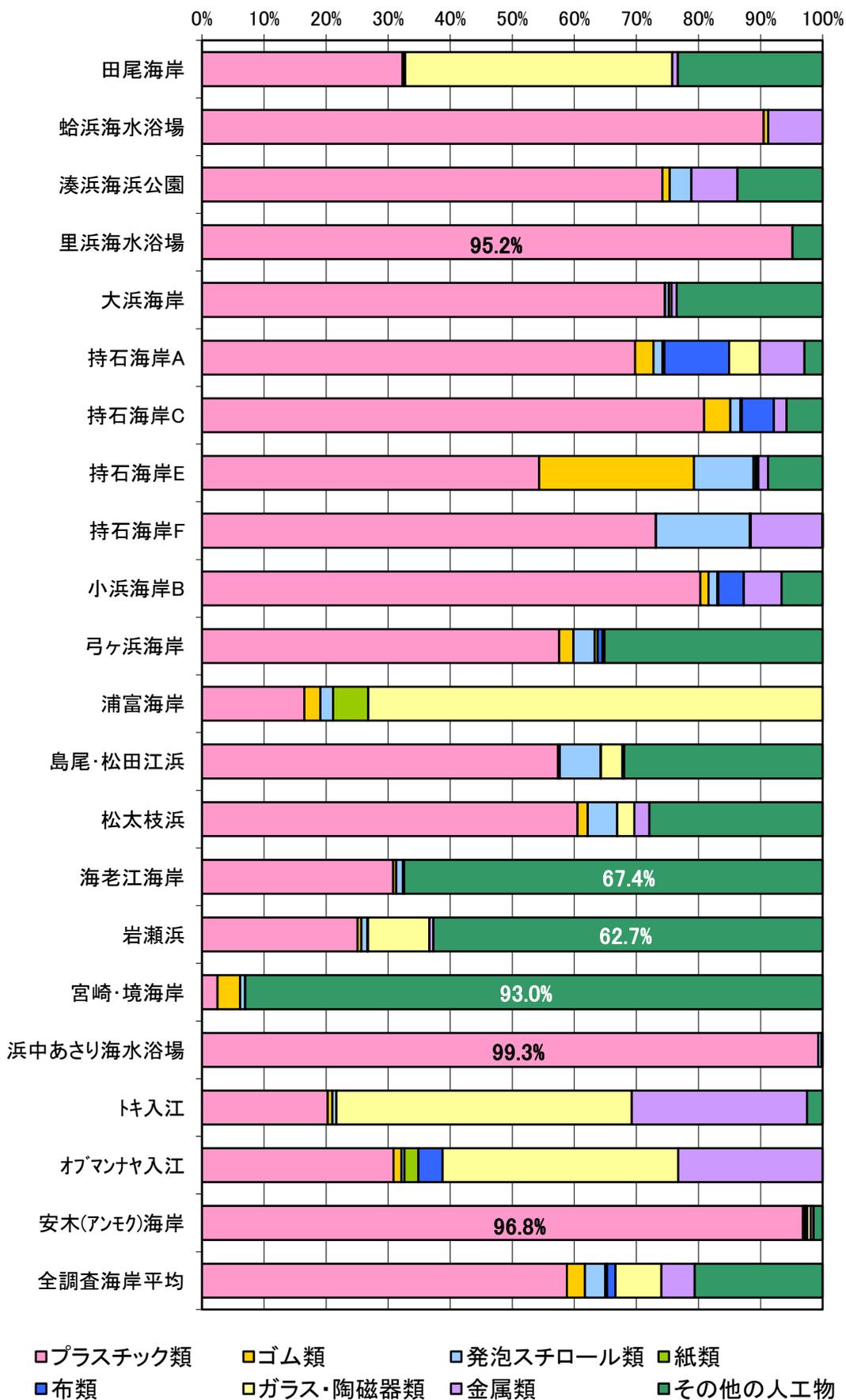


図2. 2-2 海岸別単位面積あたりの漂着物重量の割合(%)

(個/100m²)

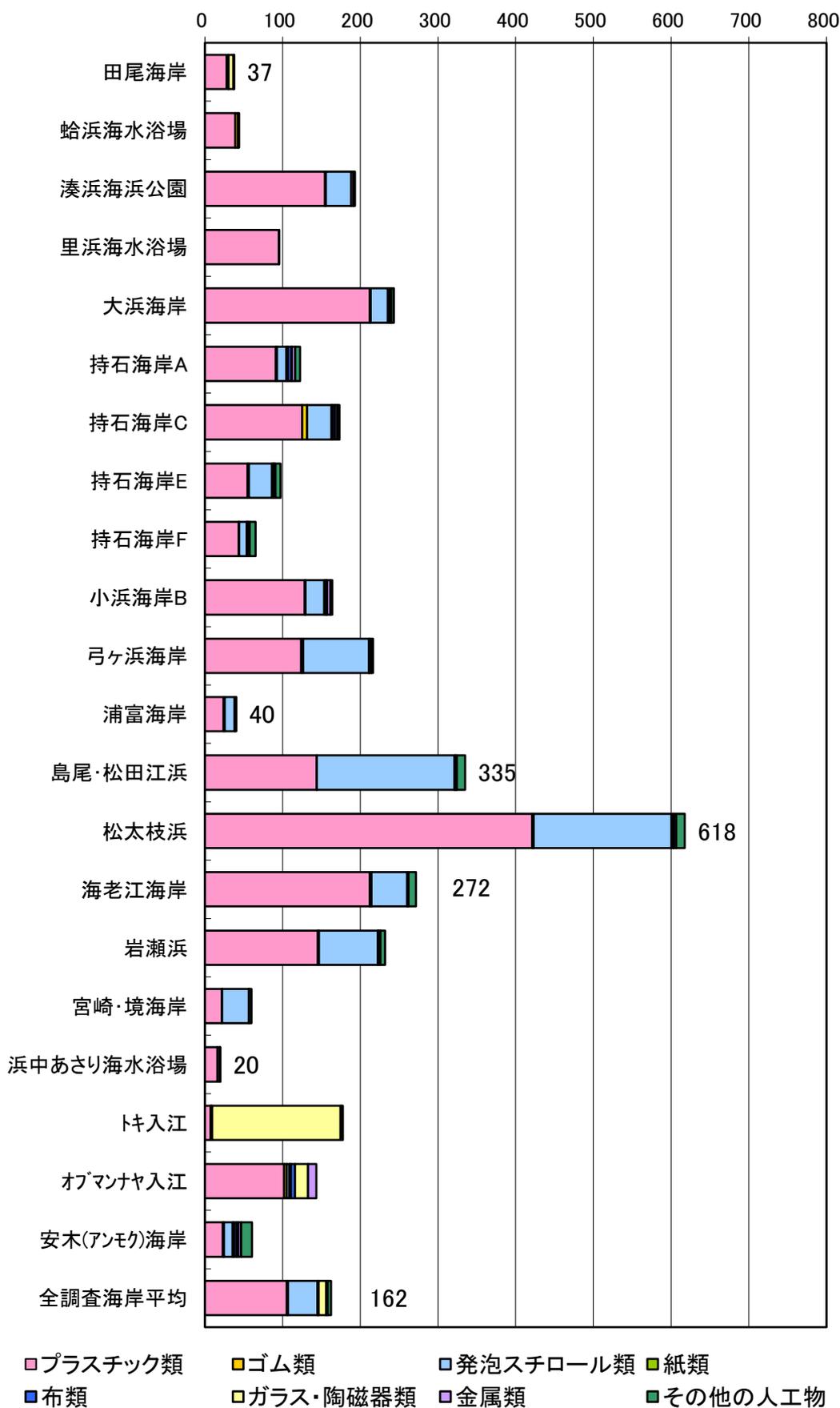


図2. 2-3 海岸別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

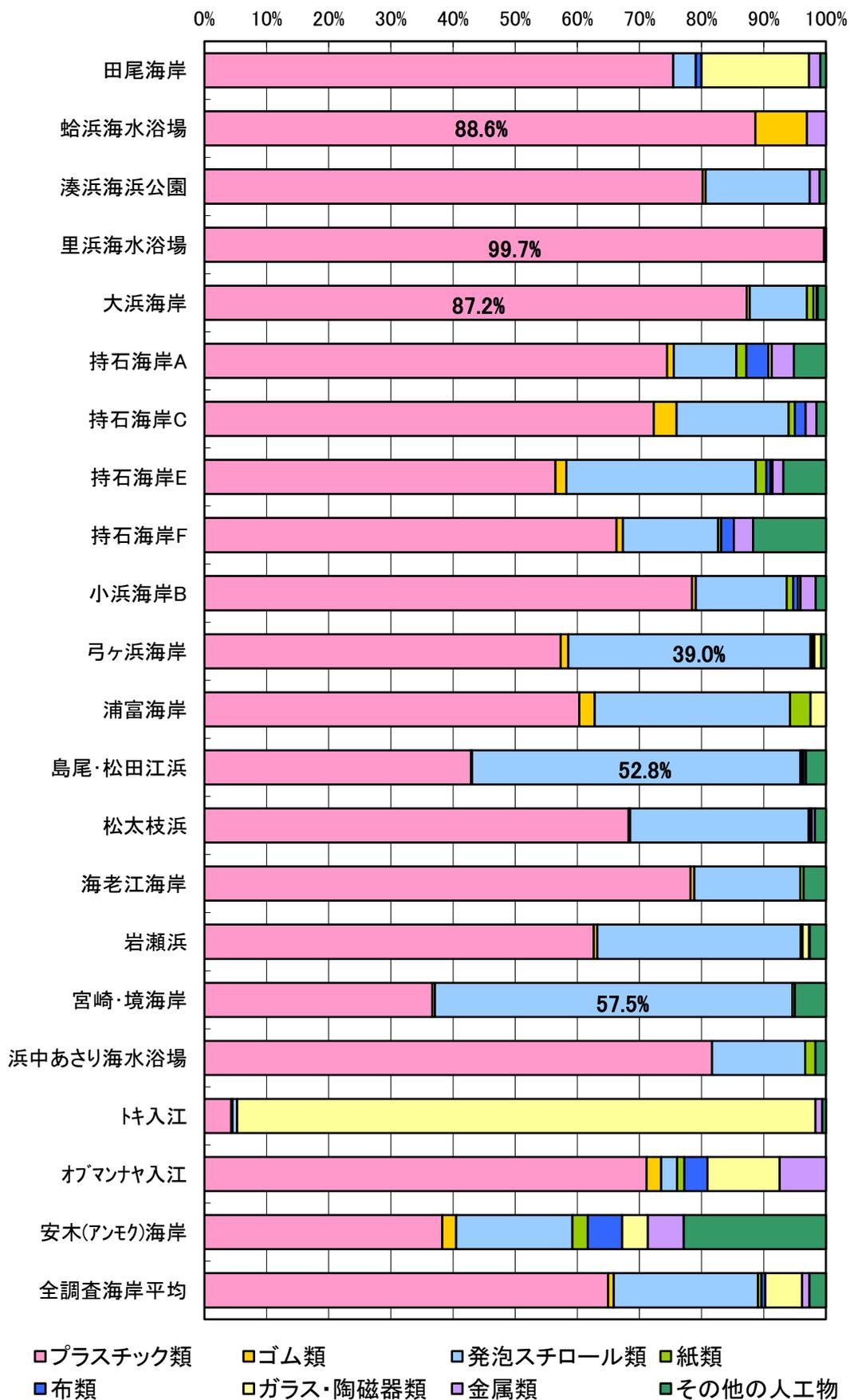


図2. 2-4 海岸別単位面積あたりの漂着物個数の割合(%)

2. 3 漂着物量の経年変化

(1) 全調査海岸の漂着物量の経年変化

2016 年度から 2025 年度までの 10 年間の調査結果について、漂着物量の経年変化を比較した。全調査海岸の単位面積あたりの漂着物重量とその割合の経年変化を図2. 3-1、表2. 3-1、個数とその割合の経年変化を図2. 3-2、表2. 3-2に示す。

① 全調査海岸の単位面積あたりの漂着物重量

全調査海岸の 10 年間の平均重量は $3,239.8\text{g}/100\text{m}^2$ (年度別: $1332.5\sim 4,556.2\text{g}/100\text{m}^2$) であり、2025 年度の平均重量は $1332.5\text{g}/100\text{m}^2$ と平均より軽かった。

10 年間の平均の割合は、「プラスチック類」が 51.9% (同 42.2~65.8%) と最も高く、2025 年度は 58.8% と平均より高かった。次いで「その他の人工物」が 16.0% (同 7.2~24.1%) と高く、2025 年度は 20.6% と平均より高かった。

② 全調査海岸の単位面積あたりの漂着物個数

全調査海岸の 10 年間の平均個数は 214 個/ 100m^2 (年度別: $162\sim 272$ 個/ 100m^2) であり、2025 年度の平均個数は 162 個/ 100m^2 と平均より少なかった。

10 年間の平均の割合は、「プラスチック類」が 70.5% (同 61.5~78.5%) と最も高く、2025 年度は 65.0% と平均より低かった。次いで「発泡スチロール類」が 16.8% (同 12.2~24.9%) と高く、2025 年度は 23.2% と平均より高かった。

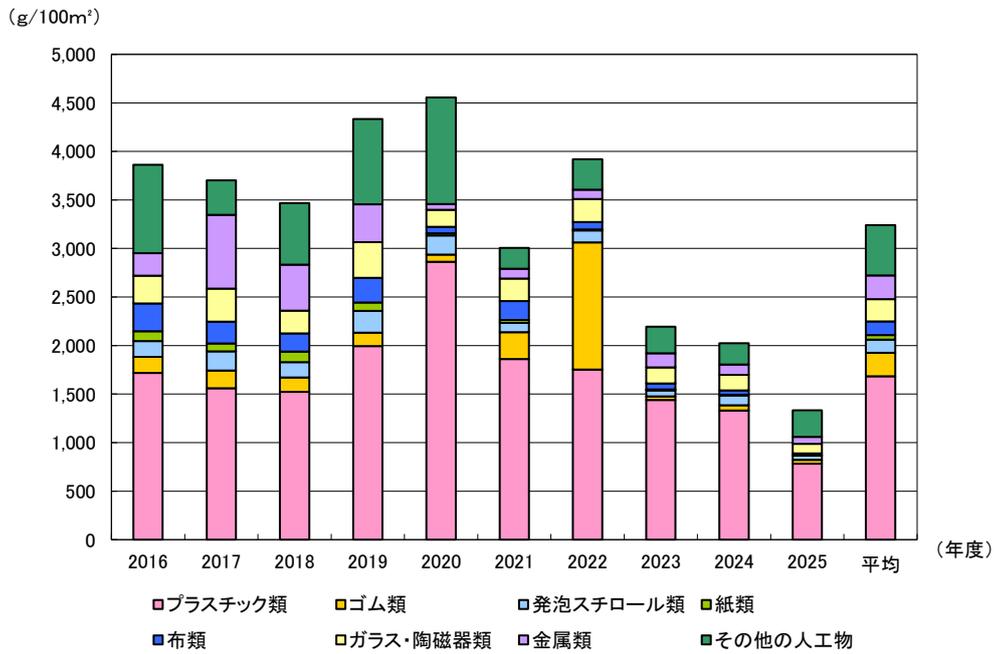


図2. 3-1(1) 単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)

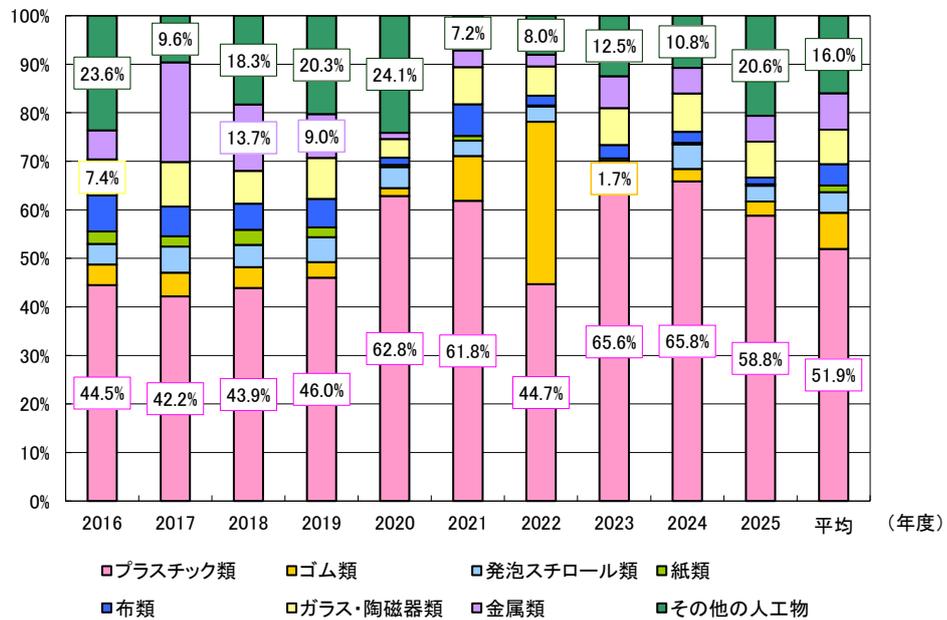


図2. 3-1(2) 単位面積あたりの漂着物重量割合の経年変化(%)

表2. 3-1 単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

調査年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	10年間の平均	割合
調査海岸数	54	54	39	39	33	30	38	36	27	21		
調査回数	54	54	39	39	33	30	38	36	27	21		
プラスチック類	1,718.6	1,561.1	1,522.4	1,994.3	2,863.1	1,859.9	1,752.3	1,438.4	1,331.7	783.3	1,682.5	51.9%
ゴム類	164.2	181.0	148.9	138.4	74.7	277.4	1,311.3	37.7	52.0	39.2	242.5	7.5%
発泡スチロール類	163.9	198.5	158.7	223.6	197.2	95.9	123.6	62.1	102.3	43.4	136.9	4.2%
紙類	100.0	79.8	108.0	86.9	20.4	29.6	8.1	10.7	6.6	4.1	45.4	1.4%
布類	287.9	225.5	187.2	255.5	67.2	195.2	78.0	60.2	45.9	18.0	142.1	4.4%
ガラス・陶磁器類	284.5	340.2	233.1	365.4	175.3	231.1	235.5	166.5	160.1	98.5	229.0	7.1%
金属類	231.6	759.5	475.5	390.2	59.3	102.6	96.3	144.8	106.6	71.6	243.8	7.5%
その他の人工物	912.7	356.4	633.9	879.3	1,098.9	215.5	314.3	273.1	217.5	274.5	517.6	16.0%
合計	3,863.4	3,702.1	3,467.8	4,333.7	4,556.2	3,007.2	3,919.4	2,193.5	2,022.7	1,332.5	3,239.8	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

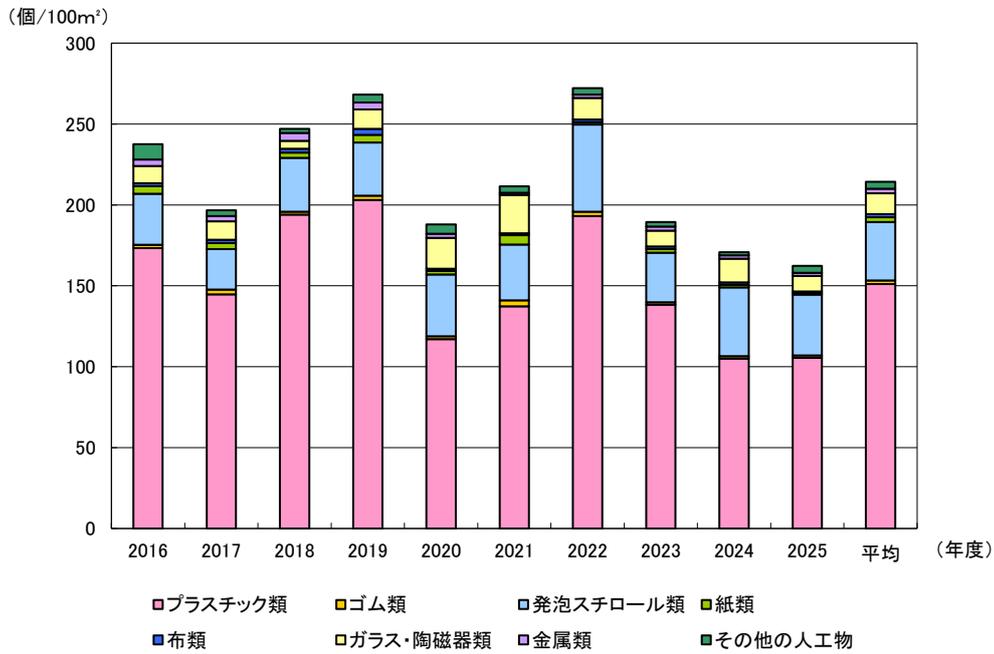


図2. 3-2(1) 単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

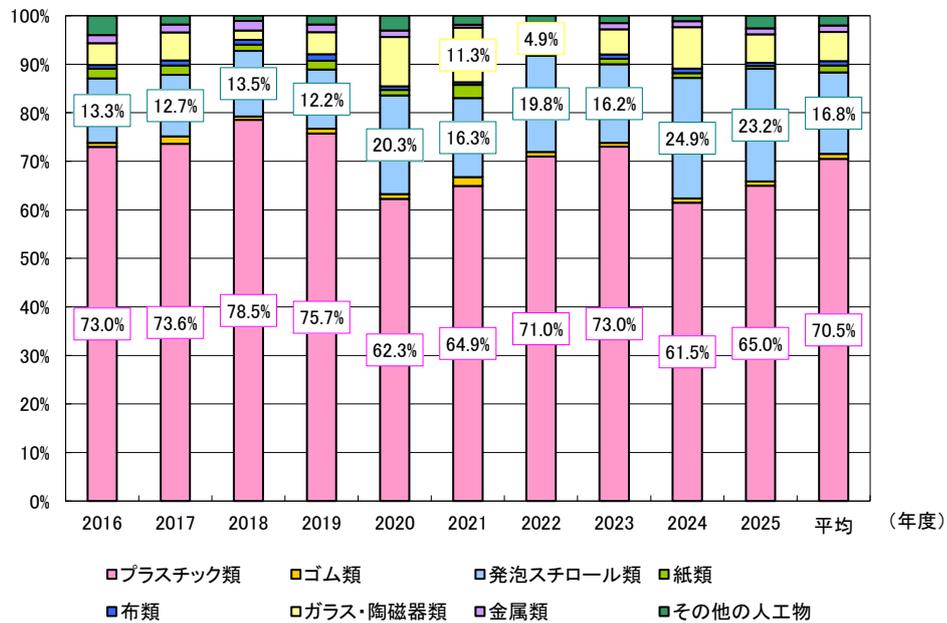


図2. 3-2(2) 単位面積あたりの漂着物個数割合の経年変化(%)

表2. 3-2 単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

調査年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	10年間の平均	割合
調査海岸数	54	54	39	39	33	30	38	36	27	21		
調査回数	54	54	39	39	33	30	38	36	27	21		
プラスチック類	173	145	194	203	117	137	193	138	105	105	151	70.5%
ゴム類	2	3	2	3	2	4	3	2	1	1	2	1.0%
発泡スチロール類	32	25	33	33	38	34	54	31	42	38	36	16.8%
紙類	5	4	3	5	2	6	1	2	2	1	3	1.4%
布類	2	2	2	4	1	1	2	2	2	1	2	0.9%
ガラス・陶磁器類	11	11	5	12	19	24	13	10	15	10	13	6.0%
金属類	4	3	5	4	3	1	2	2	2	2	3	1.3%
その他の人工物	9	4	3	5	6	4	4	3	2	4	4	2.0%
合計	238	197	247	268	188	211	272	189	171	162	214	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(2) 継続調査海岸の漂着物量の経年変化

1996 年度から 2010 年度までの 15 年間で 11 回以上調査を実施した海岸を「継続調査 16 海岸」としていたが、データの連続性を考慮して見直し、「継続調査 16 海岸」のうち、1996 年度から 2021 年度までの 26 年間で 17 回以上調査を実施した海岸を、「継続調査 11 海岸」とした。また、その調査結果について、単位面積あたりの漂着物量の経年変化を比較した。継続調査海岸の位置を図 2. 3-3、単位面積あたりの漂着物重量及び個数の経年変化を表 2. 3-3~4 に示す。

ただし、1996 年度の調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考値として扱い、継続調査海岸の平均漂着物量の算出にあたっては、1996 年度の値を除外した。調査対象期間は、1997 年度から 2025 年度までを示す。

なお、2005 年度から 2009 年度の 5 年間については、1 海岸で 1~4 回調査を実施しているため、単位面積あたりの漂着物量の算出にあたっては、複数回の調査結果合計を調査面積合計で除して求めている。

継続調査海岸の単位面積あたり漂着物重量の経年変化を図 2. 3-4~5、継続調査海岸の単位面積あたり漂着物個数の経年変化を、図 2. 3-6~7 に示す。また、継続調査海岸の分類別単位面積あたり漂着物重量とその割合の経年変化を図 2. 3-8~9 及び表 2. 3-5 に、継続調査海岸の分類別単位面積あたり漂着物個数とその割合の経年変化を図 2. 3-10~11 及び表 2. 3-6 に示す。



図 2. 3-3 継続調査海岸位置

表2. 3-3 継続調査海岸の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化 (g/100m²)

海岸名	年度 (参考) 1996年	年度															
		1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
北浜						12,126.7	11,015.3	1,811.3	2,663.0	7,368.4	5,117.7	3,714.7	1,506.7	3,560.7	6,709.7	4,305.0	9,282.0
二位の浜	5,545.2	2,141.0	3,192.0	8,680.0	7,329.0	4,953.0	3,915.0	1,249.6	4,744.0	5,267.6	9,307.1	3,057.6	6,208.3	5,691.6	4,522.5	4,567.6	1,217.8
浦富海岸		1,324.0	230.0	206.0	1,112.0	1,211.0	203.0	4,076.5	340.0	1,000.3	301.3	62.3	249.3	283.7	1,390.0	596.1	3,646.0
浜坂県民サンビーチ	769.3	900.0	3,911.0	802.0	1,566.0	93.0	38.0	317.8	211.1	234.7	128.8	231.3	113.3				
訓谷浜	842.9	997.0	694.0	214.0	144.0	117.0	149.0	250.6	114.3	159.3	43.9	933.6					
琴引浜海岸		191.0	7,979.7	2,252.3	1,039.0	6,177.0	1,663.3	1,363.7	190.7	64.3	1,287.1	496.0	292.3	1,739.5	282.8	1,408.5	
千里浜海岸	2,232.9	359.0	165.0	1,636.0	675.0	392.0	426.0	986.2	2,346.4	1,178.2	1,274.2	1,140.5	2,624.1	4,043.1	529.7	820.7	1,729.8
島尾・松田江浜	3,229.7	7,061.0	4,615.0		807.0	2,187.0	2,700.0	4,873.5	6,841.8	13,324.5	11,138.4	6,865.0	6,123.5	1,122.7	1,804.5	7,117.3	4,985.0
松太枝浜			5,185.0	1,425.0	864.0	7,771.0	1,751.0	2,791.2	593.0	1,134.5	2,142.1	1,793.4	266.2	1,306.1	100.3	1,511.8	843.3
岩瀬浜	2,930.4	980.0	1,546.0	2,475.0	645.0	2,809.0	892.0	1,716.9	2,575.5	1,709.1	1,148.0	1,146.4	1,276.0	1,867.4	1,325.7	380.3	130.0
宮崎・境海岸	825.4	980.0	697.0	269.0	438.0	648.0	495.0	553.7	208.2	411.3	296.7	314.7	112.0	605.5	803.5	304.3	294.7
四ツ郷屋浜	685.6	4,308.0	960.0	2,351.0	4,084.0	1,317.0	2,281.0	4,777.3	4,185.7	2,249.3	2,743.7	3,171.1	170.5				
浜中あさり海水浴場				2,797.0	2,975.0	736.0	1,116.0	2,072.6		2,339.5	14,119.0	6,765.6	5,160.6	7,117.2	1,376.7	1,987.3	1,468.7
西目海水浴場	3,055.2	1,440.0	1,875.0	5,428.0	4,332.0	6,471.0	1,145.0	3,995.8	488.3	2,281.4	5,667.9	935.5					
出来島海水浴場		29,518.0	4,109.0	1,308.0	4,693.0	2,008.0	1,712.0	2,233.2	5,313.3		2,040.7	7,353.3	1,106.7	3,708.7	2,487.3	1,790.3	1,609.0
石狩浜海水浴場		795.0	779.0	697.0		818.0	494.0	126.9	1,044.7	94.0	504.3	139.3	152.8	36.0	148.5	158.2	
継続調査11海岸平均	2,952.7	5,319.3	3,079.9	2,338.7	2,057.7	3,729.0	2,353.5	2,157.1	2,581.6	3,379.8	4,379.3	2,973.6	2,266.0	2,822.4	1,939.3	2,253.6	2,520.6
継続調査16海岸平均	2,235.2	3,922.6	2,567.0	2,181.5	2,193.1	3,170.5	1,874.7	2,074.8	2,124.0	2,587.8	3,578.8	2,382.5	1,811.6	2,590.2	1,790.1	2,078.9	2,520.6
全調査海岸平均	2,707.1	2,927.7	2,563.6	2,263.1	1,898.2	3,266.6	3,172.2	2,133.5	2,890.9	3,128.7	5,886.0	3,601.6	3,649.4	2,300.1	1,749.2	1,932.8	6,054.6

海岸名	年度	年度													対象期間 の平均	調査 回数
		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		
北浜		3,050.7	2,742.0	2,282.3	10,662.7	1,258.0	7,323.3	14,216.0	4,463.3	9,570.0	18,208.7	2,506.2			6,324.5	23
二位の浜		1,384.3	3,674.5	10,528.5	13,195.2	5,018.0	6,072.7	2,672.9			2,248.0			5,034.9	25	
浦富海岸		145.5	2,446.7	986.3	3,116.7	831.0	250.3	207.3	1,094.0		666.3	1,871.3	91.3	64.7	1,000.1	28
浜坂県民サンビーチ																13
訓谷浜				4,330.0												13
琴引浜海岸		255.0	50.2	260.3	124.4	418.0	92.0	101.3	301.3	184.3	125.9	89.3		1,093.4	26	
千里浜海岸		2,910.8	548.0	268.8	665.0	1,365.5	505.2	433.8						1,174.9	24	
島尾・松田江浜		3,663.2	297.0	2,417.7	5,228.8	2,021.2	4,224.7	3,231.8	3,544.8	987.7	707.7	4,529.4	4,979.5	1,444.3	4,244.4	29
松太枝浜		1,930.2	860.3	367.3	3,082.3	1,633.0	3,220.7	171.0	1,844.0	1,751.5	1,004.5	2,621.5	4,945.5	3,785.5	2,024.8	28
岩瀬浜		2,138.3	136.4	613.8	621.8	175.8	1,450.3	272.0	659.3	1,477.5	299.3	580.8	1,039.3	1,574.3	1,160.7	30
宮崎・境海岸		1,151.8	1,405.5	1,204.2	167.0	372.7	1,621.0	196.0	14.0	17.7	17.5	93.3	70.5	1,009.5	509.4	30
四ツ郷屋浜																13
浜中あさり海水浴場		917.5	719.3	4,401.7	8,979.0	1,412.7	1,220.7	31.3	562.0	2,276.5	432.5	1,315.0	410.7	503.7	2,815.9	26
西目海水浴場																12
出来島海水浴場		1,557.0	6,128.7												4,628.0	17
石狩浜海水浴場																14
継続調査11海岸平均		1,736.7	1,728.1	2,333.1	4,584.3	1,450.6	2,598.1	2,153.4	1,560.4	2,323.6	2,634.5	1,700.8	1,922.8	1,397.0	2,561.2	
継続調査16海岸平均		1,736.7	1,728.1	2,333.1	4,561.2	1,450.6	2,598.1	2,153.4	1,560.4	2,323.6	2,634.5	1,700.8	1,922.8	1,397.0	2,329.3	
全調査海岸平均		2,986.1	3,680.1	2,928.2	3,863.4	3,702.1	3,467.8	4,333.7	4,556.2	3,007.2	3,919.4	2,193.5	2,022.7	1,332.5	3,152.1	

注) 1. 継続調査海岸とは、次の海岸を指す。(16海岸及び11海岸) (数字は図2. 3-3に相当)

北浜 (佐賀県) ①、二位の浜 (山口県) ②、浦富海岸 (鳥取県) ③、浜坂県民サンビーチ (兵庫県)、
 訓谷浜 (兵庫県)、
 琴引浜海岸 (京都府) ④、千里浜海岸 (石川県) ⑤、島尾・松田江浜 (富山県) ⑥、松太枝浜 (富山県) ⑦、岩瀬浜 (富山県) ⑧、
 宮崎・境海岸 (富山県) ⑨、四ツ郷屋浜 (新潟県)、浜中あさり海水浴場 (山形県) ⑩、西目海水浴場 (秋田県)、
 出来島海水浴場 (青森県) ⑪、石狩浜海水浴場 (北海道)

2.  は、調査を実施していない。

3.  は、継続調査11海岸に含まない。

4. 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

表2. 3-4 継続調査海岸の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

海岸名	年度	(参考) 1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
北浜							525	871	1,405	6,089	2,107	594	502	560	156	301	474	841
二位の浜	280	1,858	1,200	1,961	831	529	360	315	440	468	494	372	555	589	667	727	554	
浦富海岸		271	257	235	181	218	466	4,462	991	78	134	84	212	342	892	359	352	
浜坂県民サンビーチ	348	821	624	249	179	98	97	386	260	70	79	226	97					
訓谷浜	184	219	217	302	309	162	145	260	191	54	92	279						
琴引浜海岸		162	834	1,001	294	408	133	334	355	136	272	149	69	408	169	526		
千里浜海岸	31	59	85	306	424	131	280	302	724	319	264	166	125	154	122	425	168	
島尾・松田江浜	304	597	751		375	209	711	1,014	1,034	1,016	1,128	508	1,689	630	366	862	712	
松太枝浜			1,440	836	1,273	1,509	958	954	493	253	659	519	631	456	164	393	486	
岩瀬浜	211	265	125	193	259	243	271	317	283	253	163	164	292	184	563	382	133	
宮崎・境海岸	99	123	451	56	153	104	24	102	64	161	125	40	48	106	94	47	101	
四ツ郷屋浜	79	317	275	713	283	103	277	367	423	202	409	150	41					
浜中あさり海水浴場				349	499	330	384	453		342	119	399	233	210	1,110	314	470	
西目海水浴場	86	132	246	323	164	178	84	147	81	175	164	183						
出来島海水浴場		544	125	139	203	227	126	192	116		97	161	51	80	124	160	44	
石狩浜海水浴場		184	166	112		62	26	17	37	45	38	41	12	24	18	47		
継続調査11海岸平均	185	485	585	564	449	403	417	896	1,059	513	368	279	406	301	416	425	386	
継続調査16海岸平均	180	427	485	484	388	316	326	689	772	379	302	246	330	278	382	393	386	
全調査海岸平均	144	306	296	311	242	258	255	427	402	370	428	230	273	210	321	206	318	

海岸名	年度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	対象期間 の平均	調査 回数
北浜		500	331	307	678	311	1,338	443	196	632	704	157			870	23
二位の浜		684	814	904	1,244	836	438	999			482				763	25
浦富海岸		264	533	2,099	660	294	289	368	348		332	403	173	40	548	28
浜坂県民サンビーチ															266	13
訓谷浜					409										220	13
琴引浜海岸		291	174	298	443	805	303	538	439	452	181	174			359	26
千里浜海岸		284	82	237	70	178	144	101							224	24
島尾・松田江浜		350	94	302	493	471	341	356	423	541	325	408	403	335	587	29
松太枝浜		605	391	181	1,288	523	402	381	418	379	459	646	614	618	640	28
岩瀬浜		356	159	194	292	59	247	127	213	276	70	251	260	232	235	30
宮崎・境海岸		151	15	86	29	83	250	55	9	12	10	13	35	60	90	30
四ツ郷屋浜															297	13
浜中あさり海水浴場		422	645	574	667	492	532	108	16	270	162	166	79	20	360	26
西目海水浴場															171	12
出来島海水浴場		94	90												151	17
石狩浜海水浴場															59	14
継続調査11海岸平均		364	302	518	586	405	428	348	258	366	303	277	261	218	434	
継続調査16海岸平均		364	302	518	570	405	428	348	258	366	303	277	261	218	386	
全調査海岸平均		191	193	234	238	197	252	268	188	211	272	189	168	168	263	

注) 1. 継続調査海岸とは、次の海岸を指す。(16海岸及び11海岸) (数字は図2. 3-3に相当)

北浜(佐賀県) ①、二位の浜(山口県) ②、浦富海岸(鳥取県) ③、浜坂県民サンビーチ(兵庫県)、訓谷浜(兵庫県)、
琴引浜海岸(京都府) ④、千里浜海岸(石川県) ⑤、島尾・松田江浜(富山県) ⑥、松太枝浜(富山県) ⑦、岩瀬浜(富山県) ⑧、
宮崎・境海岸(富山県) ⑨、四ツ郷屋浜(新潟県)、浜中あさり海水浴場(山形県) ⑩、西目海水浴場(秋田県)、
出来島海水浴場(青森県) ⑪、石狩浜海水浴場(北海道)

2.  は、調査を実施していない。

3.  は、継続調査11海岸に含まない。

4. 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

① 継続調査海岸の単位面積あたりの漂着物重量(11 海岸)

2025 年度は、継続調査 11 海岸のうち調査を実施したのは6海岸で、海岸平均が 1,397.0 g /100m²となった。

対象期間の海岸別の平均重量は、「北浜(佐賀県)」が 6,324.5g/100m²(年度別:1,258.0～18,208.7g/100m²)と最も重い、2025 年度は調査を実施していない。なお、2025 年度に実施した海岸で最も重いのは、「島尾・松田江浜(富山県)」4,244.4g/100m²(同 297.0～13,324.5g /100m²)であり、2025 年度は 1,444.3g/100m²であった。

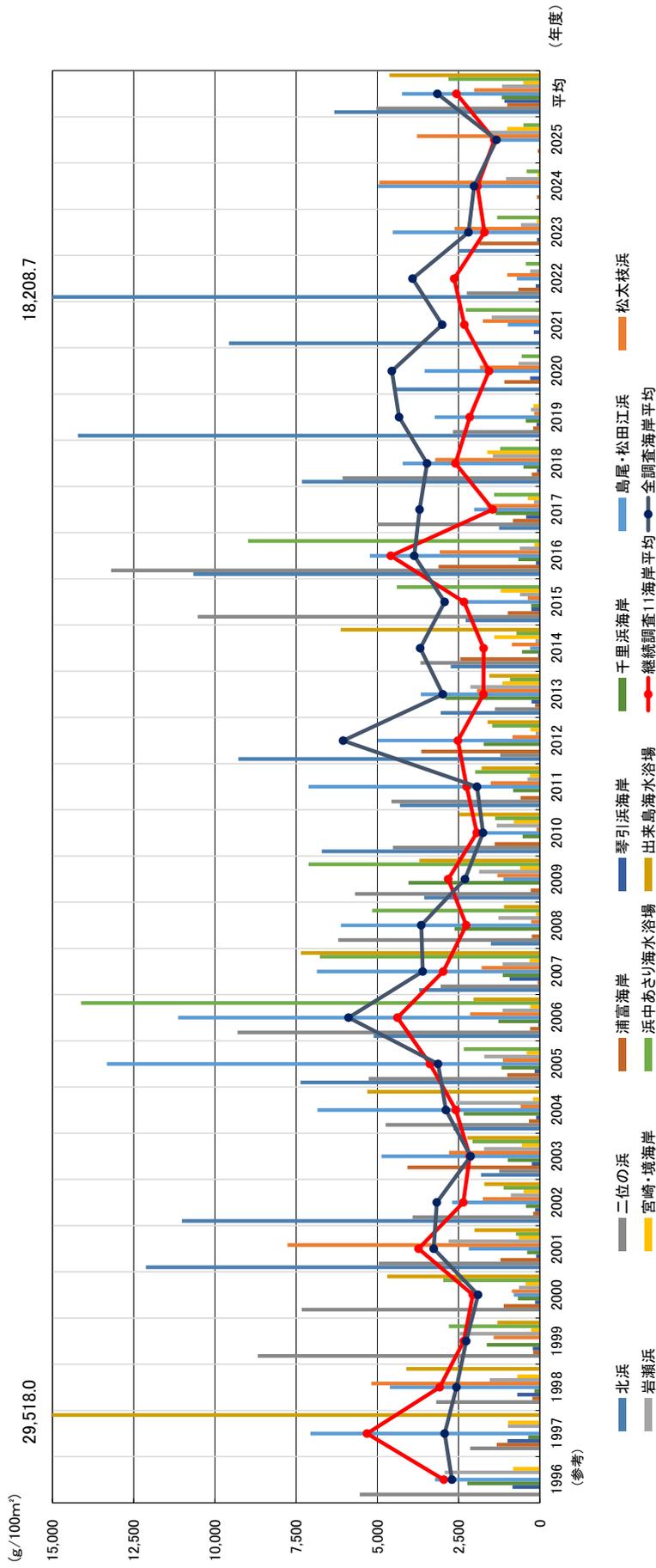
また、最も軽かった海岸は、「宮崎・境海岸(鳥取県)」が 509.4g/100m²(同 14.0～1,621.0g /100m²)であり、2025 年度は 1,009.5g/100m²であった。

② 継続調査海岸の単位面積あたりの漂着物個数(11 海岸)

2025 年度は、継続調査 11 海岸のうち調査を実施したのは6海岸で、海岸平均が 218 個/100 m²となった。

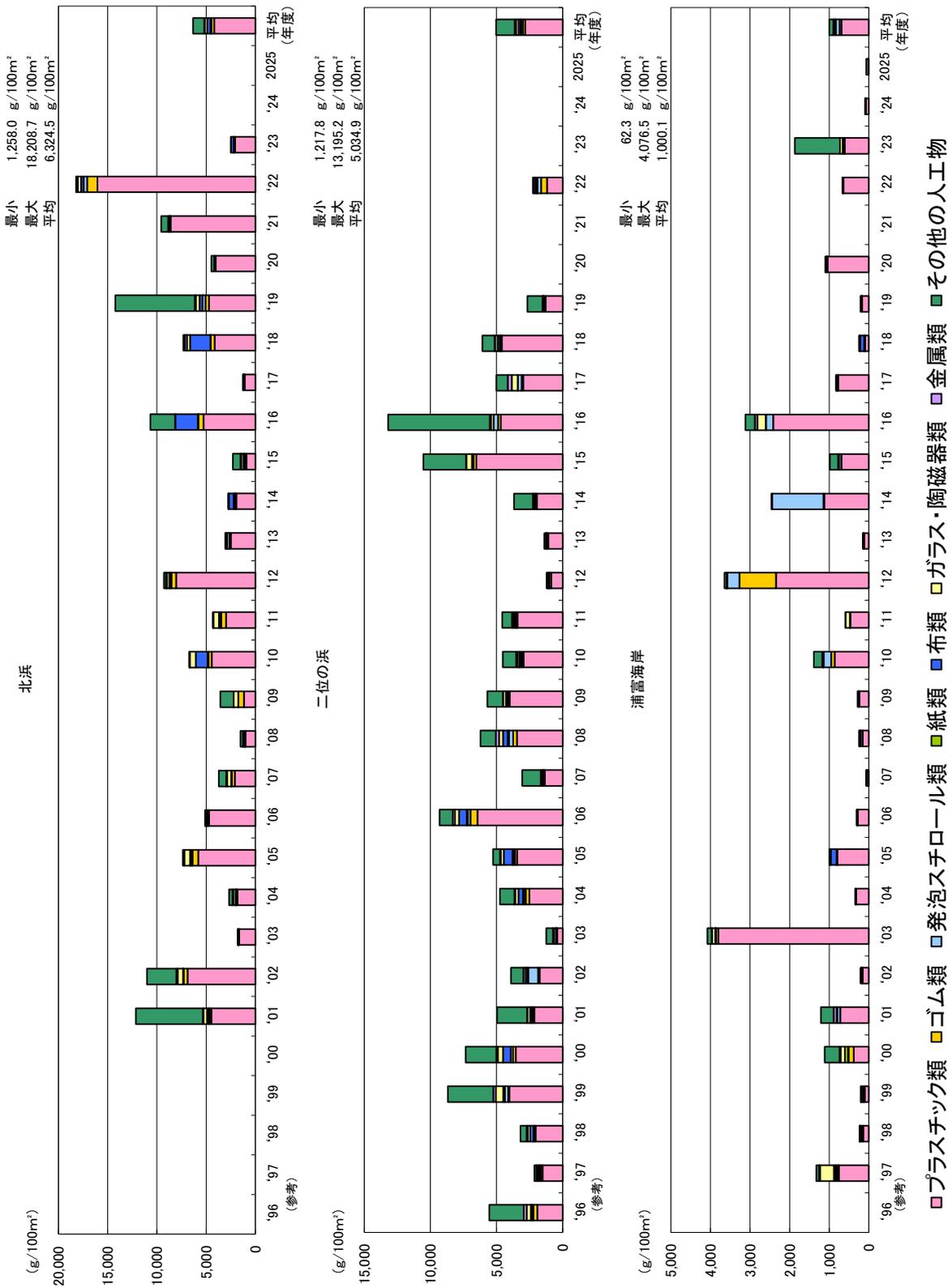
対象期間の海岸別の平均個数は、「北浜(佐賀県)」が 870 個/100m²(年度別:156～6,089 個 /100m²)と最も多いが、2025 年度は調査を実施していない。なお、2025 年度に実施した海岸で最も多いのは、「松太枝浜(富山県)」640 個/100m²(同 164～1,509 個/100m²)であり、2025 年度は 618 個/100m²であった。

また、最も少なかった海岸は、「宮崎・境海岸(富山県)」が 90 個/100m²(同 9～451 個 /100m²)であり、2025 年度は 60 個/100m²であった。



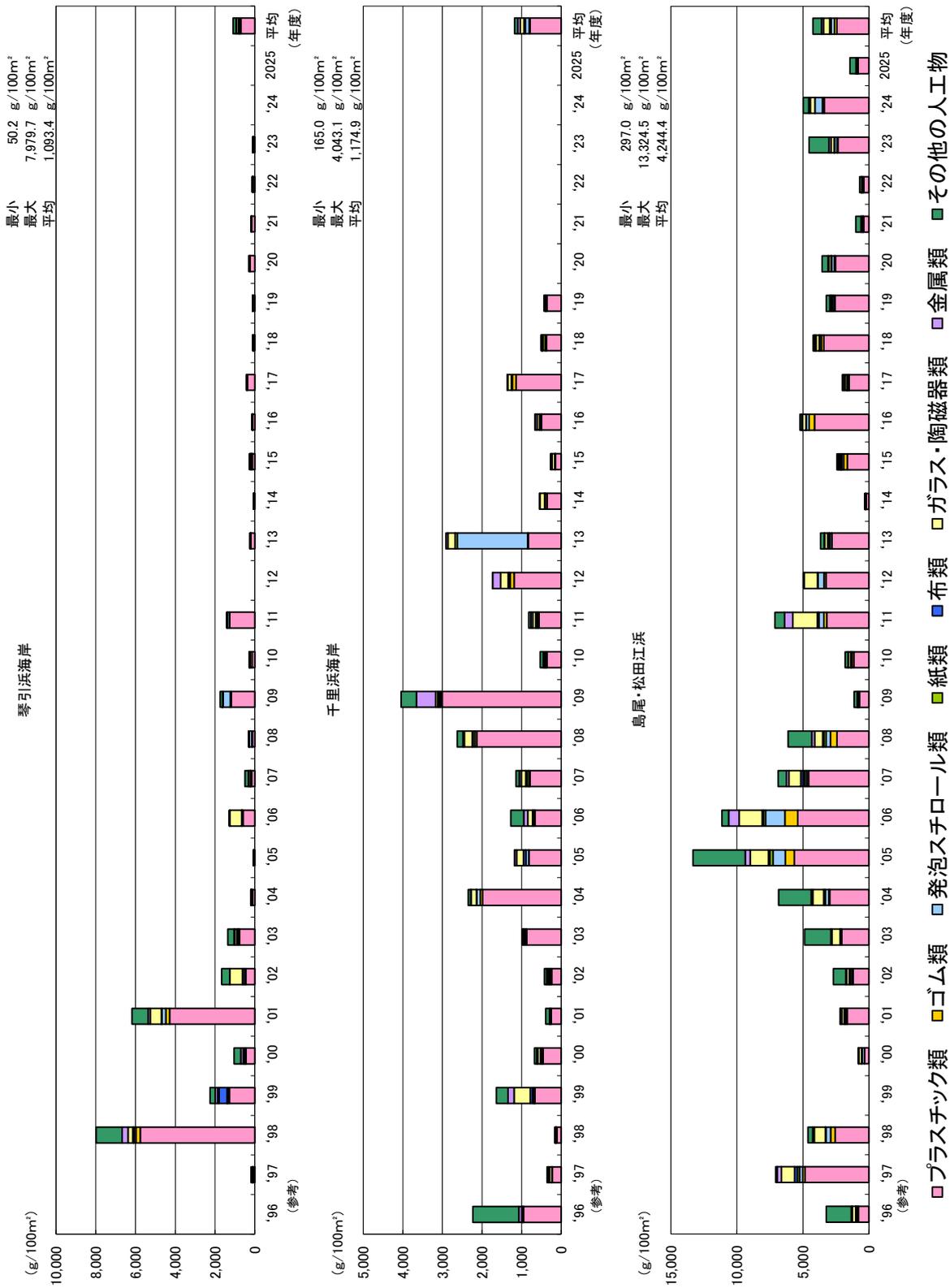
注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-4 継続調査海岸の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化 (g/100m²)



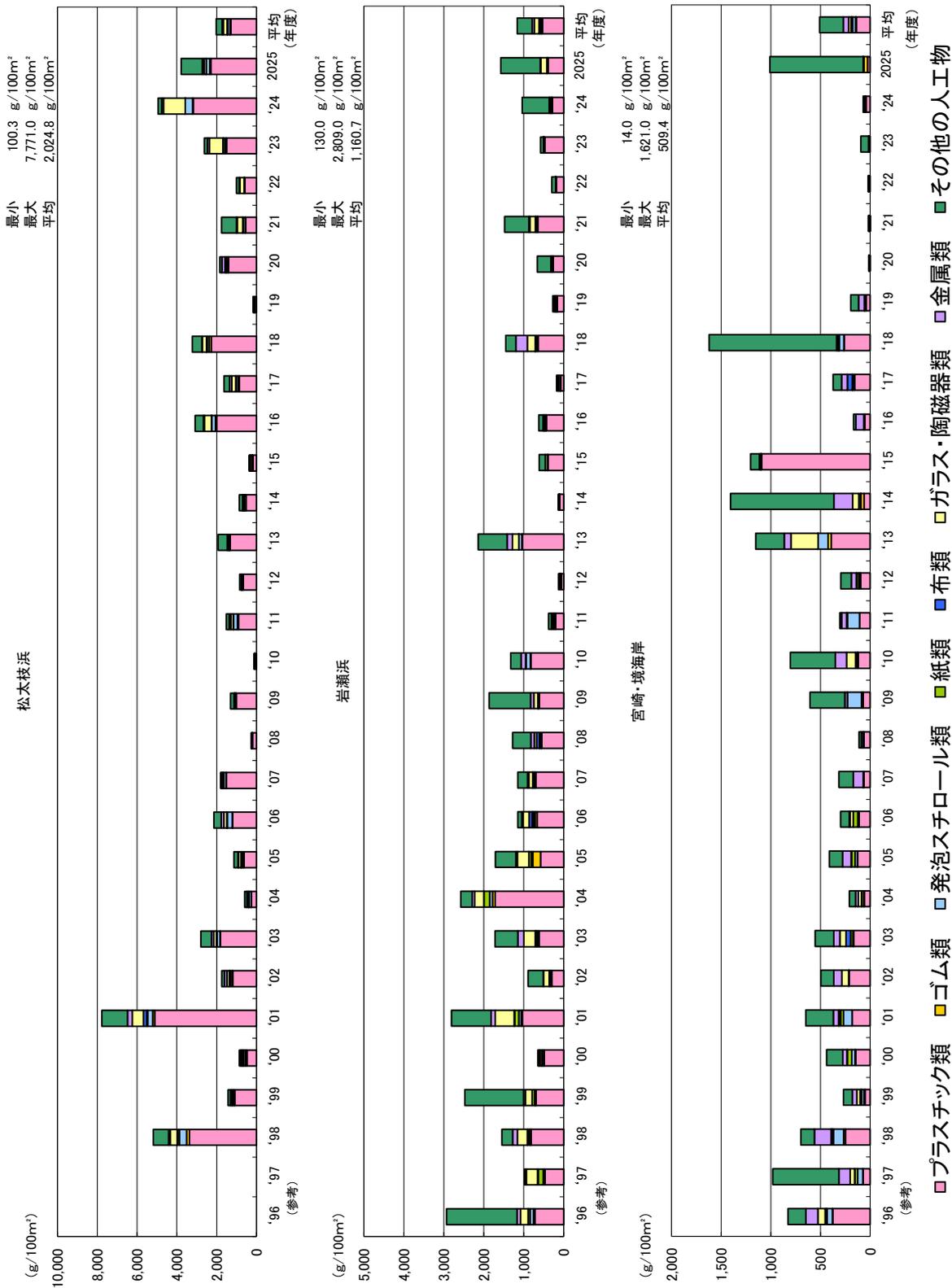
注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-5(1) 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)



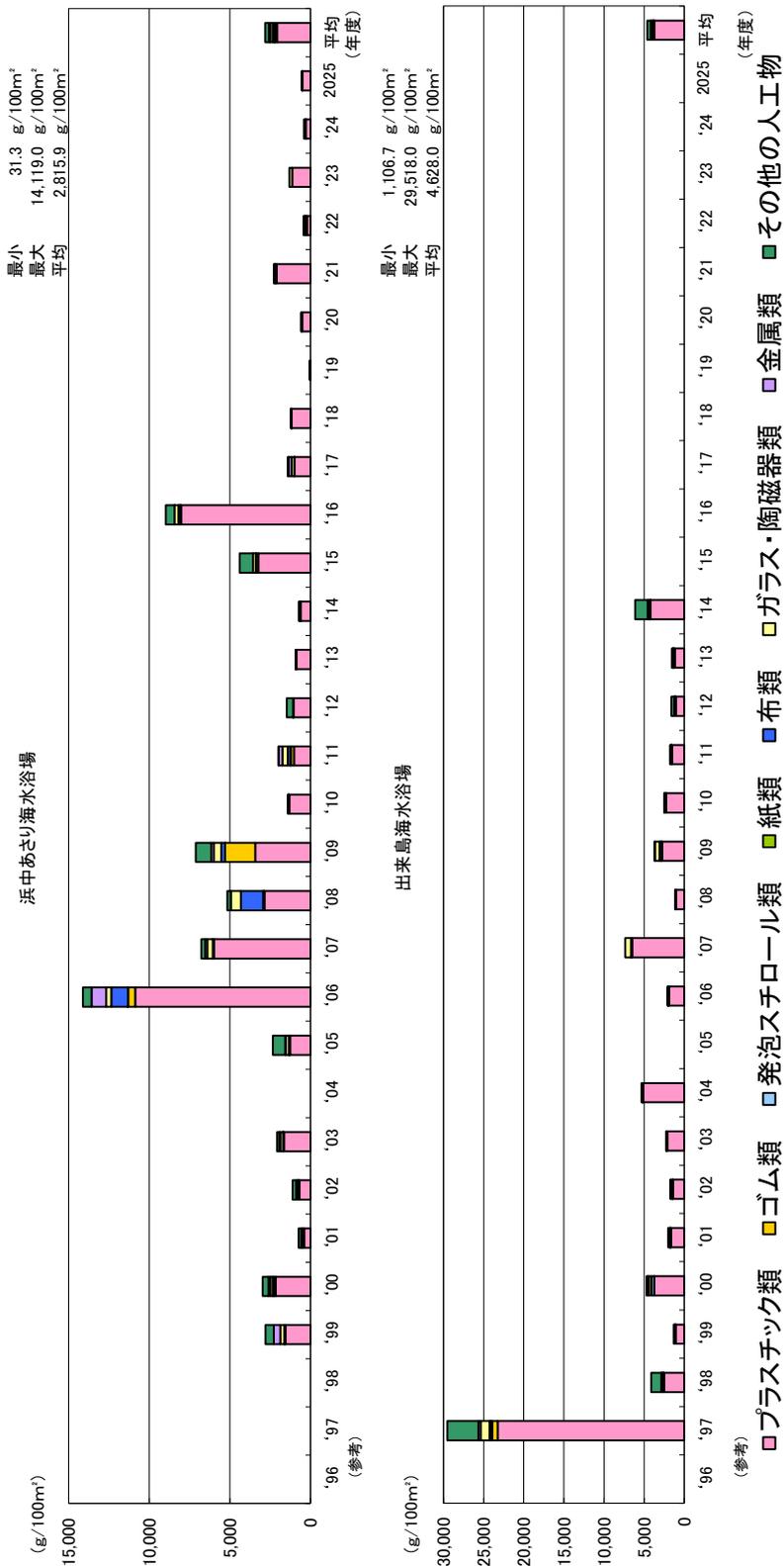
注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-5(2) 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)



注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-5(3) 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)



注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3-5(4) 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)

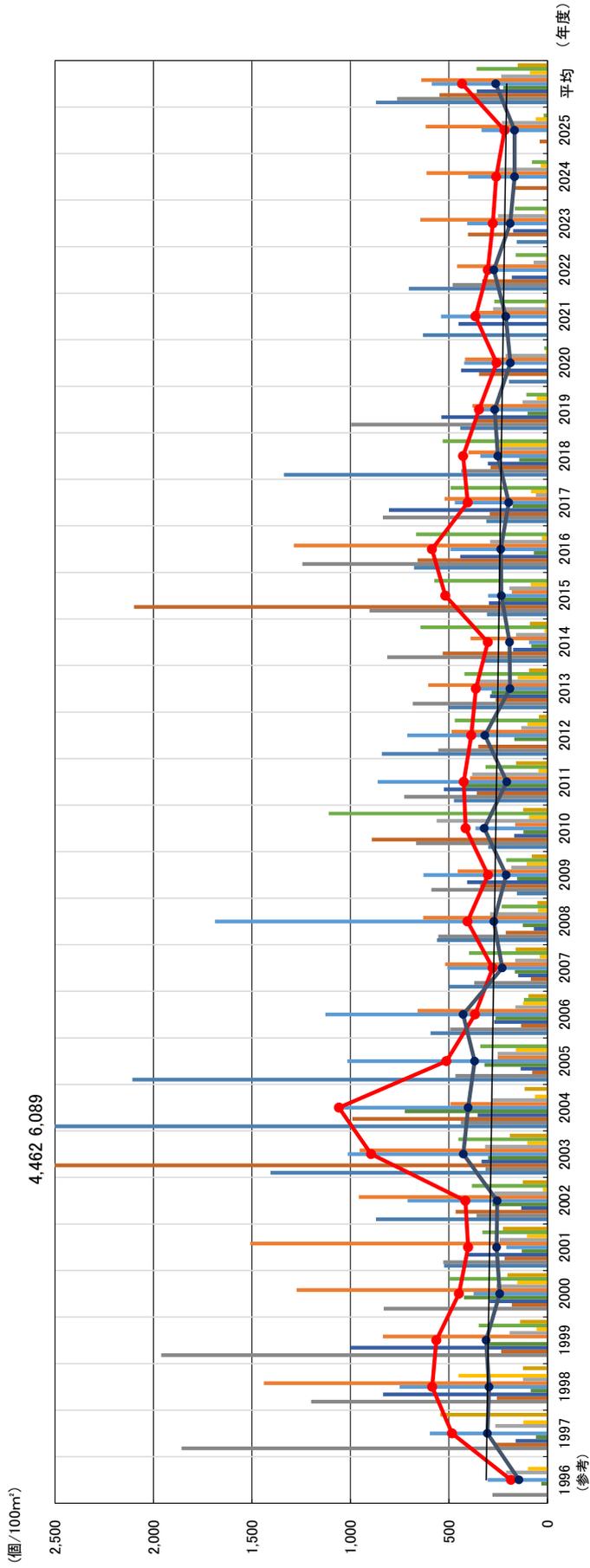
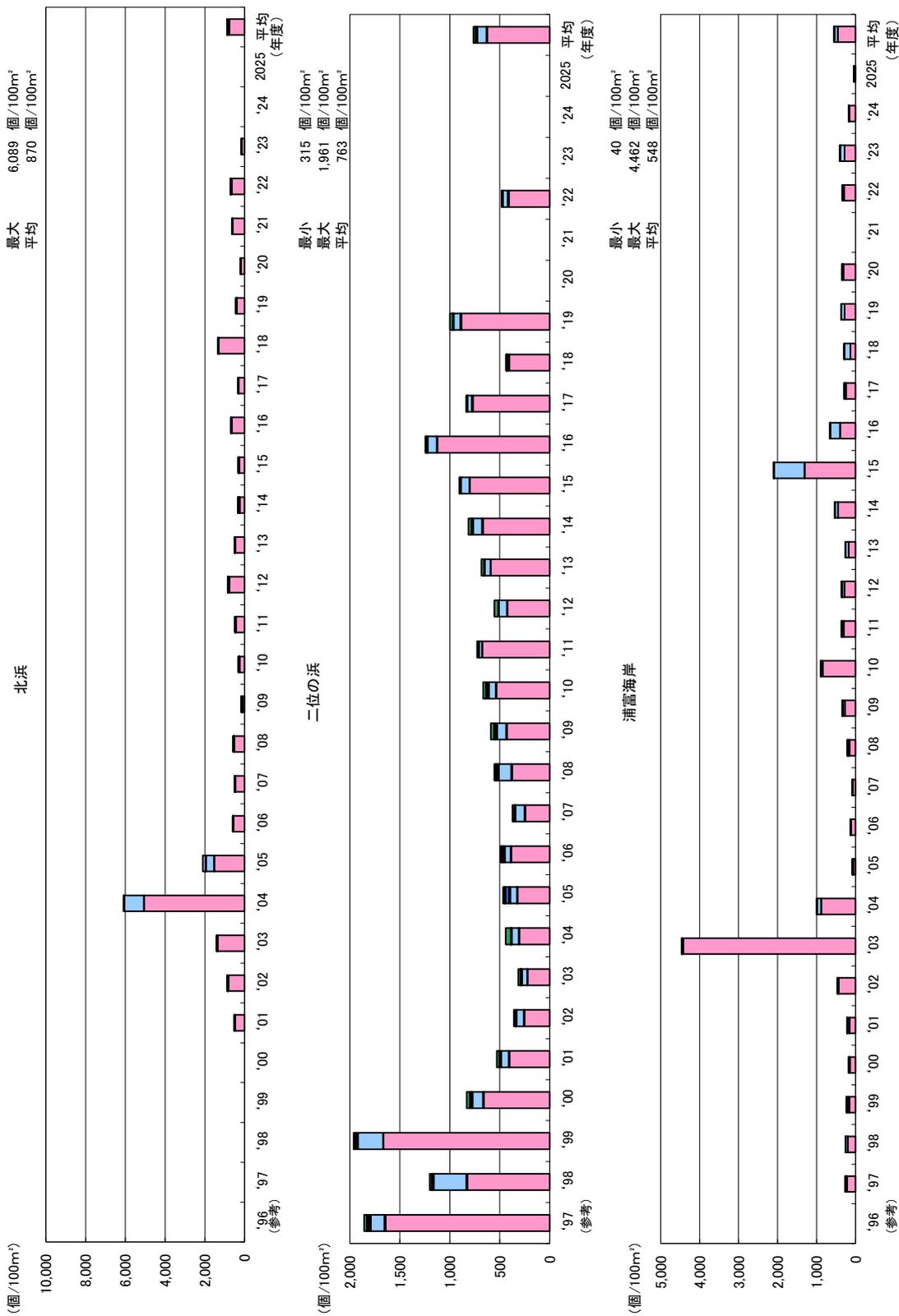


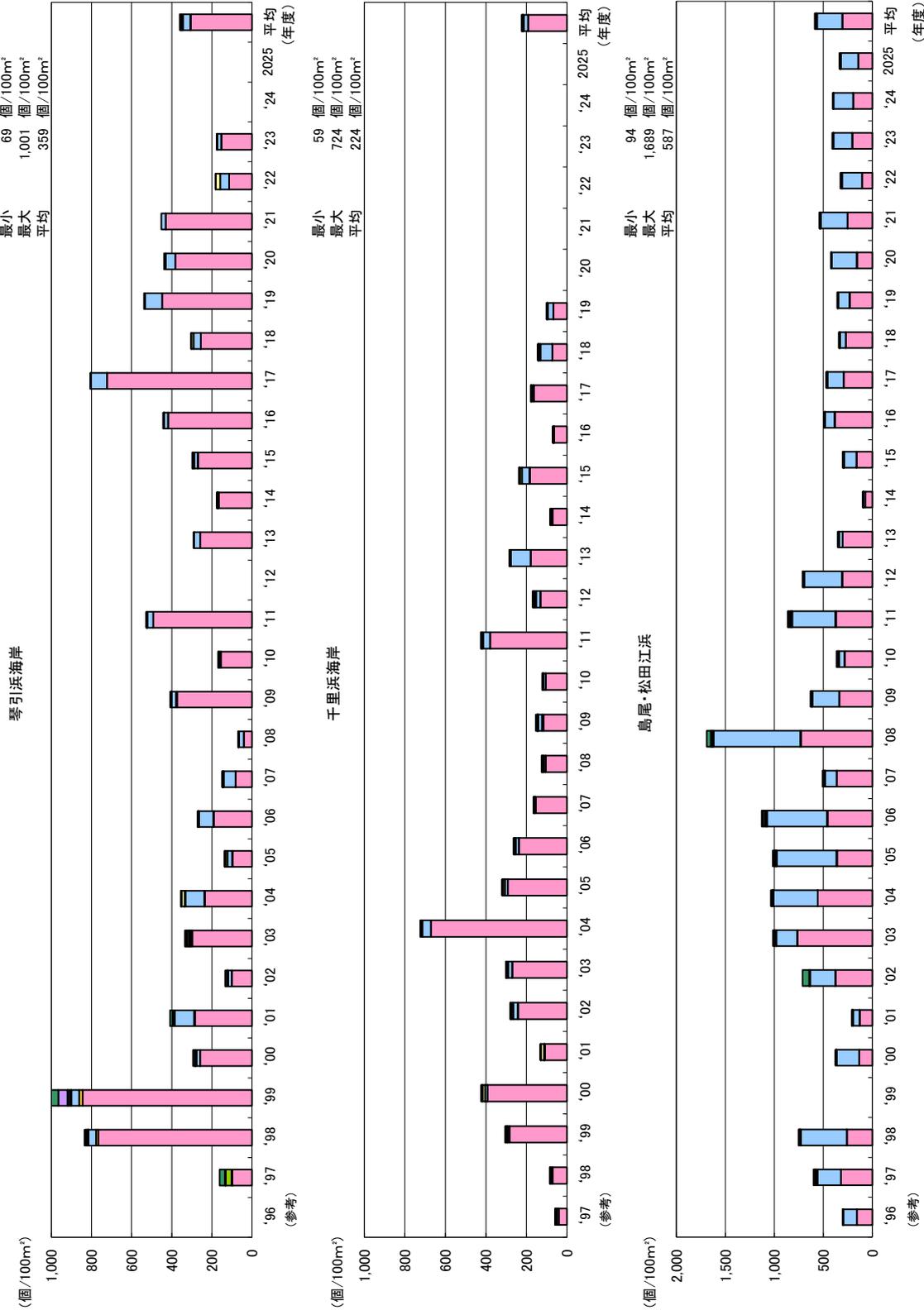
図2. 3-6 継続調査海岸の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。



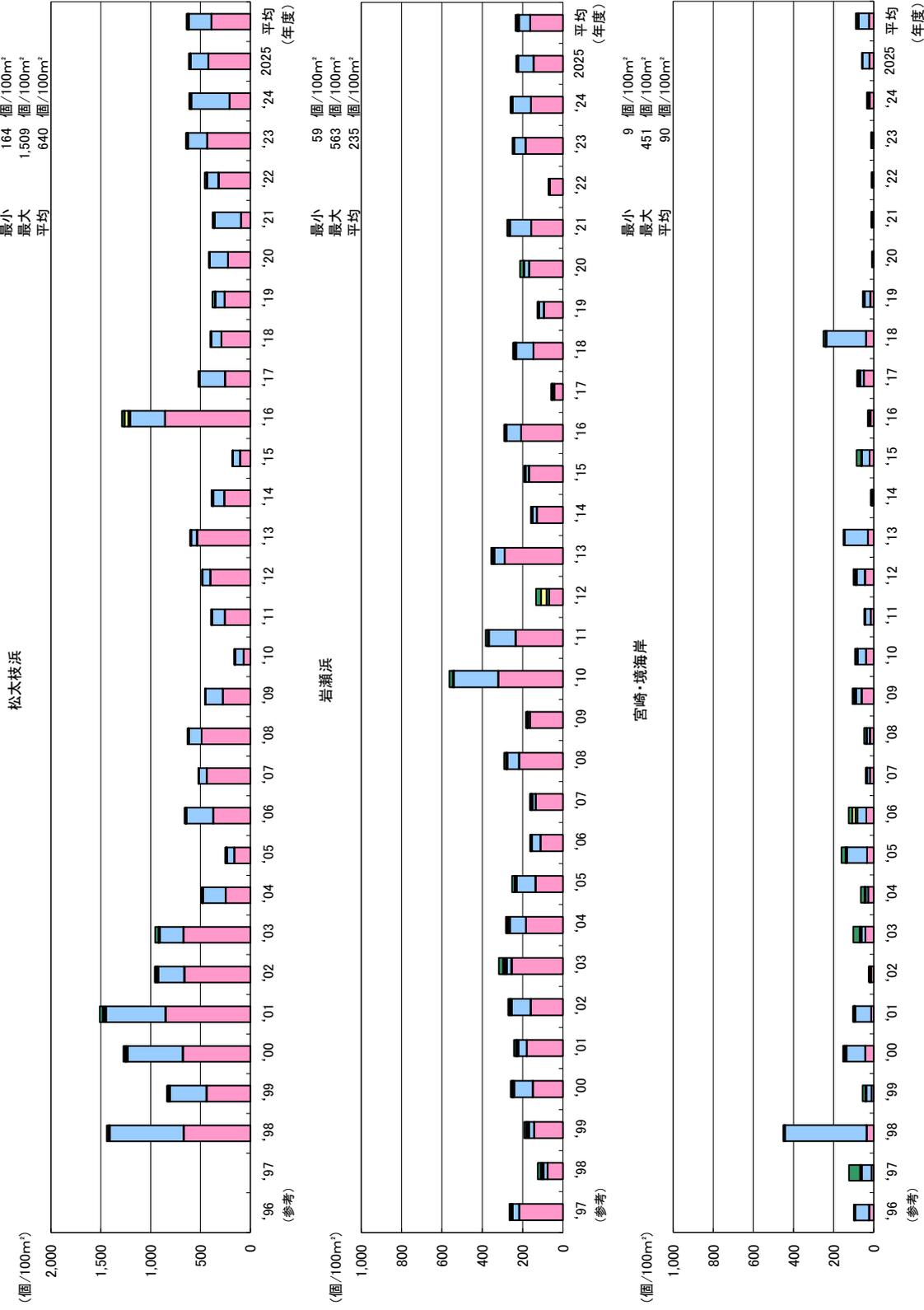
注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3-7(1) 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)



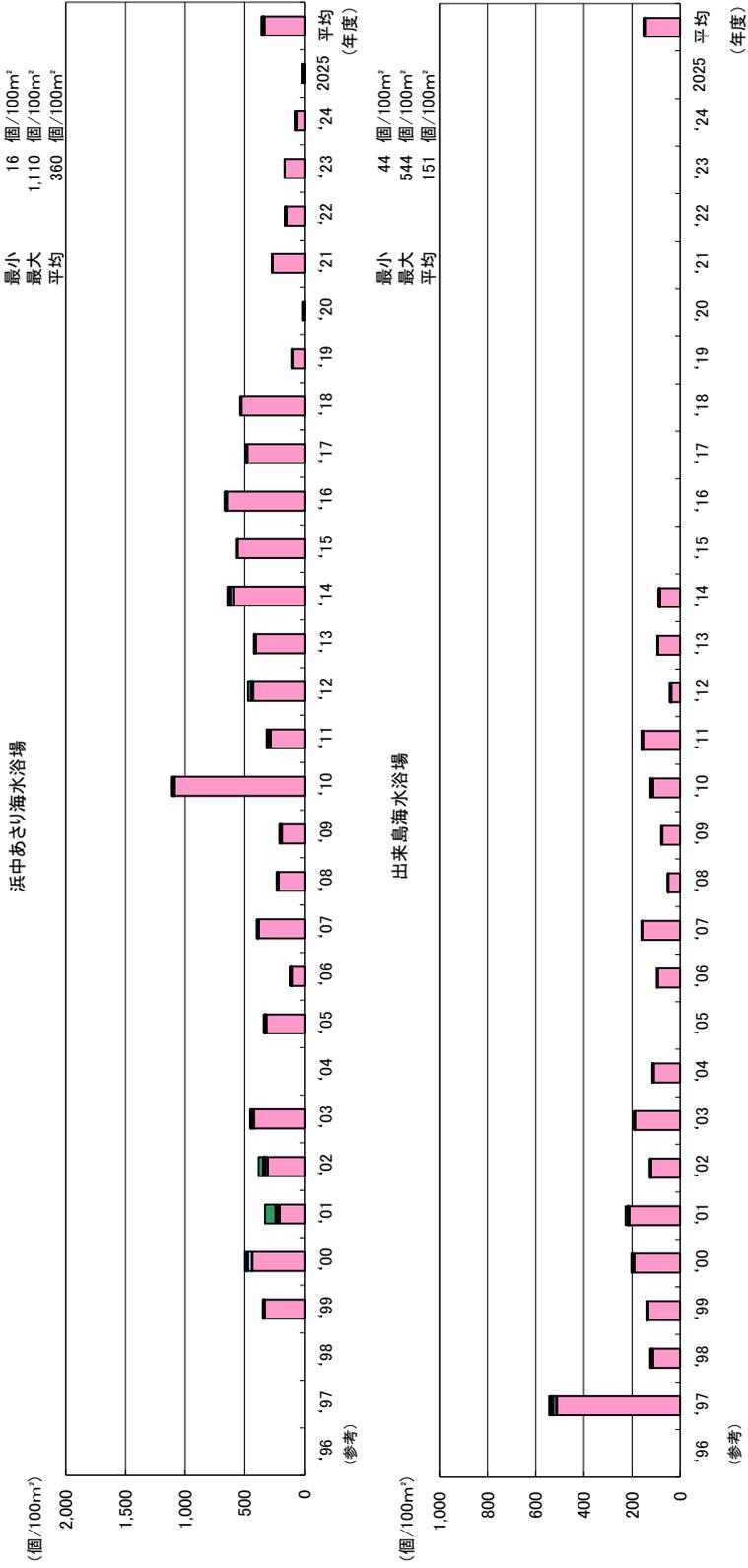
注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3-7(2) 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)



注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の算出は1996年度の値を除外した。

図2. 3-7(3) 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)



注) 1996年度調査結果は、その他の人工物に自然物が含まれているため、参考として値を扱い、継続調査の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

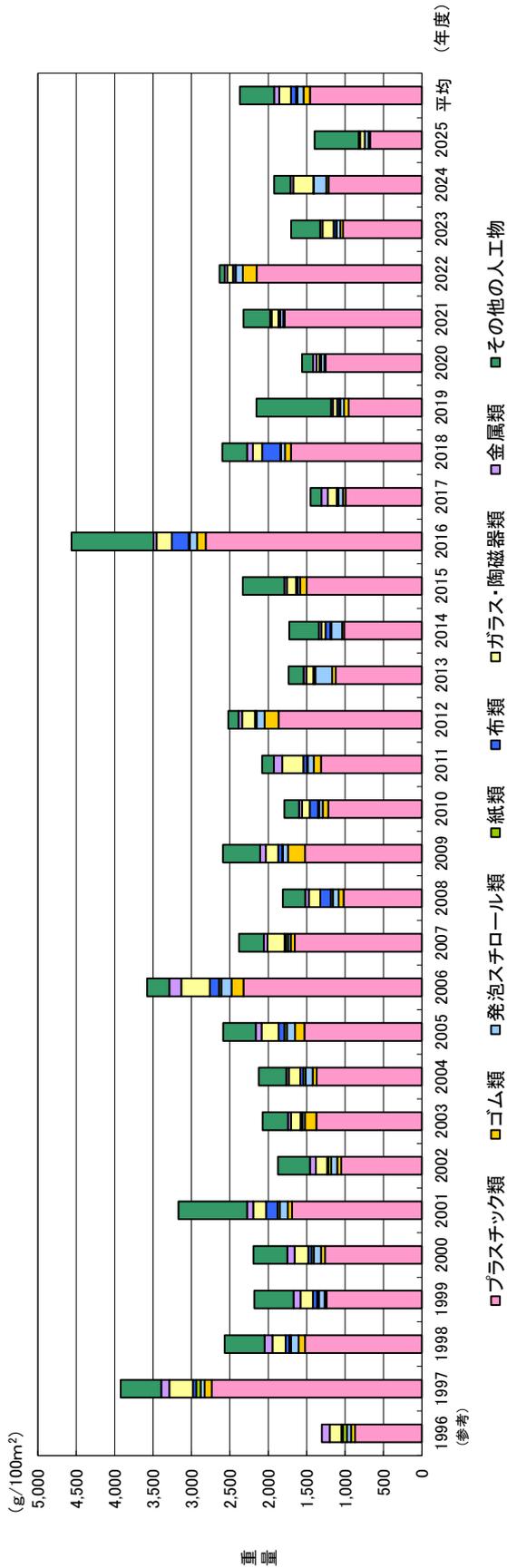
図2. 3-7(4) 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

③ 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量(11 海岸)

対象期間の分類別単位面積あたりの平均重量は、「プラスチック類」が 1,457.5g/100m²(年度別: 674.8~2,814.1g/100m²)と最も重く、その割合は 61.7%(同 44.3~81.7%)であった。2025 年度の平均重量は 674.8g/100m²で、対象期間の平均より軽く、その割合は 48.3%であった。次いで「その他の人工物」が 447.7g/100m²(同 66.9~1,065.8g/100m²)で、その割合は 18.9%(同 2.5~45.1%)であった。2025 年度の平均重量は 574.4g/100m²で、対象期間の平均より軽く、その割合は 41.1%であった。

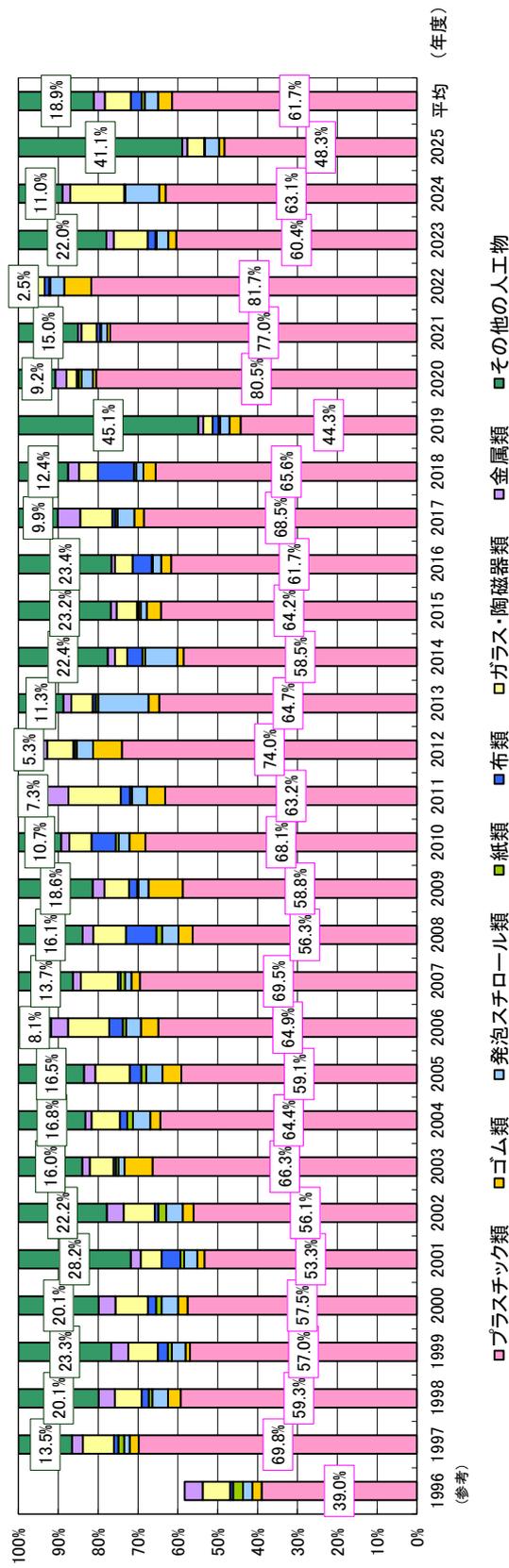
④ 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数(11 海岸)

対象期間の分類別単位面積あたりの平均個数は、「プラスチック類」が 291 個/100m²(年度別: 129~619 個/100m²)と最も多く、その割合は 75.3%(同 51.9~89.9%)であった。2025 年度の平均個数は 129 個/100m²で、対象期間の平均より少なく、その割合は 59.3%であった。次いで「発泡スチロール類」が 76 個/100m²(同 33~164 個/100m²)で、その割合は 19.7%(同 6.6~44.3%)であった。2025 年度の平均個数は 80 個/100m²で、対象期間の平均より多く、その割合は 36.8%であった。



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-8 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-9 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量割合の経年変化(%)

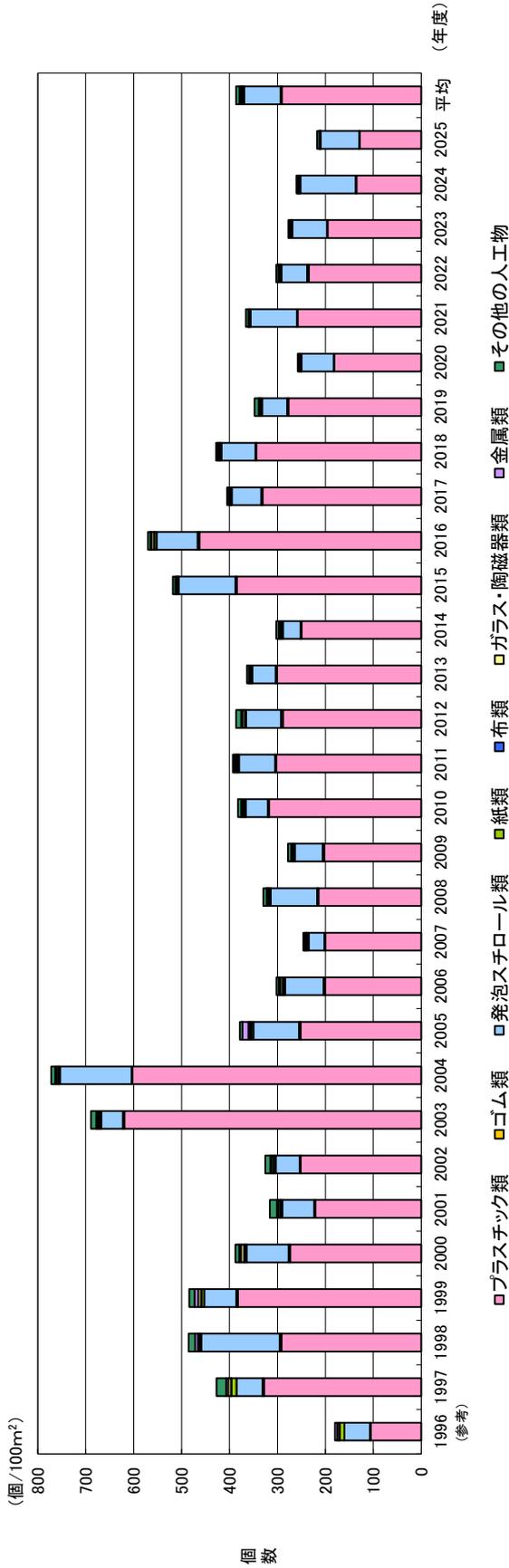
表2. 3-5 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物重量の経年変化 (g/100m²)

調査年度	(参考) 1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
調査海岸数	16	27	29	26	26	35	43	48	51	70	71	83	78	69
調査回数	16	27	29	26	26	35	43	48	51	132	125	214	194	176
プラスチック類	871.0	2,738.0	1,522.4	1,242.8	1,262.0	1,690.0	1,051.2	1,376.2	1,368.2	1,529.5	2,322.6	1,656.0	1,019.2	1,522.3
ゴム類	51.9	90.8	81.4	23.3	52.4	57.3	50.6	146.2	53.2	122.3	156.4	51.0	65.3	222.1
発泡スチロール類	53.1	52.8	100.7	75.7	90.4	104.7	77.9	32.4	92.1	105.8	132.4	38.1	74.2	66.8
紙類	55.6	57.5	22.8	21.6	30.6	28.5	36.7	12.2	31.1	33.0	30.1	26.1	26.7	7.7
布類	16.5	42.6	46.2	54.9	45.1	150.0	17.3	13.5	38.7	74.3	120.7	16.9	137.9	52.3
ガラス・陶磁器類	153.4	307.4	173.4	162.2	178.6	166.5	146.1	123.3	150.8	223.2	371.3	220.6	147.6	160.9
金属類	101.2	105.5	103.2	92.5	92.6	80.2	79.1	38.7	33.1	73.4	154.2	47.7	48.4	76.6
その他の人工物	—	528.0	516.9	508.5	441.3	893.2	415.9	332.3	356.9	426.2	291.0	326.1	292.2	481.6
合計	2,235.2	3,922.6	2,567.0	2,181.5	2,193.1	3,170.5	1,874.7	2,074.8	2,124.0	2,587.8	3,578.8	2,382.5	1,811.6	2,590.2

調査年度	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
調査海岸数	30	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33	30	38	36
調査回数	30	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33	30	38	36
プラスチック類	1,219.5	1,313.4	1,865.6	1,123.2	1,011.6	1,498.5	2,814.1	994.0	1,703.8	953.6	1,256.3	1,788.4	2,152.4	1,027.7
ゴム類	71.6	94.9	183.3	47.0	27.3	83.1	113.4	34.5	80.1	59.3	12.5	16.9	178.7	33.5
発泡スチロール類	48.2	77.4	101.3	219.4	139.5	34.9	95.2	62.0	47.5	49.8	44.6	37.0	92.1	49.3
紙類	13.6	12.0	14.4	10.9	12.7	13.9	13.5	7.3	13.6	9.1	10.6	4.2	8.7	6.0
布類	108.8	47.4	8.7	13.2	64.8	9.1	219.4	11.1	234.5	32.5	8.2	21.1	28.4	32.9
ガラス・陶磁器類	99.7	273.0	166.1	92.7	53.5	119.5	198.7	117.2	122.4	50.4	40.4	88.9	74.9	145.1
金属類	37.3	108.4	47.9	34.5	31.5	33.1	41.0	81.1	73.6	27.5	43.4	19.2	32.6	31.5
その他の人工物	191.4	152.4	133.3	195.8	387.1	541.1	1,065.8	143.4	322.6	971.1	144.3	347.8	66.9	374.9
合計	1,790.1	2,078.9	2,520.6	1,736.7	1,728.1	2,333.1	4,561.2	1,450.6	2,598.1	2,153.4	1,560.4	2,323.6	2,634.5	1,700.8

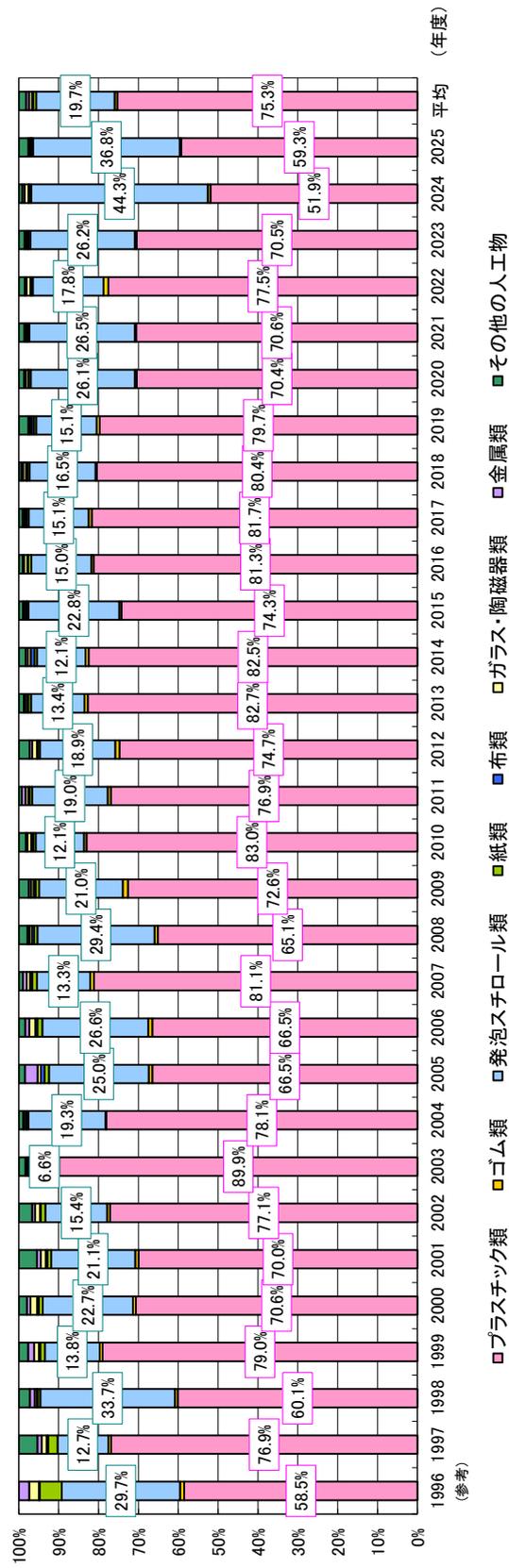
調査年度	2024年	2025年	対象期間 の平均
調査海岸数	27	21	
調査回数	27	21	
プラスチック類	1,213.0	674.8	1,457.5
ゴム類	31.2	19.2	82.8
発泡スチロール類	162.4	50.4	79.6
紙類	4.0	1.0	18.0
布類	2.6	0.2	66.0
ガラス・陶磁器類	260.1	59.5	154.2
金属類	37.1	17.4	66.1
その他の人工物	212.5	574.4	447.7
合計	1,922.8	1,397.0	2,362.6

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-10 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)



注) 1996年度調査結果は、「その他の人工物」に自然物が含まれているため参考として値を扱い、継続調査海岸の平均値の算出は1996年度の値を除外した。

図2.3-11 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数割合の経年変化(%)

表2. 3-6 継続調査海岸の分類別単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

調査年度	(参考) 1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
調査海岸数	16	27	29	26	26	35	43	48	51	70	71	83	78	69
調査回数	16	27	29	26	26	35	43	48	51	132	125	214	194	176
プラスチック類	105	328	292	382	274	221	251	619	603	252	201	200	215	202
ゴム類	2	3	4	3	3	3	2	3	2	3	3	2	3	4
発泡スチロール類	53	54	164	67	88	66	50	46	149	95	80	33	97	58
紙類	10	10	3	6	4	3	4	3	3	4	4	3	3	2
布類	0	1	1	2	1	1	1	1	1	3	1	1	2	2
ガラス・陶磁器類	4	5	3	6	6	4	4	3	4	3	5	2	2	2
金属類	5	4	6	7	4	3	2	3	2	12	3	2	2	2
その他の人工物	—	20	13	11	8	14	11	11	8	6	5	3	7	7
合計	180	427	485	484	388	316	326	689	772	379	302	246	330	278

調査年度	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
調査海岸数	30	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33	30	38	36
調査回数	30	38	33	48	54	53	54	54	39	39	33	30	38	36
プラスチック類	317	302	289	301	250	385	463	331	344	277	182	258	235	196
ゴム類	3	3	4	3	2	3	3	3	2	3	1	1	4	1
発泡スチロール類	46	75	73	49	37	118	86	61	71	53	67	97	54	73
紙類	2	2	2	3	2	2	5	2	2	2	1	2	1	1
布類	2	1	1	0	3	0	1	1	2	2	0	1	0	0
ガラス・陶磁器類	3	3	5	2	2	3	5	1	3	1	2	1	3	1
金属類	2	4	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
その他の人工物	7	3	10	5	5	5	6	4	3	8	3	5	5	4
合計	382	393	386	364	302	518	570	405	428	348	258	366	303	277

調査年度	2024年	2025年	対象期間 の平均
調査海岸数	27	21	
調査回数	27	21	
プラスチック類	135	129	291
ゴム類	2	1	3
発泡スチロール類	115	80	76
紙類	1	1	3
布類	1	0	1
ガラス・陶磁器類	3	1	3
金属類	1	1	3
その他の人工物	2	5	7
合計	261	217	386

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(3) 国内・海外起因別の漂着物量の経年変化

広域的な移動状況を把握するため、採集した漂着物を国内起因、海外起因に区分して比較した。なお、国内起因、海外起因の区別は、漂着物に表示されている文字のみで判断し、表示のないものや不明なものは、国内起因の漂着物として扱った。

2016年度から2025年度までの10年間の調査結果について、国内・海外起因別の経年変化を比較した。

重量とその割合の経年変化を図2.3-12、個数とその割合の経年変化を図2.3-13に示す。

① 国内・海外起因別の単位面積あたりの漂着物重量

海外起因の10年間平均重量は9.8%で、年度別では、2023年度が20.0%と最も高かった。2025年度は5.3%と平均より低かった。いずれの年度においてもほとんどが自国内の漂着物であり、ほぼ同様の傾向であった。

② 国内・海外起因別の単位面積あたりの漂着物個数

海外起因の10年間平均個数は3.3%であった。年度別では、2024年度が4.3%と最も高かった。2025年度は2.9%と平均より低かった。いずれの年度においてもそのほとんどが自国内の漂着物であり、ほぼ同様の傾向であった。

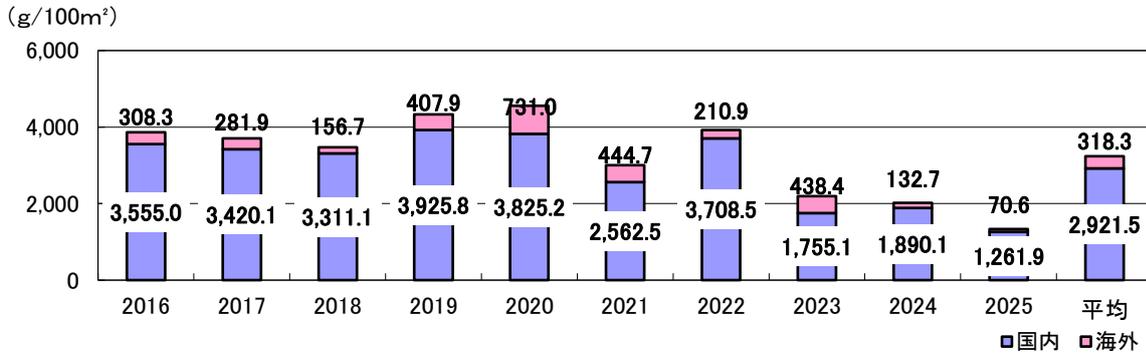


図2. 3-12(1) 単位面積あたりの国内・海外起因の漂着物重量の経年変化(g/100m²)

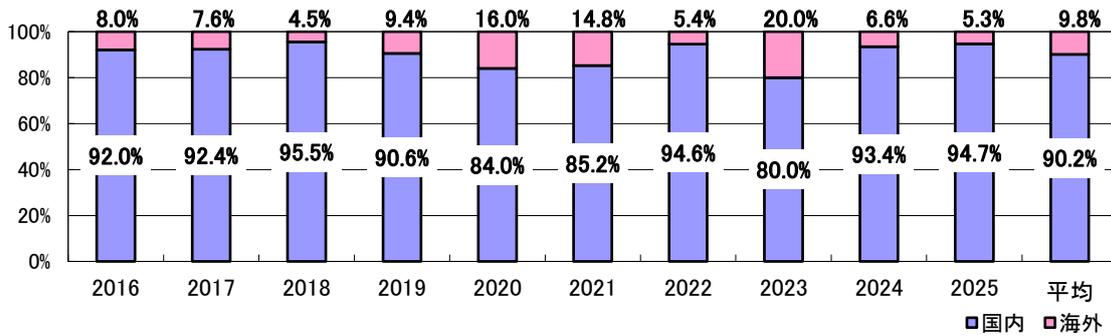


図2. 3-12(2) 単位面積あたりの国内・海外起因の漂着物重量割合の経年変化(%)

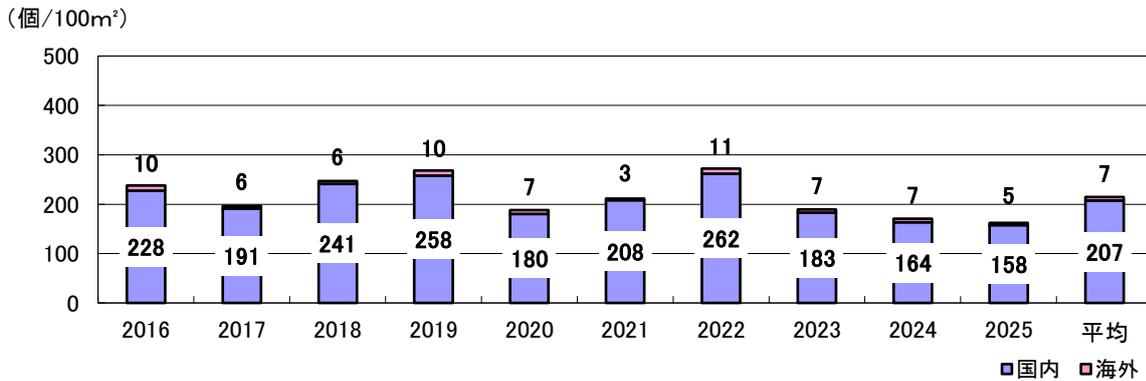


図2. 3-13(1) 単位面積あたりの国内・海外起因の漂着物個数の経年変化(個/100m²)

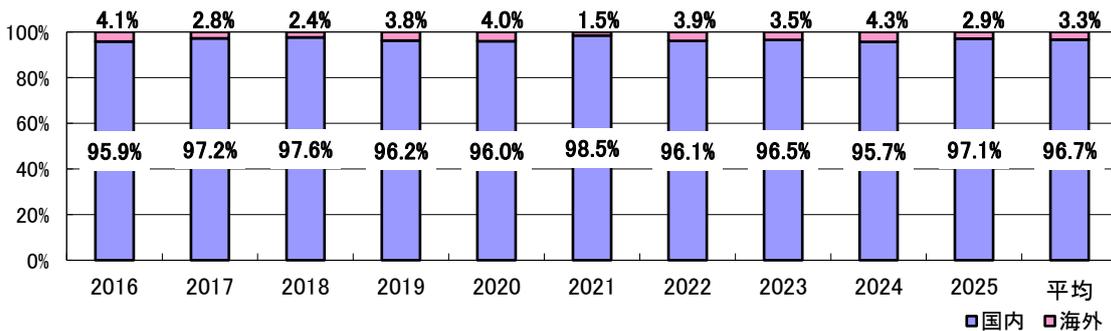


図2. 3-13(2) 単位面積あたりの国内・海外起因の漂着物個数割合の経年変化(%)

(4) 分類別の国内・海外起因別漂着物量

2016 年度から 2025 年度までの 10 年間の調査結果について、分類別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物量を比較した。

分類別の国内・海外起因別の重量とその割合を図2. 3-14、表2. 3-7、個数とその割合を図2. 3-15、表2. 3-8に示す。

① 分類別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量

海外起因の 10 年間平均重量の割合は、「紙類」が 13.9%と最も高く、次いで「ゴム類」が 13.4%の順であった。

② 分類別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数

海外起因の 10 年間平均個数の割合は、「金属類」が 5.1%と最も高く、次いで「プラスチック類」が 4.1%の順であった。

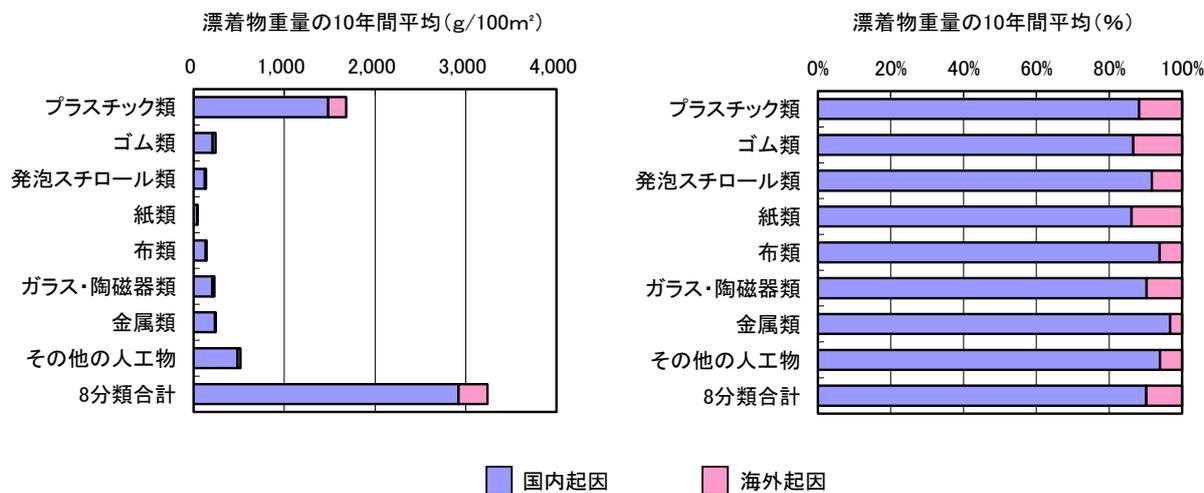


図2. 3-14 分類別の国内・海外起因漂着物重量(10年間平均)

表2. 3-7 分類別の国内・海外起因漂着物重量(10年間平均)(g/100m²)

分類	国内起因		海外起因		合計
プラスチック類	1,484.5	88.2%	198.0	11.8%	1,682.5
ゴム類	210.1	86.6%	32.4	13.4%	242.5
発泡スチロール類	125.5	91.7%	11.4	8.3%	136.9
紙類	39.1	86.1%	6.3	13.9%	45.4
布類	133.4	93.9%	8.7	6.1%	142.1
ガラス・陶磁器類	206.8	90.3%	22.2	9.7%	229.0
金属類	235.8	96.7%	8.0	3.3%	243.8
その他の人工物	486.3	93.9%	31.3	6.1%	517.6
8分類合計	2,921.5	90.2%	318.3	9.8%	3,239.8

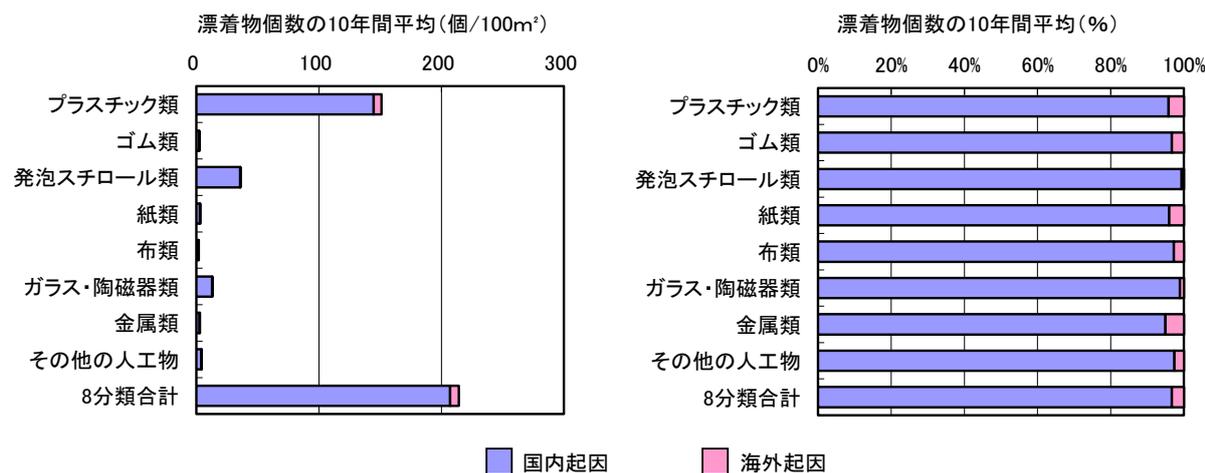


図2. 3-15 分類別の国内・海外起因漂着物個数(10年間平均)

表2. 3-8 分類別の国内・海外起因漂着物個数(10年間平均)(個/100m²)

分類	国内起因		海外起因		合計
プラスチック類	145	95.9%	6	4.1%	151
ゴム類	2	96.6%	0	3.3%	2
発泡スチロール類	36	99.4%	0	0.6%	36
紙類	3	96.0%	0	4.0%	3
布類	2	97.3%	0	2.7%	2
ガラス・陶磁器類	13	98.9%	0	1.1%	13
金属類	3	94.9%	0	5.1%	3
その他の人工物	4	97.4%	0	2.6%	4
8分類合計	207	96.7%	7	3.3%	214

2. 4 エリア別漂着物量の結果

地域ごとの漂着物量とその割合の特徴を把握するため、調査海岸を図2. 4-1、表2. 4-1に示すエリアに区分し、エリア別の単位面積あたりの漂着物量やその割合を比較した。

エリア別に平均した重量とその割合を図2. 4-2、表2. 4-2、個数とその割合を図2. 4-3、表2. 4-3に示す。

なお、エリア別の平均の算出にあたっては、エリア内各海岸の単位面積あたりの漂着物量を算術平均して求めた。「エリアE(北海道エリア)」、「エリアI(中国エリア)」は、2012年以降調査を実施していないため、比較対照としなかった。

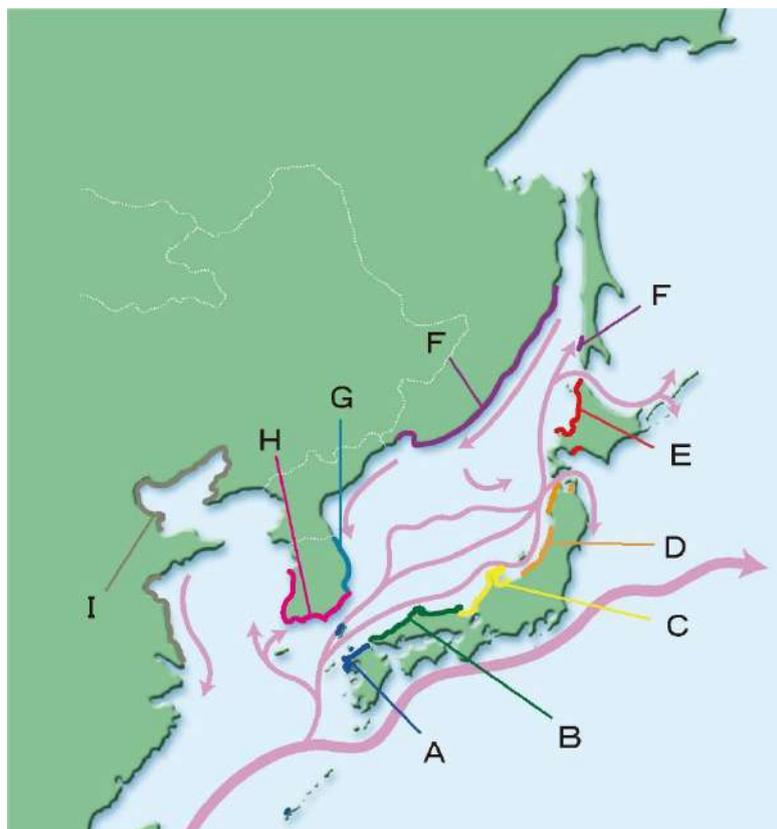


図2. 4-1 調査エリア区分

表2.4-1 調査エリア区分一覧表

エリア	所在地	海岸コード	調査海岸名
A(九州・沖縄エリア)	長崎県	J 42 - 14	1 田尾海岸
		J 42 - 11	2 蛤浜海水浴場
		J 42 - 13	3 湊浜海浜公園
		J 42 - 12	4 里浜海水浴場
B(中国・近畿エリア)	山口県	J 35 - 05	5 大浜海岸
		島根県	J 32 - 15A
	J 32 - 15C		7 持石海岸C
	J 32 - 15E		8 持石海岸E
	J 32 - 15F		9 持石海岸F
	J 32 - 19B		10 小浜海岸B
	J 32 - 17		11 西浜海岸
	鳥取県	J 31 - 11	12 弓ヶ浜海岸
		J 31 - 02	13 浦富海岸
	C(北陸エリア)	石川県	J 17 - 06
富山県			J 16 - 04
		J 16 - 03	16 松太枝浜
		J 16 - 05	17 海老江海岸
		J 16 - 02	18 岩瀬浜
		J 16 - 01	19 宮崎・境海岸
D(東北エリア)	山形県	J 06 - 03	20 浜中あさり海水浴場
F(ロシアエリア)	ハバロフスク 地 方	R 01 - 02	21 トキ入江
		R 01 - 05	22 オブマンナヤ入江
G(韓国 東海岸エリア)	江原特別自治道	K 01 - 11	23 安木(アンモク)海岸
			計23海岸

(1) エリア別単位面積あたりの漂着物重量

エリア別単位面積あたりの漂着物重量では、「エリアF(ロシアエリア)」が 1,654.3g/100m²と最も重く、次いで、「エリアC(北陸エリア)」が 1,632.5g/100m²の順であり、重量が最も軽かったのは、「エリアG(韓国 東海岸エリア)」の 287.2g/100m²であった。

(2) エリア別単位面積あたりの漂着物重量の割合

「エリアA(九州・沖縄エリア)」、「エリアB(中国・近畿エリア)」、「エリアD(東北エリア)」、「エリアG(韓国 東海岸エリア)」では、「プラスチック類」の割合が最も高く、その中でも「エリアD(東北エリア)」が 99.3%で最も高かった。「エリアC(北陸エリア)」は、「その他の人工物」、「エリアF(ロシアエリア)」は、「ガラス・陶磁器類」の割合が最も高かった。

(3) エリア別単位面積あたりの漂着物個数

エリア別単位面積あたりの漂着物個数では、「エリアC(北陸エリア)」が 303 個/100m²と最も多く、次いで、「エリアF(ロシアエリア)」が 161 個/100m²の順であり、個数が最も少なかったのは、「エリアD(東北エリア)」の 20 個/100m²であった。

(4) エリア別単位面積あたりの漂着物個数の割合

今年度調査が実施された「エリアA(九州・沖縄エリア)」、「エリアB(中国・近畿エリア)」、「エリアC(北陸エリア)」、「エリアD(東北エリア)」、「エリアG(韓国 東海岸エリア)」では、「プラスチック類」の割合が最も高く、その中でも「エリアA(九州・沖縄エリア)」が 85.8%で最も高かった。「エリアF(ロシアエリア)」では、「ガラス・陶磁器類」の割合が最も高かった。

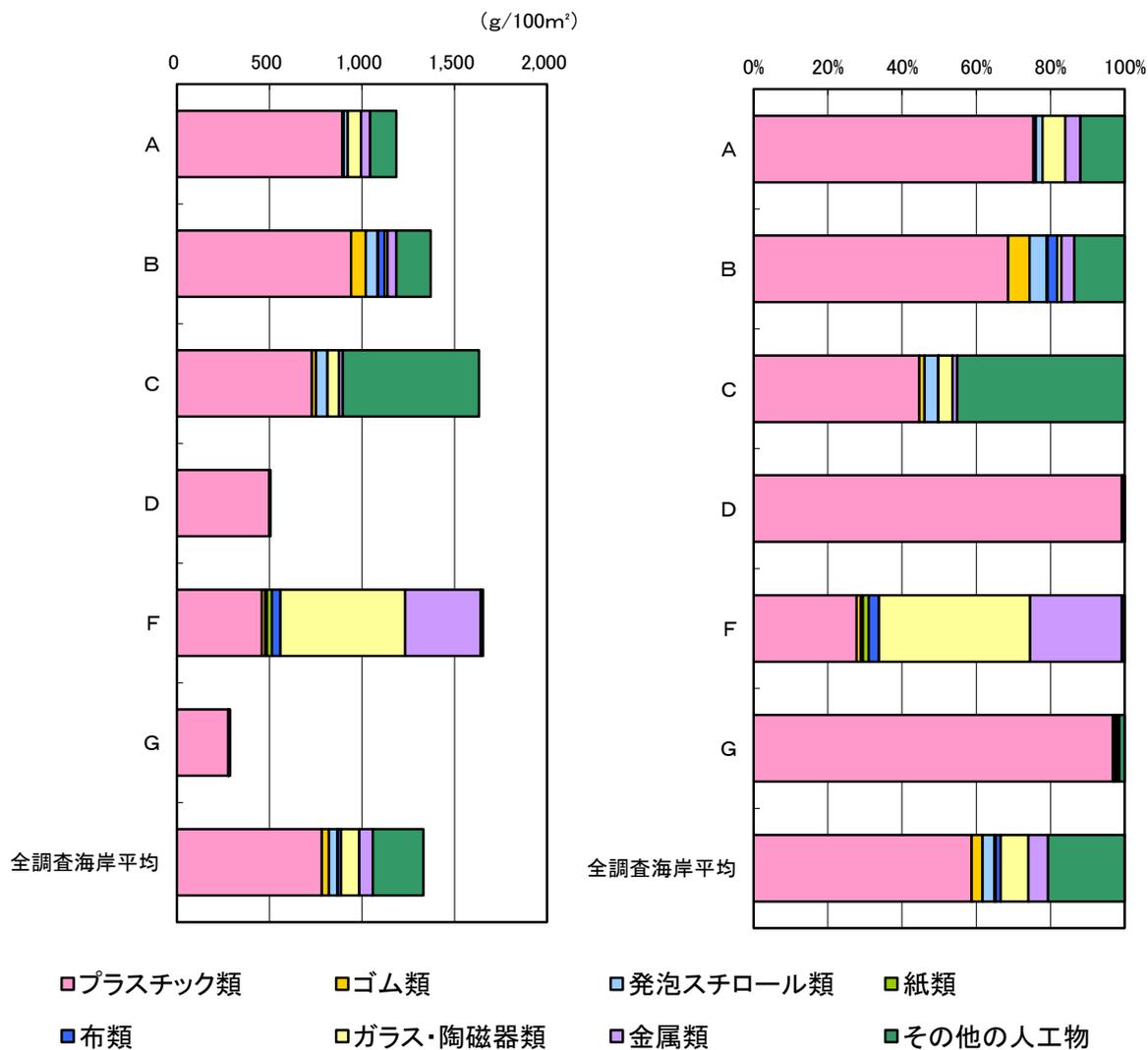


図2. 4-2 エリア別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)と割合(%)

表2. 4-2(1) エリア別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

エリア	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
A (九州・沖縄エリア)	893.9	7.4	21.5	0.0	0.3	72.2	48.7	141.2	1,185.1
B (中国・近畿エリア)	941.3	79.9	62.7	3.7	35.4	15.0	48.3	186.3	1,372.4
C (北陸エリア)	729.1	23.1	60.4	0.6	0.3	62.0	20.9	736.2	1,632.5
D (東北エリア)	500.0	0.0	2.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	503.7
F (ロシアエリア)	459.7	18.5	8.8	26.3	45.8	674.2	408.8	12.2	1,654.3
G (韓国 東海岸エリア)	278.0	0.7	0.3	0.3	0.7	1.7	1.3	4.2	287.2
全調査海岸平均	783.3	39.1	43.4	4.1	18.0	98.5	71.6	274.5	1,332.5

表2. 4-2(2) エリア別単位面積あたりの漂着物重量の割合(%)

エリア	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物
A (九州・沖縄エリア)	75.4%	0.6%	1.8%	0.0%	0.0%	6.1%	4.1%	11.9%
B (中国・近畿エリア)	68.6%	5.8%	4.6%	0.3%	2.6%	1.1%	3.5%	13.6%
C (北陸エリア)	44.7%	1.4%	3.7%	0.0%	0.0%	3.8%	1.3%	45.1%
D (東北エリア)	99.3%	0.0%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
F (ロシアエリア)	27.8%	1.1%	0.5%	1.6%	2.8%	40.8%	24.7%	0.7%
G (韓国 東海岸エリア)	96.8%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.6%	0.5%	1.5%
全調査海岸平均	58.8%	2.9%	3.3%	0.3%	1.3%	7.4%	5.4%	20.6%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(個/100m²)

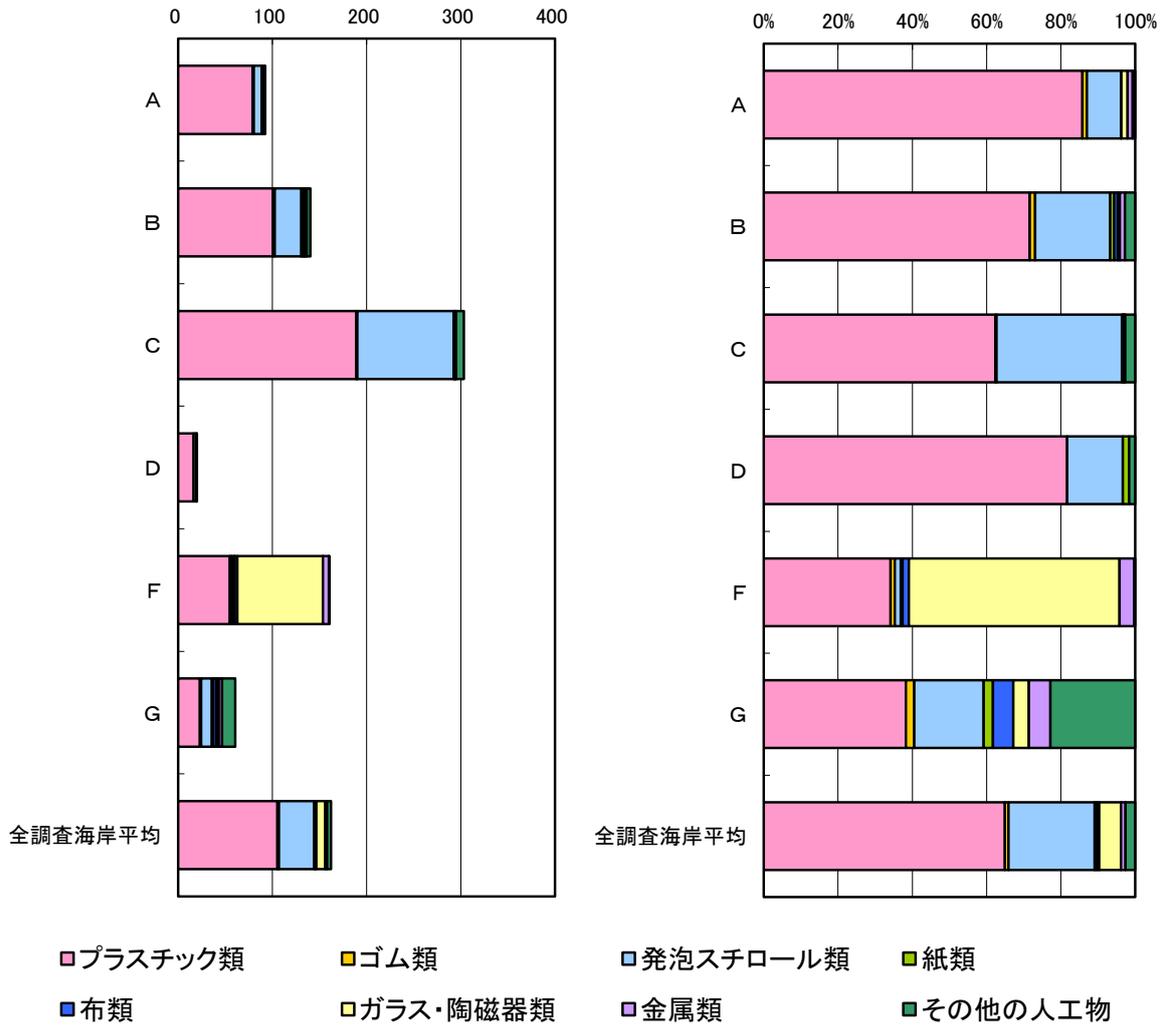


図2. 4-3 エリア別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)と割合(%)

表2. 4-3(1) エリア別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

エリア	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
A (九州・沖縄エリア)	79	1	8	0	0	2	1	1	92
B (中国・近畿エリア)	101	2	28	1	1	1	2	4	140
C (北陸エリア)	189	1	102	1	0	1	1	8	303
D (東北エリア)	16	0	3	0	0	0	0	0	20
F (ロシアエリア)	55	2	3	1	3	91	6	1	161
G (韓国 東海岸エリア)	23	1	11	2	3	3	4	14	61
全調査海岸平均	105	1	38	1	1	10	2	4	162

表2. 4-3(2) エリア別単位面積あたりの漂着物個数の割合(%)

エリア	プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物
A (九州・沖縄エリア)	85.8%	1.3%	9.1%	0.0%	0.1%	1.7%	1.4%	0.7%
B (中国・近畿エリア)	71.6%	1.4%	20.2%	1.1%	1.0%	0.6%	1.4%	2.8%
C (北陸エリア)	62.3%	0.4%	33.7%	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	2.7%
D (東北エリア)	81.7%	0.0%	15.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
F (ロシアエリア)	34.2%	1.1%	1.6%	0.5%	1.7%	56.7%	3.9%	0.3%
G (韓国 東海岸エリア)	38.3%	2.2%	18.7%	2.5%	5.5%	4.1%	5.8%	22.9%
全調査海岸平均	65.0%	0.9%	23.2%	0.6%	0.6%	5.9%	1.2%	2.6%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(5) エリア別の漂着物量の経年変化

2016年度から2025年度までにおける10年間の調査結果について、エリア別の単位面積あたりの漂着物量の経年変化を比較した。

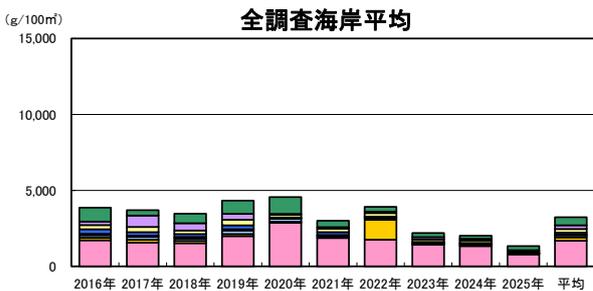
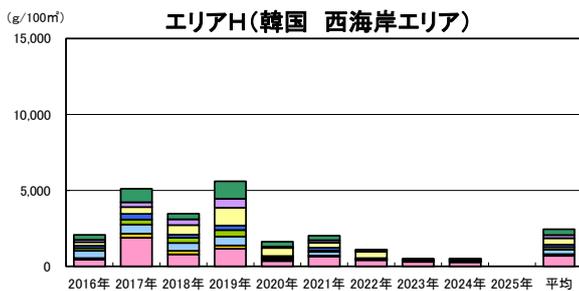
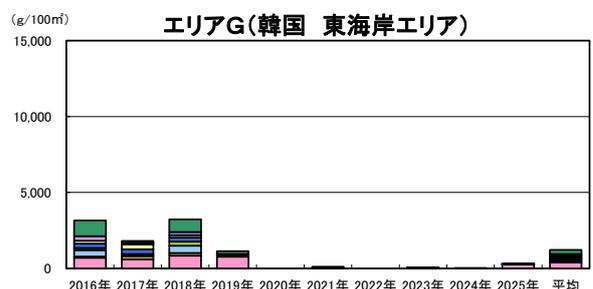
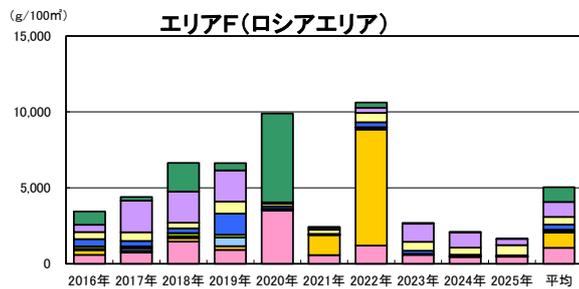
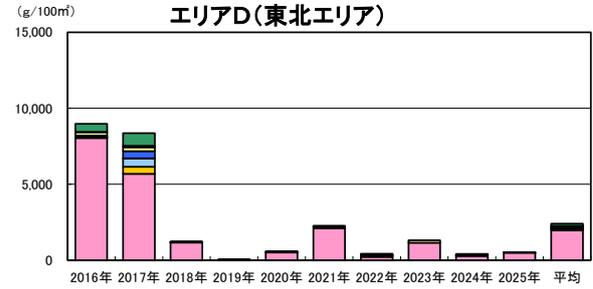
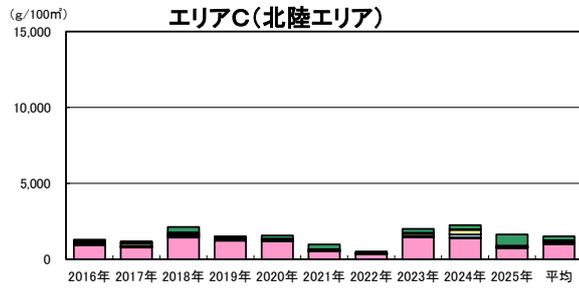
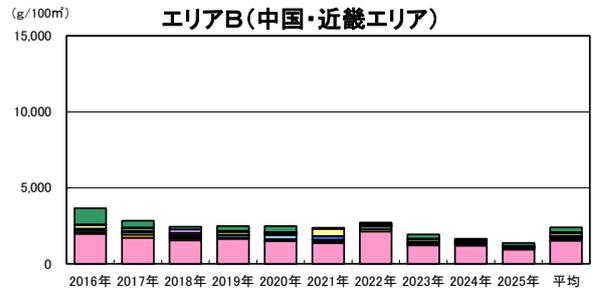
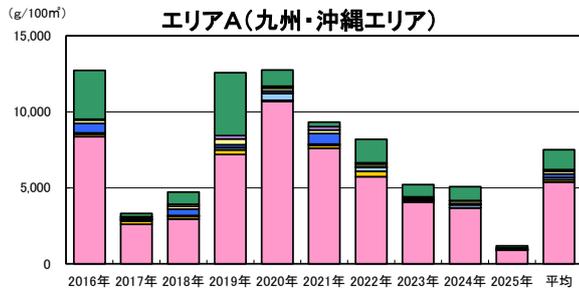
エリア別の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化を図2.4-4、表2.4-4、エリア別の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化を図2.4-5、表2.4-5に示す。

① エリア別の単位面積あたりの漂着物重量

10年間の平均重量は、「エリアA(九州・沖縄エリア)」が $7,508.2\text{g}/100\text{m}^2$ (年度別:1,185.1~12,759.2 $\text{g}/100\text{m}^2$)と最も重く、2025年度は $1,185.1\text{g}/100\text{m}^2$ と平均より軽かった。次いで「エリアF(ロシアエリア)」が $5,049.2\text{g}/100\text{m}^2$ (同1,654.3~10,617.4 $\text{g}/100\text{m}^2$)と重く、2025年度は $1,654.3\text{g}/100\text{m}^2$ と平均より軽かった。

② エリア別の単位面積あたりの漂着物個数

10年間の平均個数は、「エリアB(中国・近畿エリア)」が $327\text{個}/100\text{m}^2$ (年度別:140~528 $\text{個}/100\text{m}^2$)と最も多く、2025年度は $140\text{個}/100\text{m}^2$ と平均より少なかった。次いで「エリアA(九州・沖縄エリア)」が $289\text{個}/100\text{m}^2$ (同92~503 $\text{個}/100\text{m}^2$)と多く、2025年度は $92\text{個}/100\text{m}^2$ と平均より少なかった。



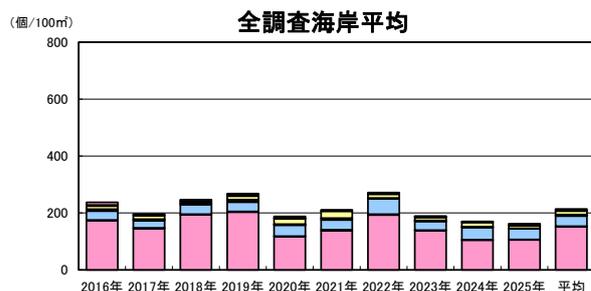
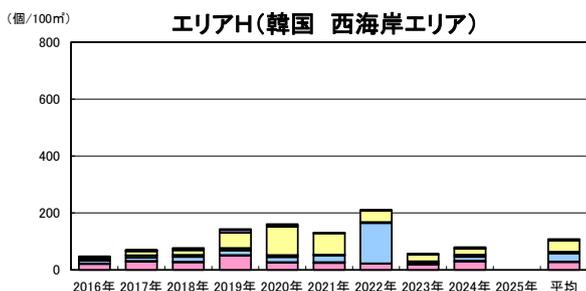
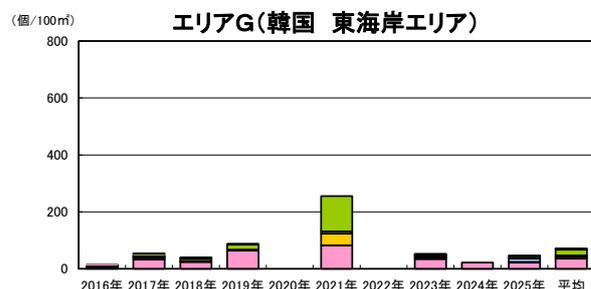
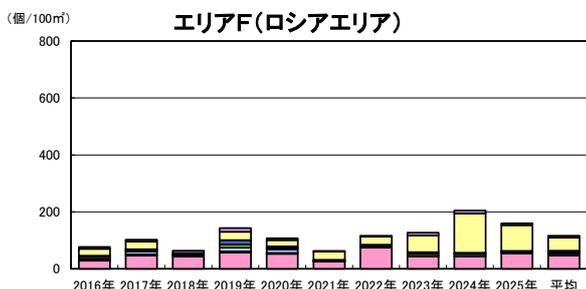
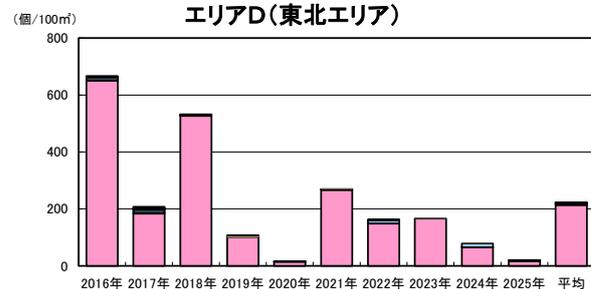
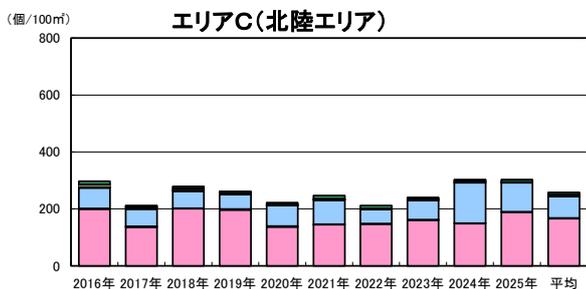
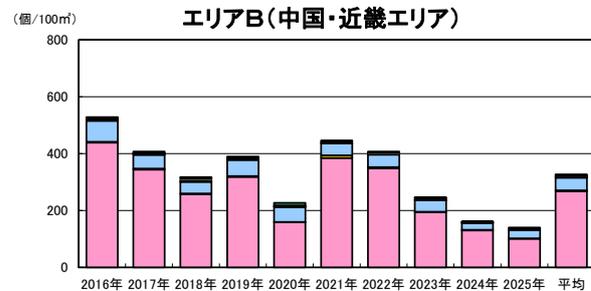
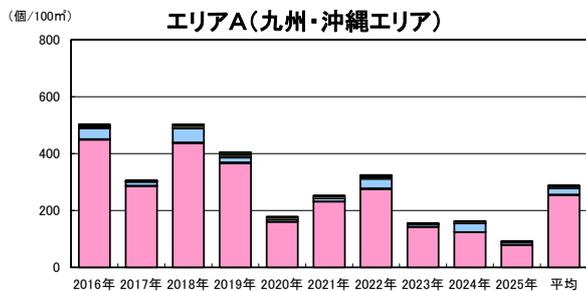
■プラスチック類
 ■ゴム類
 ■発泡スチロール類
 ■紙類
 ■布類
 ■ガラス・陶磁器類
 ■金属類
 ■その他の人工物

図2. 4-4 エリア別の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)

表2. 4-4 エリア別の単位面積あたりの漂着物重量の経年変化(g/100m²)

エリア	年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	10年間平均
A	(九州・沖縄エリア)	12,729.3	3,316.2	4,717.3	12,575.2	12,759.2	9,320.9	8,196.5	5,211.7	5,070.7	1,185.1	7,508.2
B	(中国・近畿エリア)	3,649.3	2,836.2	2,434.3	2,482.4	2,481.5	2,372.6	2,706.4	1,930.8	1,646.1	1,372.4	2,391.2
C	(北陸エリア)	1,294.2	1,181.4	2,132.6	1,517.0	1,573.2	981.2	515.0	2,004.9	2,246.4	1,632.5	1,507.8
D	(東北エリア)	8,979.0	8,360.3	1,220.7	31.3	562.0	2,276.5	432.5	1,315.0	410.7	503.7	2,409.2
F	(ロシアエリア)	3,443.9	4,408.7	6,642.8	6,627.9	9,898.1	2,434.5	10,617.4	2,688.7	2,075.2	1,654.3	5,049.2
G	(韓国 東海岸エリア)	3,161.1	1,804.0	3,234.4	1,138.9	-	113.2	-	42.3	25.8	287.2	1,225.9
H	(韓国 西海岸エリア)	2,073.4	5,100.8	3,468.4	5,600.9	1,618.9	2,011.6	1,104.9	483.9	512.9	-	2,441.7
全調査海岸平均		3,863.4	3,702.1	3,467.8	4,333.7	4,556.2	3,007.2	3,919.4	2,193.5	2,022.7	1,332.5	3,239.8

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。



■プラスチック類
 ■ゴム類
 ■発泡スチロール類
 ■紙類
 ■布類
 ■ガラス・陶磁器類
 ■金属類
 ■その他の人工物

図2. 4-5 エリア別の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

表2. 4-5 エリア別の単位面積あたりの漂着物個数の経年変化(個/100m²)

エリア	年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	10年間平均
A	(九州・沖縄エリア)	503	306	503	405	179	253	325	156	163	92	289
B	(中国・近畿エリア)	528	408	318	390	227	446	407	247	161	140	327
C	(北陸エリア)	297	212	279	261	222	247	212	241	303	303	258
D	(東北エリア)	667	208	532	108	16	270	162	166	79	20	223
F	(ロシアエリア)	94	106	65	148	109	65	117	129	206	161	120
G	(韓国 東海岸エリア)	15	56	43	91	-	255	-	65	22	61	76
H	(韓国 西海岸エリア)	48	71	77	143	161	131	211	56	80	-	109
全調査海岸平均		238	197	247	268	188	211	272	189	171	162	214

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(6) エリア別の国内・海外起因別の漂着物量の結果

エリア別の国内・海外起因の単位面積あたりの漂着物重量とその割合を図2.4-6、表2.4-6、エリア別の国内・海外起因の単位面積あたりの漂着物個数とその割合を図2.4-7、表2.4-7に示す。

また、グラフ中の「日」は日本、「ロ」はロシア、「韓」は韓国、「中」は中国、「他」はその他の国が起因であることを示す。

① エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量

全調査海岸平均では、海外起因と特定される重量の割合は 5.3%であり、エリア別では、「エリアB(中国・近畿エリア)」が 9.8%と最も高く、次いで「エリアA(九州・沖縄エリア)」が 3.9%であった。

② エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数

全調査海岸平均では、海外起因と特定される個数の割合は 2.9%であり、エリア別では、「エリアA(九州・沖縄エリア)」が 6.6%と最も高く、次いで「エリアB(中国・近畿エリア)」が 5.2%であった。

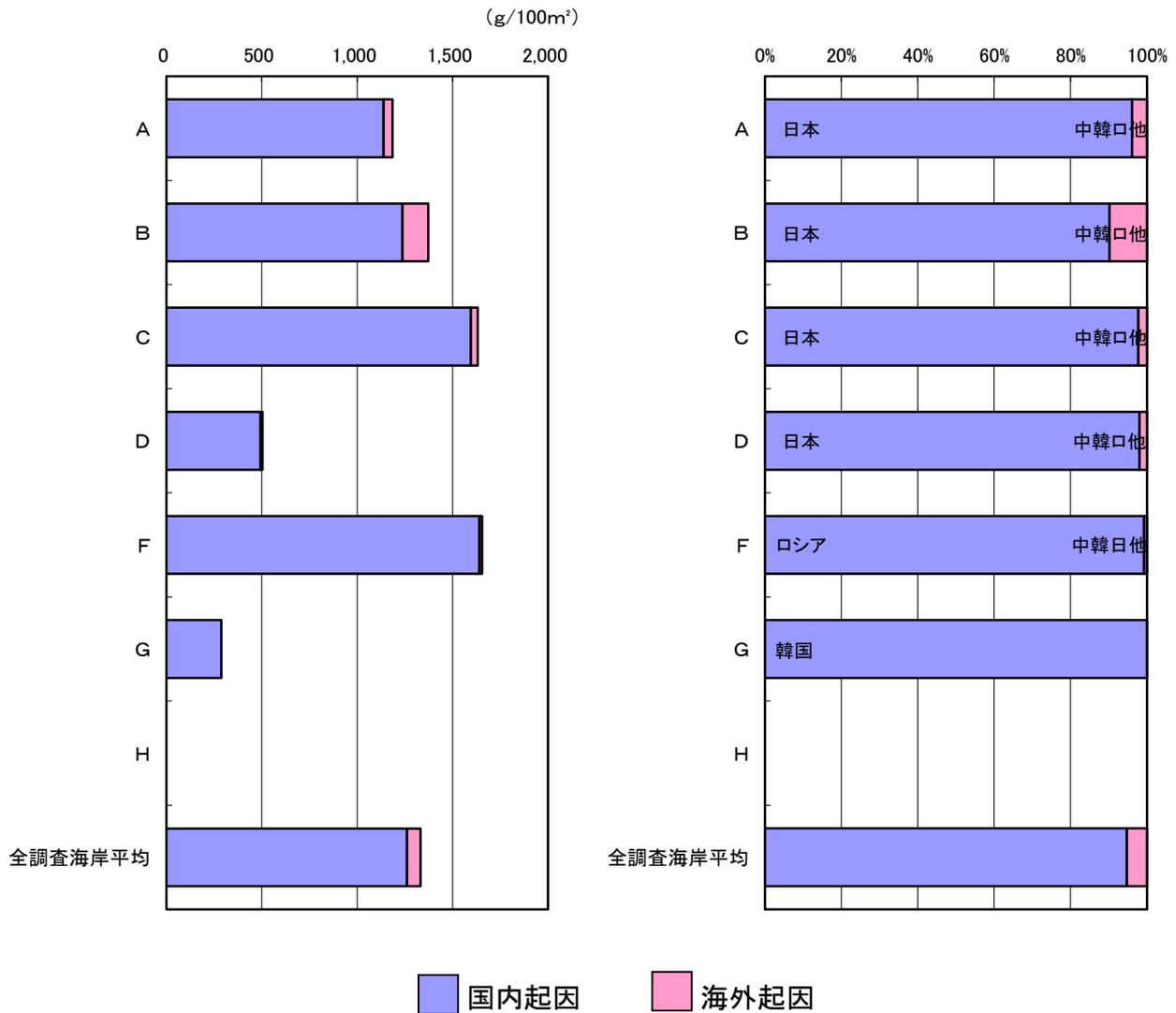


図2. 4-6 エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)と割合(%)

表2. 4-6(1) エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

単位面積あたりの重量(g/100m²)[エリア内海岸平均]			
エリア	国内	海外	合計
A(九州・沖縄エリア)	1,138.6	46.5	1,185.1
B(中国・近畿エリア)	1,237.7	134.7	1,372.4
C(北陸エリア)	1,595.9	36.6	1,632.5
D(東北エリア)	493.7	10.0	503.7
F(ロシアエリア)	1,641.7	12.7	1,654.3
G(韓国 東海岸エリア)	287.2	0.0	287.2
H(韓国 西海岸エリア)	-	-	-
全調査海岸平均	1,261.9	70.6	1,332.5

表2. 4-6(2) エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量の割合(%)

単位面積あたりの重量の割合(%) [エリア内海岸平均]		
エリア	国内起因	海外起因
A(九州・沖縄エリア)	96.1%	3.9%
B(中国・近畿エリア)	90.2%	9.8%
C(北陸エリア)	97.8%	2.2%
D(東北エリア)	98.0%	2.0%
F(ロシアエリア)	99.2%	0.8%
G(韓国 東海岸エリア)	100.0%	0.0%
H(韓国 西海岸エリア)	-	-
全調査海岸平均	94.7%	5.3%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

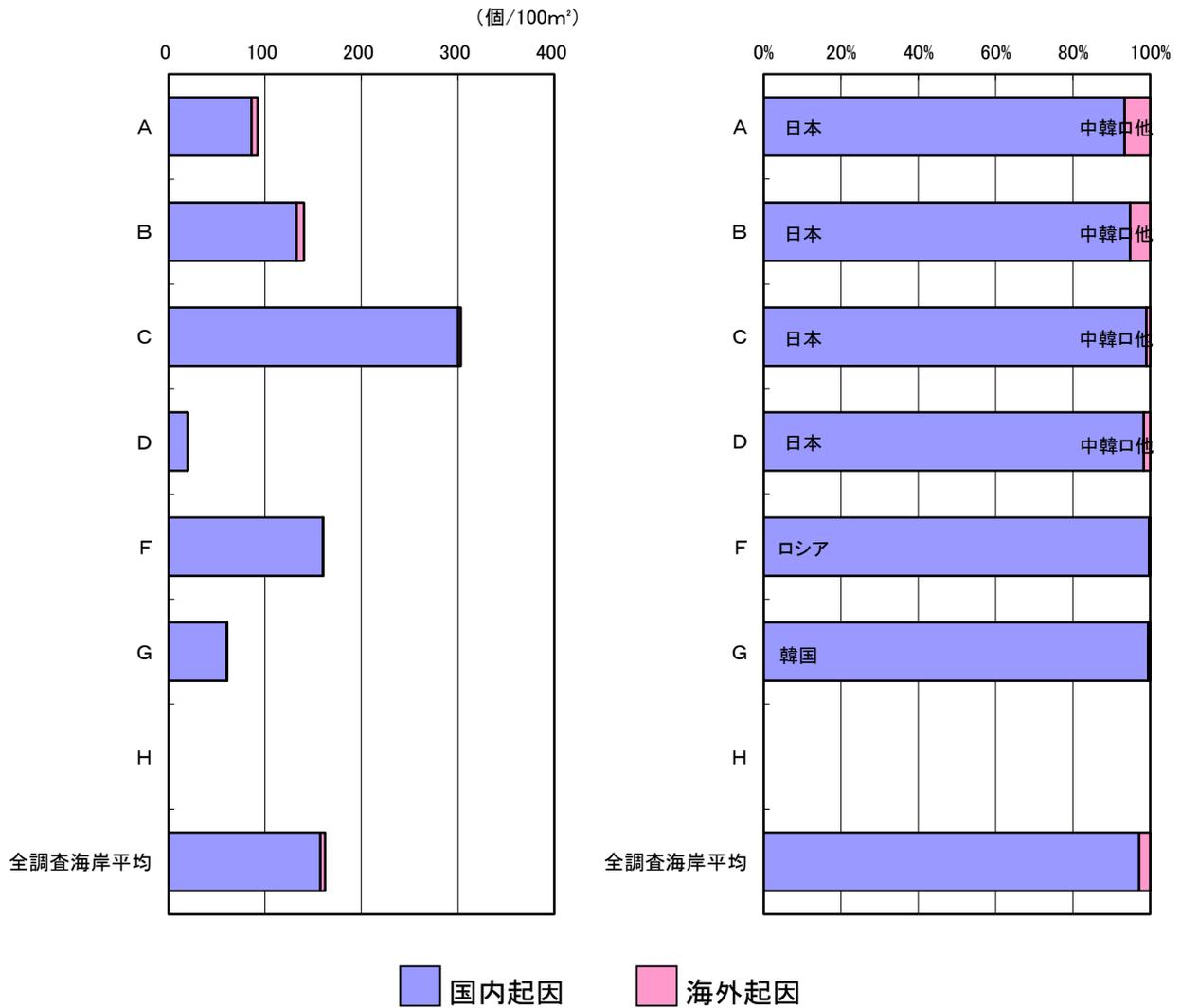


図2. 4-7 エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

表2. 4-7(1) エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

単位面積あたりの個数(個/100m ²)[エリア内海岸平均]			
エリア	国内	海外	合計
A(九州・沖縄エリア)	86	6	92
B(中国・近畿エリア)	133	7	140
C(北陸エリア)	300	3	303
D(東北エリア)	20	0	20
F(ロシアエリア)	160	1	161
G(韓国 東海岸エリア)	61	0	61
H(韓国 西海岸エリア)	-	-	-
全調査海岸平均	158	5	162

表2. 4-7(2) エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数の割合(%)

単位面積あたりの個数の割合(%) [エリア内海岸平均]		
エリア	国内起因	海外起因
A(九州・沖縄エリア)	93.4%	6.6%
B(中国・近畿エリア)	94.8%	5.2%
C(北陸エリア)	99.0%	1.0%
D(東北エリア)	98.3%	1.7%
F(ロシアエリア)	99.7%	0.3%
G(韓国 東海岸エリア)	99.5%	0.5%
H(韓国 西海岸エリア)	-	-
全調査海岸平均	97.1%	2.9%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(7) エリア別の国内・海外起因別漂着物量の経年変化

2016年度から2025年度までにおける10年間の調査結果について、エリア別の単位面積あたりの国内・海外起因別漂着物量の経年変化を比較した。

エリア別の国内・海外起因別漂着物重量とその割合を図2.4-8、表2.4-8、個数とその割合を図2.4-9、表2.4-9に示す。

また、エリア別ごとの国内・海外起因漂着物重量、個数及びそれらの割合の経年変化を図2.4-10に示す。

グラフ中の「日」は日本、「ロ」はロシア、「韓」は韓国、「中」は中国、「他」はその他の国が起因であることを示す。

① エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物重量

海外起因の10年間平均重量は、「エリアA(九州・沖縄エリア)」が[※]11.8%(年度別:3.0~42.9%)と最も高く、2025年度は3.9%と平均より低かった。次いで「エリアF(ロシアエリア)」が11.4%(年度別:0.0~51.6%)と高く、2025年度は0.8%と平均より低かった。

② エリア別の国内・海外起因別単位面積あたりの漂着物個数

海外起因の10年間平均個数は、「エリアA(九州・沖縄エリア)」が7.2%(年度別:1.8~14.4%)と最も高く、2025年度は6.6%と平均より高かった。次いで「エリアF(ロシアエリア)」が4.5%(年度別:0.0~14.2%)と高く、2025年度は0.3%と平均より低かった。

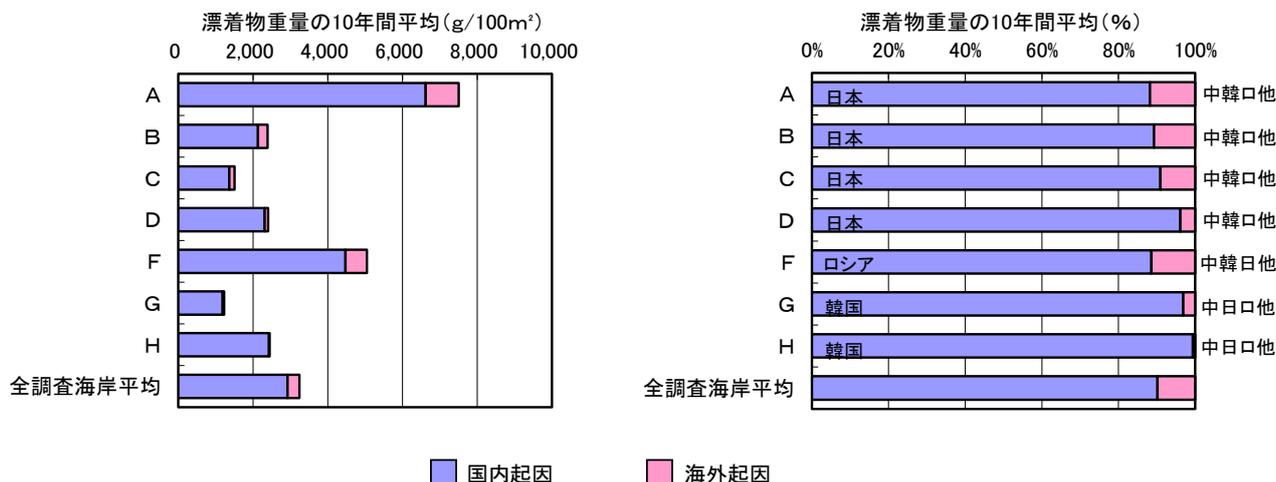


図2. 4-8 エリア別の国内・海外起因漂着物重量(10年間平均)

表2. 4-8 エリア別の国内・海外起因漂着物重量(10年間平均)(g/100m²)

エリア	国内起因		海外起因		合計
A (九州・沖縄エリア)	6,624.2	88.2%	884.0	11.8%	7,508.2
B (中国・近畿エリア)	2,134.4	89.3%	256.7	10.7%	2,391.2
C (北陸エリア)	1,370.8	90.9%	137.1	9.1%	1,507.8
D (東北エリア)	2,316.5	96.2%	92.7	3.8%	2,409.2
F (ロシアエリア)	4,473.8	88.6%	575.3	11.4%	5,049.2
G (韓国 東海岸エリア)	1,188.0	96.9%	37.9	3.1%	1,225.9
H (韓国 西海岸エリア)	2,426.7	99.4%	15.1	0.6%	2,441.7
全調査海岸平均	2,921.5	90.2%	318.3	9.8%	3,239.8

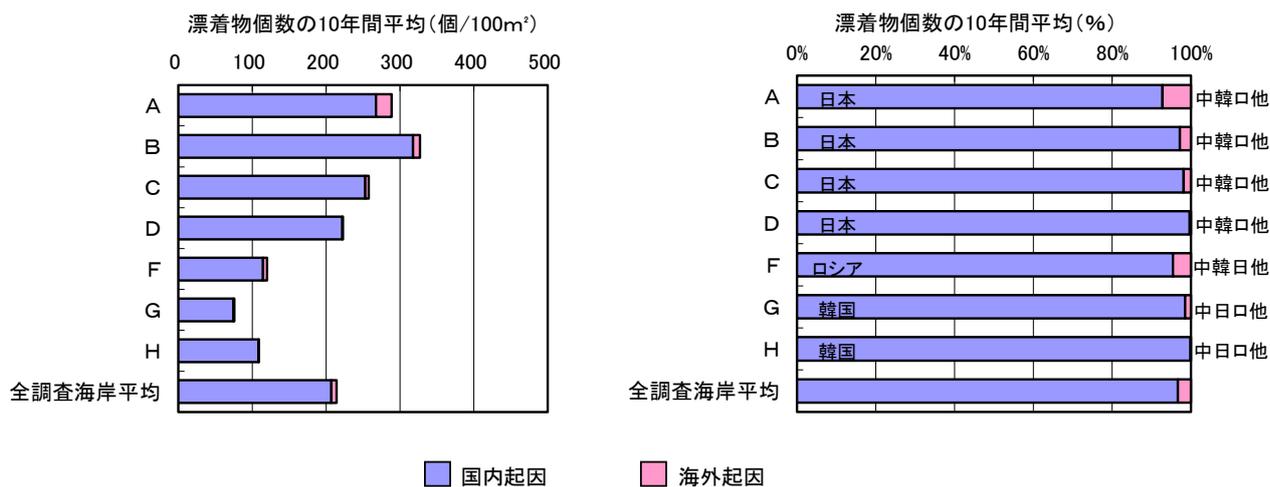


図2. 4-9 エリア別の国内・海外起因漂着物個数(10年間平均)

表2. 4-9 エリア別の国内・海外起因漂着物個数(10年間平均)(個/100m²)

エリア	国内起因		海外起因		合計
A (九州・沖縄エリア)	268	92.8%	21	7.2%	289
B (中国・近畿エリア)	318	97.2%	9	2.8%	327
C (北陸エリア)	253	98.2%	5	1.8%	258
D (東北エリア)	222	99.7%	1	0.3%	223
F (ロシアエリア)	115	95.5%	5	4.5%	120
G (韓国 東海岸エリア)	75	98.5%	1	1.5%	76
H (韓国 西海岸エリア)	109	99.9%	0	0.1%	109
全調査海岸平均	207	96.7%	7	3.3%	214

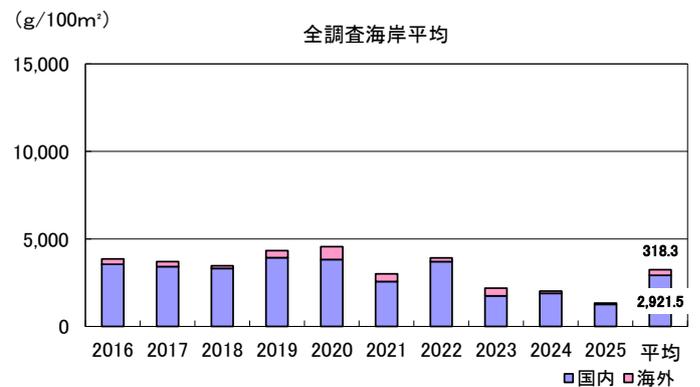
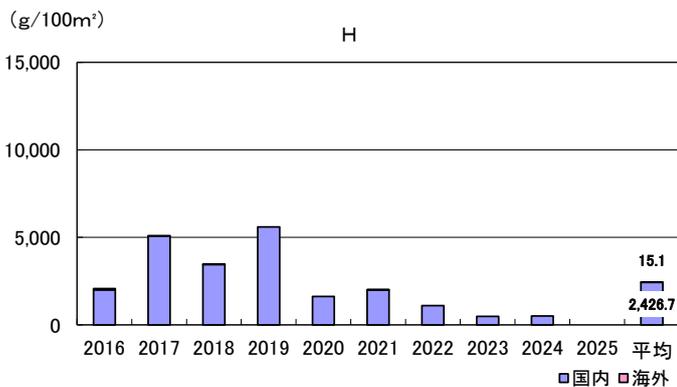
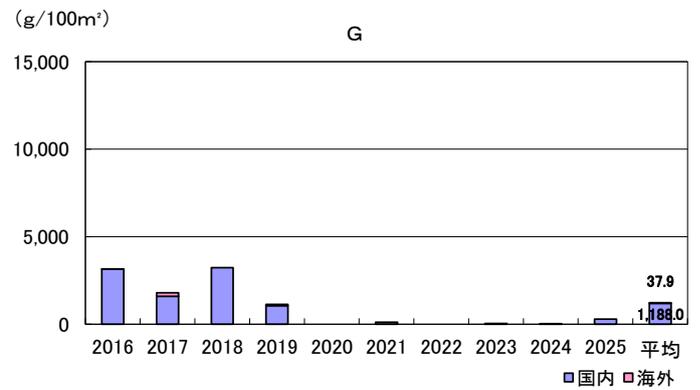
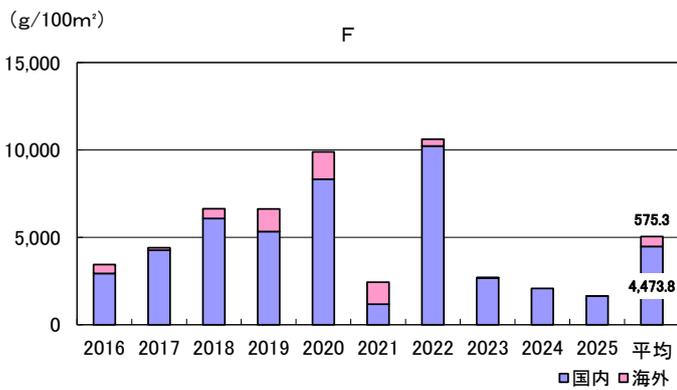
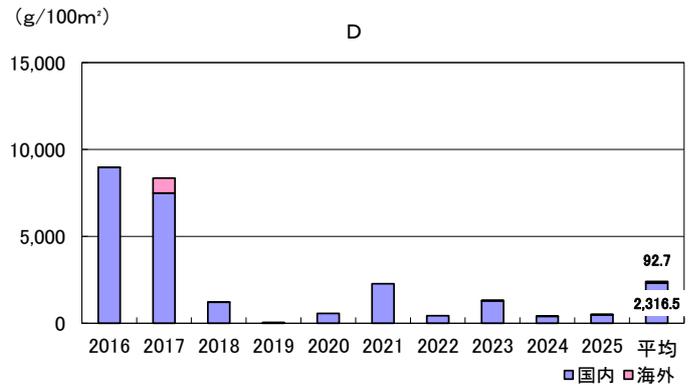
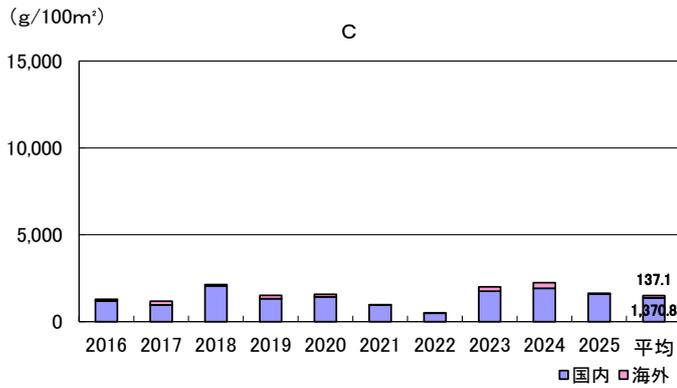
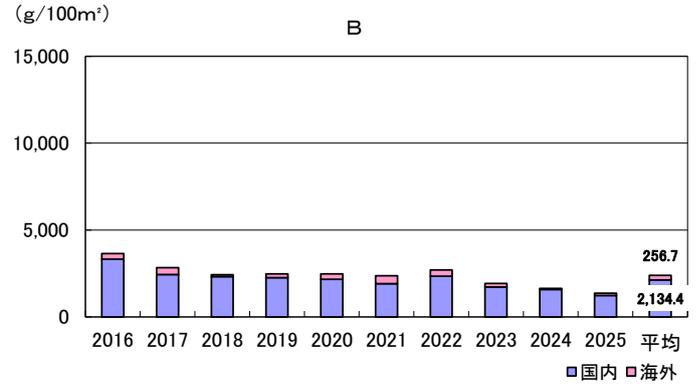
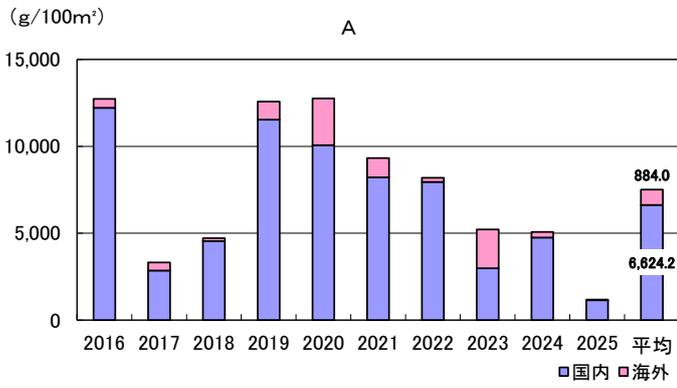


図2. 4-10(1) エリア別の国内・海外起因漂着物重量の経年変化 (g/100m²)

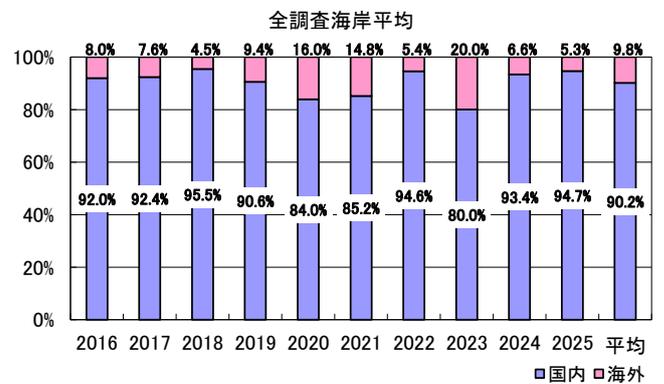
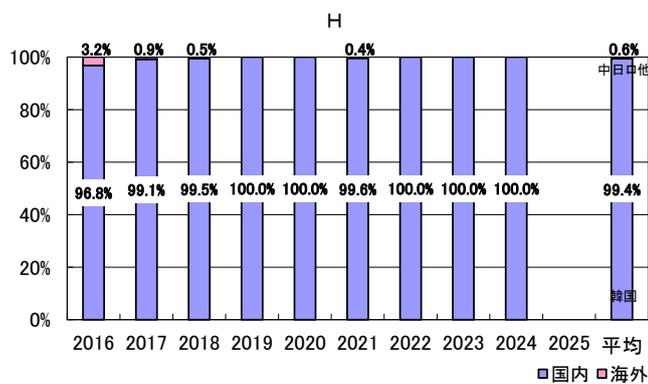
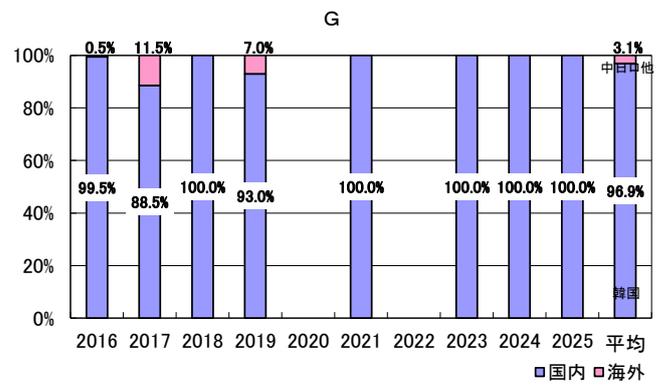
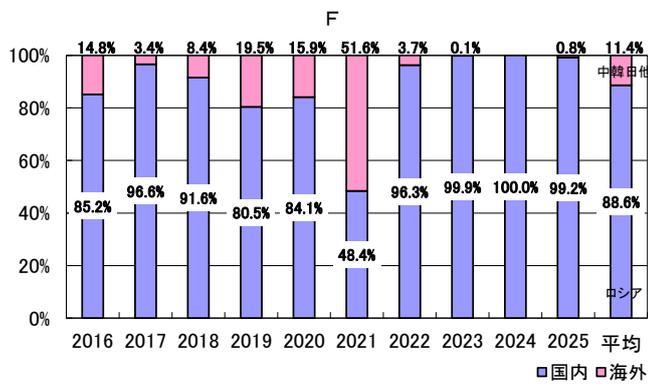
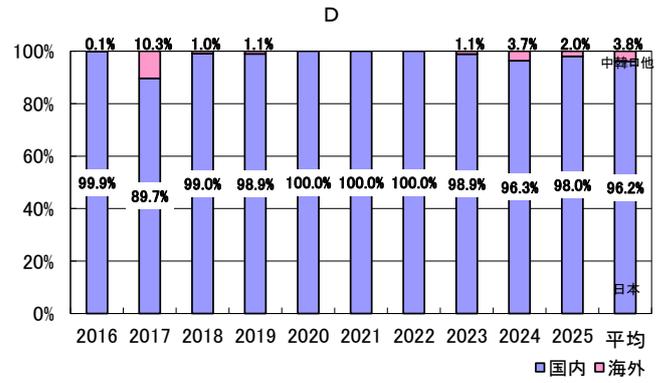
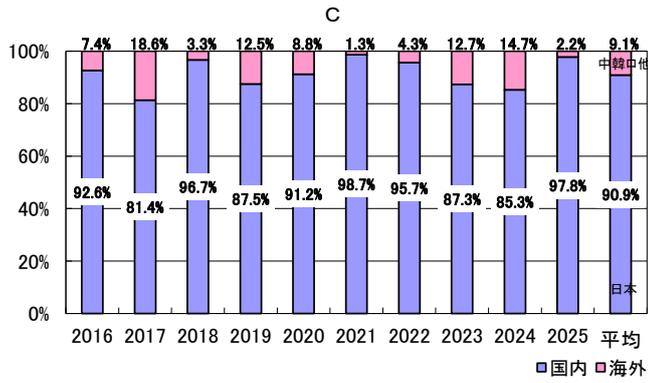
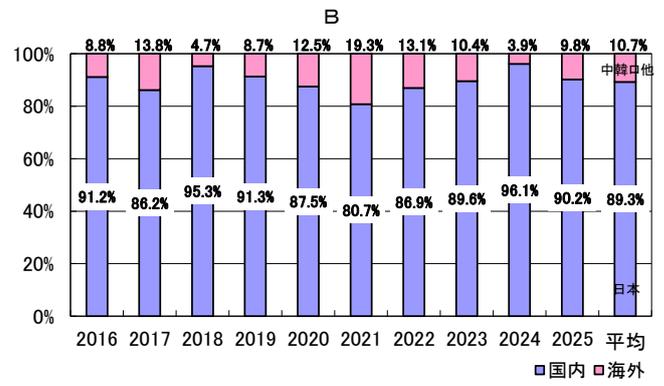
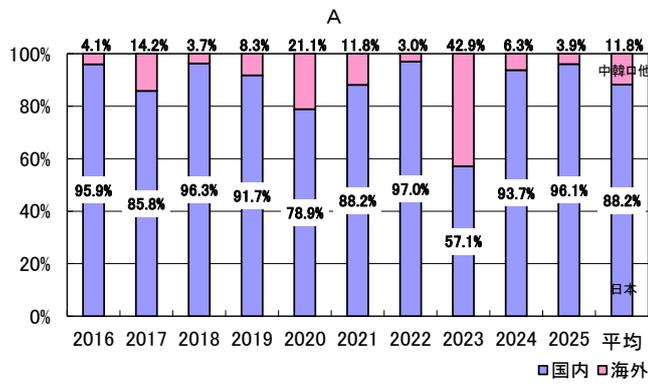


図2. 4-10(2) エリア別の国内・海外起因漂着物重量割合の経年変化(%)

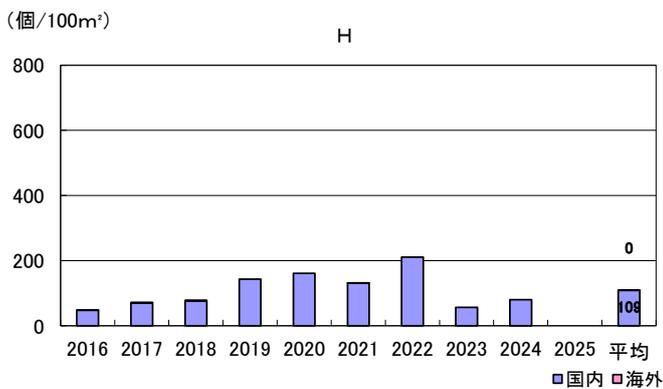
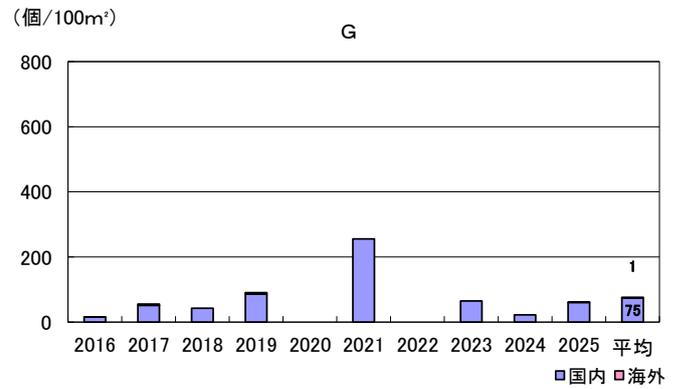
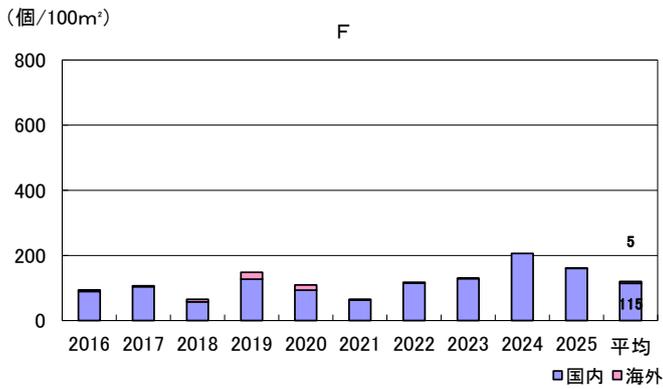
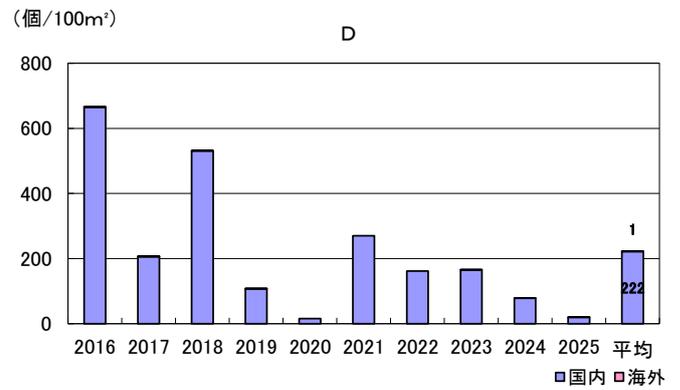
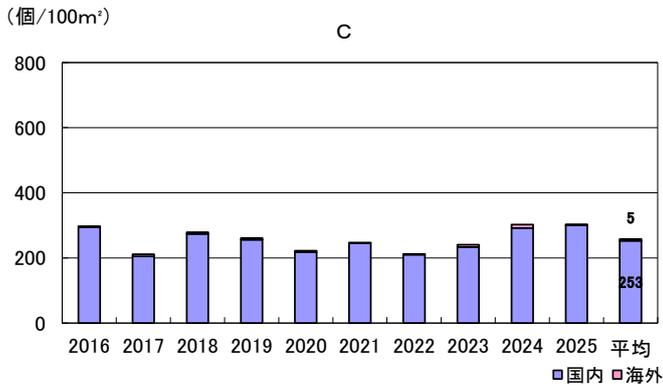
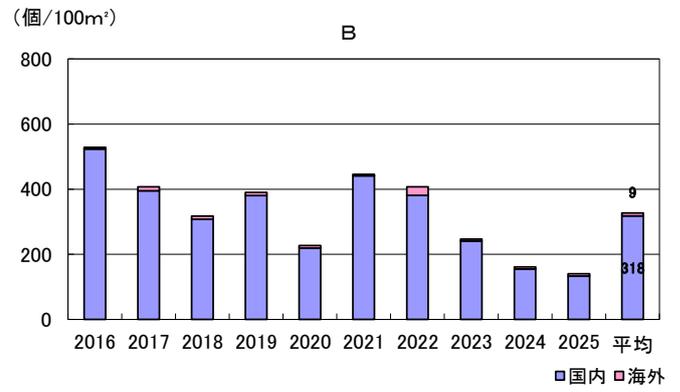
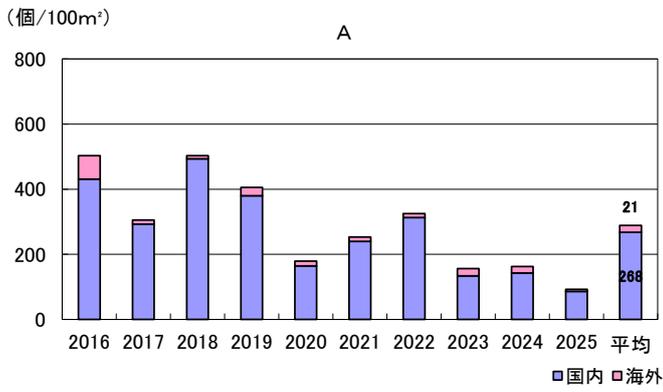


図2. 4-10(3) エリア別の国内・海外起因漂着物個数の経年変化(g/100m²)

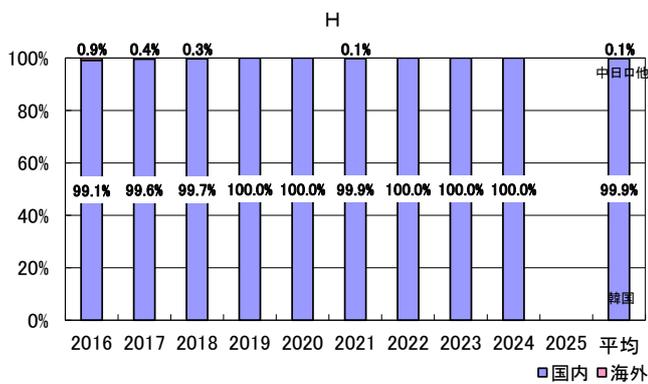
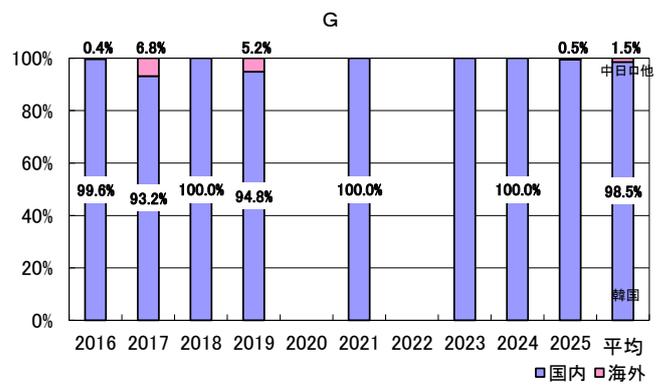
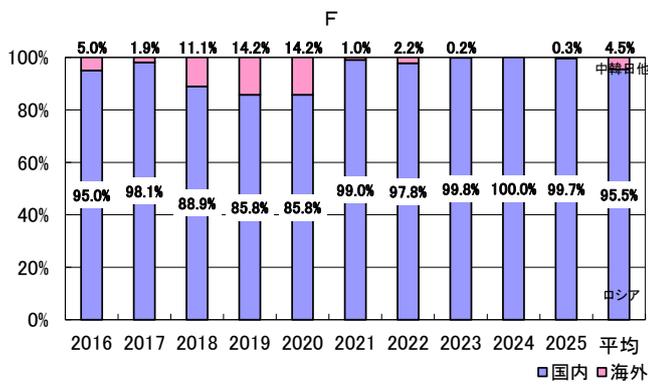
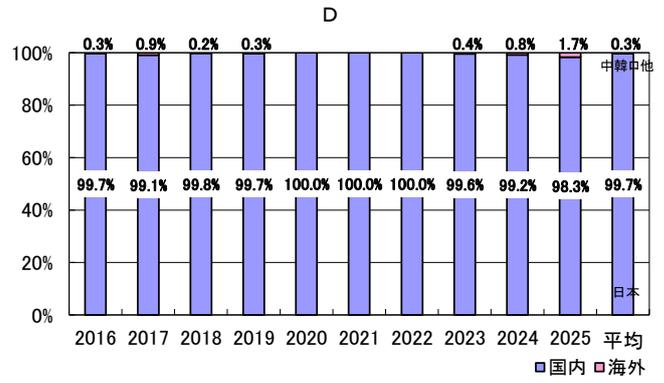
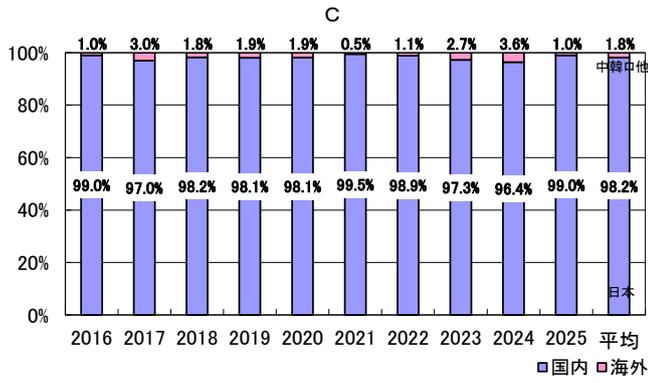
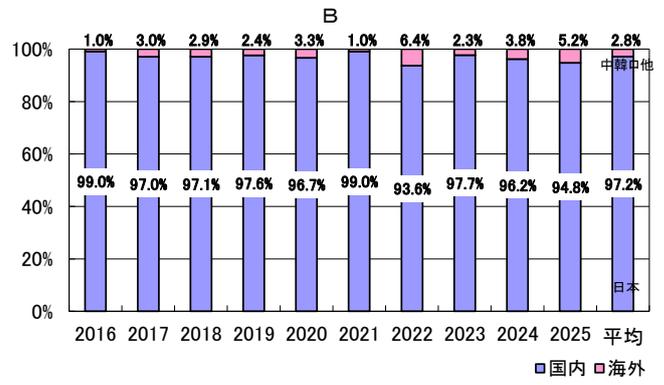
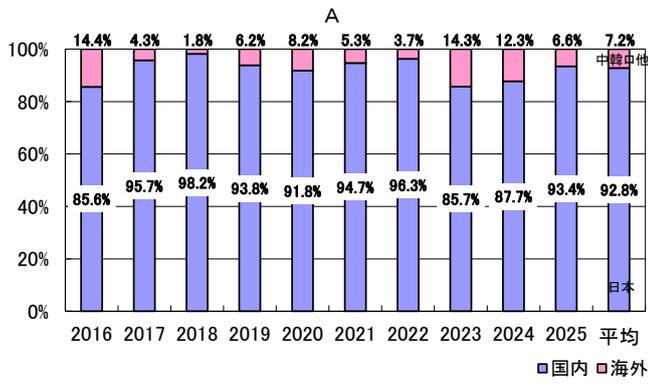


図2. 4-10(4) エリア別の国内・海外起因漂着物個数割合の経年変化(%)

2. 5 プラスチック類の小分類別結果

漂着物の重量、個数の割合が高いプラスチック類について、さらに9種類に分類した。

プラスチック類の小分類別個数とその割合を図2. 5-1、表2. 5-1～2に示す。

また、プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数とその割合を図2. 5-2、表2. 5-3～4に示す。

(1) プラスチック類の小分類別個数

個数は 7,190 個であり、小分類別では「破片類」が 3,731 個(プラスチック個数の 51.9%)と最も多く、次いで「ひも類」が 966 個(同 13.4%)の順であり、その他の小分類の占める割合は、いずれも 10%未満であった。

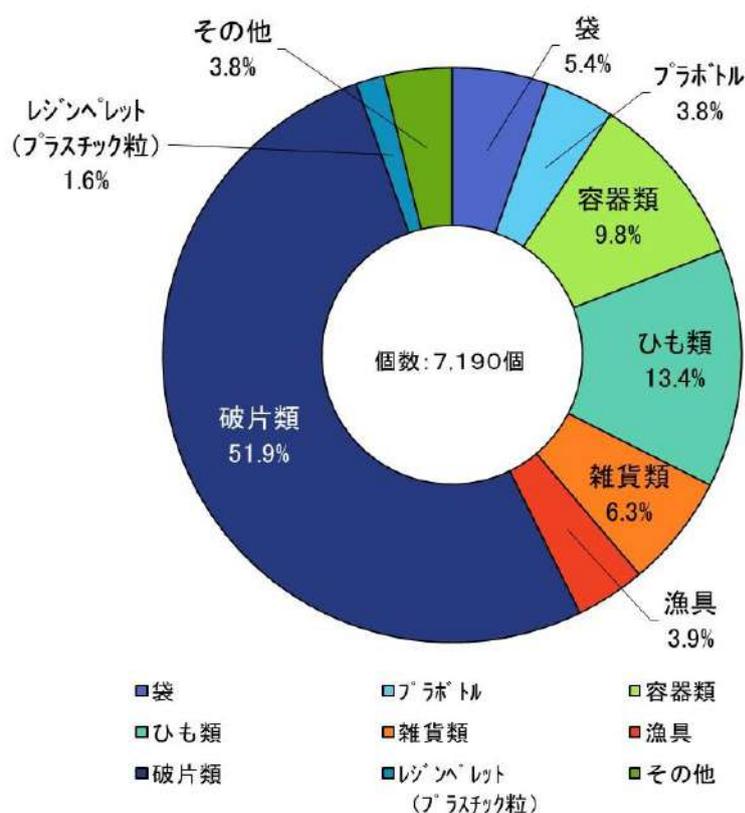


図2. 5-1 プラスチック類の小分類別個数の割合(%)

表2. 5-1 プラスチック類の小分類別個数(個)

	袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンペレット (プラスチック粒)	その他	合計
個数(個)	386	276	708	966	455	281	3,731	113	274	7,190
割合(%)	5.4%	3.8%	9.8%	13.4%	6.3%	3.9%	51.9%	1.6%	3.8%	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

表2. 5-2(1) プラスチック類の小分類別個数(個)

個数(個)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	湊浜海浜公園	里浜海水浴場	大浜海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-13	J42-12	J35-05	J32-15A
	調査面積(m ²)	300	300	300	400	500	300
①袋		1	25	16	11	15	34
②プラボトル		3	3	21	4	33	32
③容器類		12	10	103	11	104	32
④ひも類		24	34	54	245	64	30
⑤雑貨類		7	9	40	5	28	24
⑥漁具		7	1	33	3	20	10
⑦破片類		29	33	197	0	668	104
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	0	110	0
⑨その他		0	2	0	102	18	8
合計		83	117	464	381	1,060	274

個数(個)	調査海岸	持石海岸C	持石海岸E	持石海岸F	小浜海岸B	弓ヶ浜海岸	浦富海岸
	海岸コード	J32-15C	J32-15E	J32-15F	J32-19B	J31-11	J31-02
	調査面積(m ²)	300	300	300	300	300	300
①袋		43	10	8	37	14	0
②プラボトル		28	27	22	32	17	0
③容器類		70	22	23	70	24	2
④ひも類		26	17	21	20	24	29
⑤雑貨類		31	8	5	25	26	1
⑥漁具		21	34	13	19	16	2
⑦破片類		147	42	34	178	242	37
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	1	0	0	0	2
⑨その他		10	4	4	5	9	0
合計		376	165	130	386	372	73

個数(個)	調査海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり海水浴場
	海岸コード	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03
	調査面積(m ²)	400	200	400	300	400	300
①袋		2	0	1	8	2	6
②プラボトル		12	13	0	5	2	7
③容器類		50	57	28	30	2	11
④ひも類		128	132	27	27	6	0
⑤雑貨類		18	29	57	31	1	3
⑥漁具		23	38	27	5	1	6
⑦破片類		337	554	645	313	74	16
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	0	0	0
⑨その他		5	20	65	17	0	0
合計		575	843	850	436	88	49

表2. 5-2(2) プラスチック類の小分類別個数(個)

個数(個)	調査海岸	トキ入江	オブマンヤ入江	安木(アンモク)海岸	全調査海岸合計	
	海岸コード	R01-02	R01-05	K01-11		
	調査面積(m ²)	300	300	600	調査面積(m ²)	7,100
①袋		10	117	26	386	5.4%
②プラボトル		6	8	1	276	3.8%
③容器類		2	40	5	708	9.8%
④ひも類		2	18	38	966	13.4%
⑤雑貨類		0	94	13	455	6.3%
⑥漁具		0	2	0	281	3.9%
⑦破片類		1	26	54	3,731	51.9%
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	113	1.6%
⑨その他		2	1	2	274	3.8%
合 計		23	306	139	7,190	100.0%

注) 1. 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

2. 「その他」は、燃え殻、注射器、コード配線類、医療系廃棄物、ウレタン、ポリエチレンパイプなどであった。

(参考)

個数(個)	調査海岸	柴垣海岸
	海岸コード	J17-06
	調査面積(m ²)	1,500
①袋		9
②プラボトル		202
③容器類		102
④ひも類		24
⑤雑貨類		24
⑥漁具		408
⑦破片類		0
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0
⑨その他		107
合 計		876

注) 上記の海岸については、分類別の重量が測定されていない又は分類方法が異なるため、全調査海岸合計に含めない。

(2) プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数

プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数は 105 個/100m²であり、小分類別では、「破片類」が 55 個(プラスチック個数の 51.9%)と最も多く、次いで「ひも類」が 14 個(同 13.3%)、「容器類」が 11 個(同 10.1%)の順であり、その他の小分類の占める割合は、いずれも 10%未満であった。

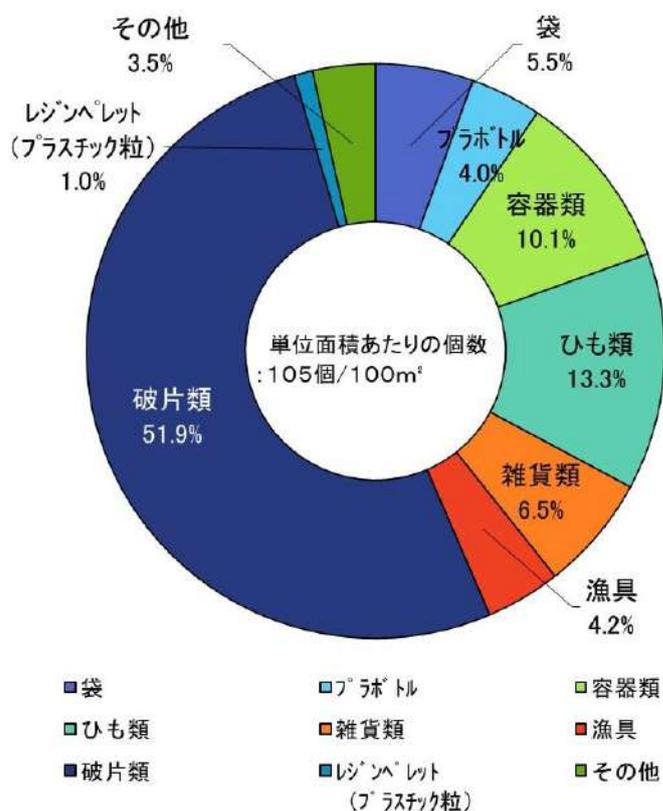


図2.5-2 プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数の割合(%)

表2.5-3 プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数(個/100m²)

	袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンペレット (プラスチック粒)	その他	合計
単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	6	4	11	14	7	4	55	1	4	105
割合(%)	5.5%	4.0%	10.1%	13.3%	6.5%	4.2%	51.9%	1.0%	3.5%	100.0%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

表2. 5-4(1) プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数(個/100m²)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	湊浜海浜公園	里浜海水浴場	大浜海岸	持石海岸A
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-13	J42-12	J35-05	J32-15A
①袋		0	8	5	3	3	11
②プラボトル		1	1	7	1	7	11
③容器類		4	3	34	3	21	11
④ひも類		8	11	18	61	13	10
⑤雑貨類		2	3	13	1	6	8
⑥漁具		2	0	11	1	4	3
⑦破片類		10	11	66	0	134	35
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	0	22	0
⑨その他		0	1	0	26	4	3
合 計		28	39	155	95	212	91

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	持石海岸C	持石海岸E	持石海岸F	小浜海岸B	弓ヶ浜海岸	浦富海岸
	海岸コード	J32-15C	J32-15E	J32-15F	J32-19B	J31-11	J31-02
①袋		14	3	3	12	5	0
②プラボトル		9	9	7	11	6	0
③容器類		23	7	8	23	8	1
④ひも類		9	6	7	7	8	10
⑤雑貨類		10	3	2	8	9	0
⑥漁具		7	11	4	6	5	1
⑦破片類		49	14	11	59	81	12
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	0	0	1
⑨その他		3	1	1	2	3	0
合 計		125	55	43	129	124	24

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場
	海岸コード	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03
①袋		1	0	0	3	1	2
②プラボトル		3	7	0	2	1	2
③容器類		13	29	7	10	1	4
④ひも類		32	66	7	9	2	0
⑤雑貨類		5	15	14	10	0	1
⑥漁具		6	19	7	2	0	2
⑦破片類		84	277	161	104	19	5
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	0	0	0
⑨その他		1	10	16	6	0	0
合 計		144	422	213	145	22	16

表2. 5-4(2) プラスチック類の小分類別単位面積あたりの個数(個/100m²)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	トキ入江	オブマンヤ 入江	安木(アンモク)海岸	全調査海岸平均	
	海岸コード	R01-02	R01-05	K01-11		
①袋		3	39	4	6	5.5%
②プラボトル		2	3	0	4	4.0%
③容器類		1	13	1	11	10.1%
④ひも類		1	6	6	14	13.3%
⑤雑貨類		0	31	2	7	6.5%
⑥漁具		0	1	0	4	4.2%
⑦破片類		0	9	9	55	51.9%
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0	0	0	1	1.0%
⑨その他		1	0	0	4	3.5%
合 計		8	102	23	105	100.0%

注) 1. 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

2. 「その他」は、燃え殻、注射器、コード配線類、医療系廃棄物、ウレタン、ポリエチレンパイプなどであった。

(参考)

単位面積あたりの 個数(個/100m ²)	調査海岸	柴垣海岸
	海岸コード	J17-06
①袋		1
②プラボトル		14
③容器類		7
④ひも類		2
⑤雑貨類		2
⑥漁具		27
⑦破片類		0
⑧レジンペレット(プラスチック粒)		0
⑨その他		7
合 計		58

注) 1. 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

2. 上記の海岸については、分類別の重量が測定されていない又は分類方法が異なるため、全調査海岸平均に含めない。

(3) プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数

プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数とその割合を図2. 5-3~4に示す。

プラスチック類の個数は、「松太枝浜(富山県)」が422個/100m²(全調査海岸平均105個/100m²の4.0倍)と最も多く、次いで「海老江海岸(富山県)」213個/100m²(同2.0倍)、「大浜海岸(山口県)」212個/100m²(同2.0倍)の順であった。個数が少なかったのは、「トキ入江(ロシア ハバロフスク地方)」が8個/100m²、次いで「浜中あさり海水浴場(山形県)」16個/100m²、「宮崎・境海岸(富山県)」22個/100m²の順であった。

(4) プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数の割合

小分類別で個数の多い「破片類」の割合は、「海老江海岸(富山県)」が84.1%と最も高く、次いで「島尾・松田江浜(富山県)」75.9%、「松太枝浜(富山県)」71.8%の順であった。「ひも類」の割合は、「里浜海水浴場(長崎県)」が64.3%と最も高く、次いで「浦富海岸(鳥取県)」39.7%、「蛤浜海水浴場(長崎県)」29.1%の順であった。

全調査海岸の21海岸中17海岸で、「破片類」の単位面積あたりの個数が最も多く、割合も高かった。

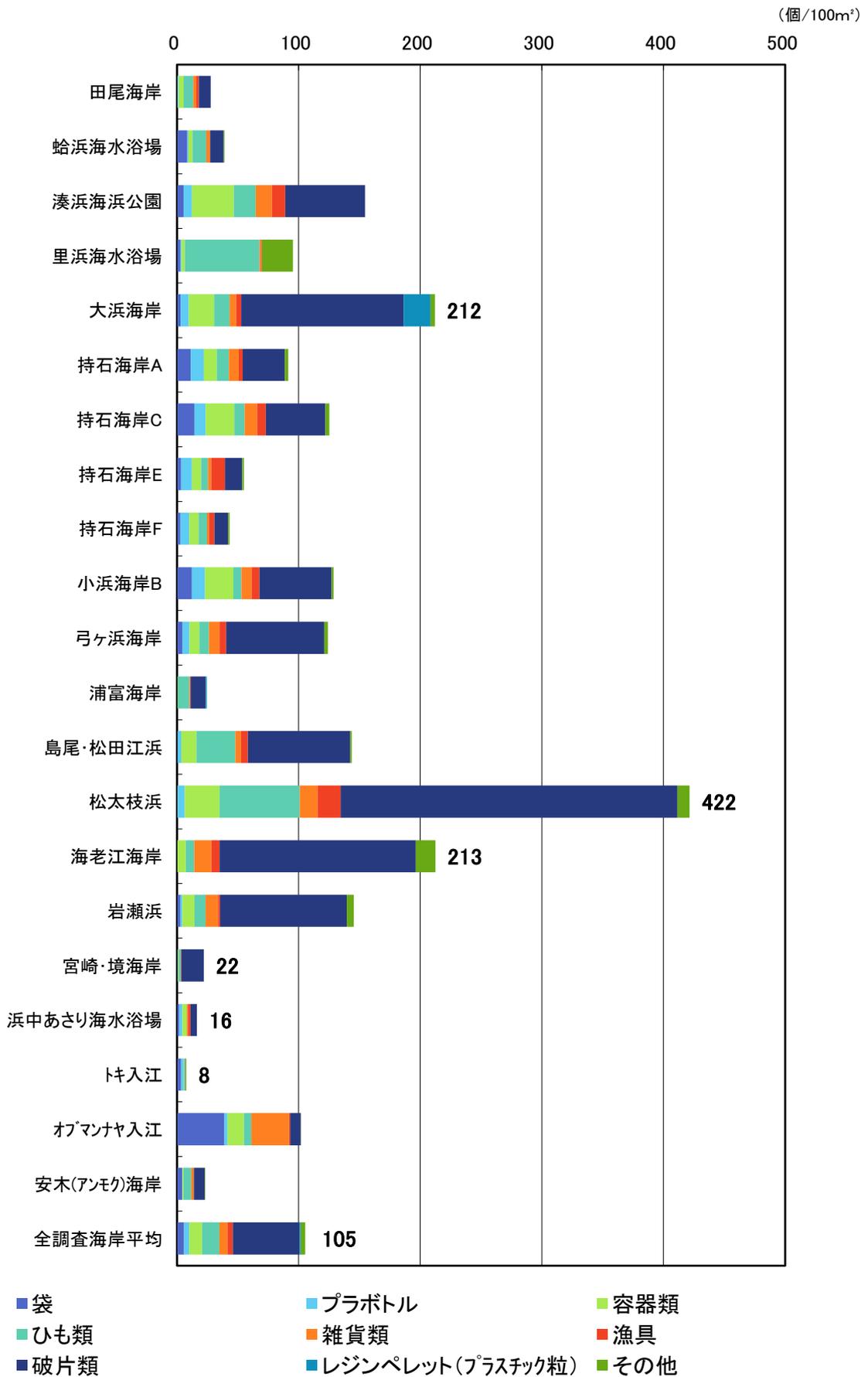


図2. 5-3 プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数(個/100m²)

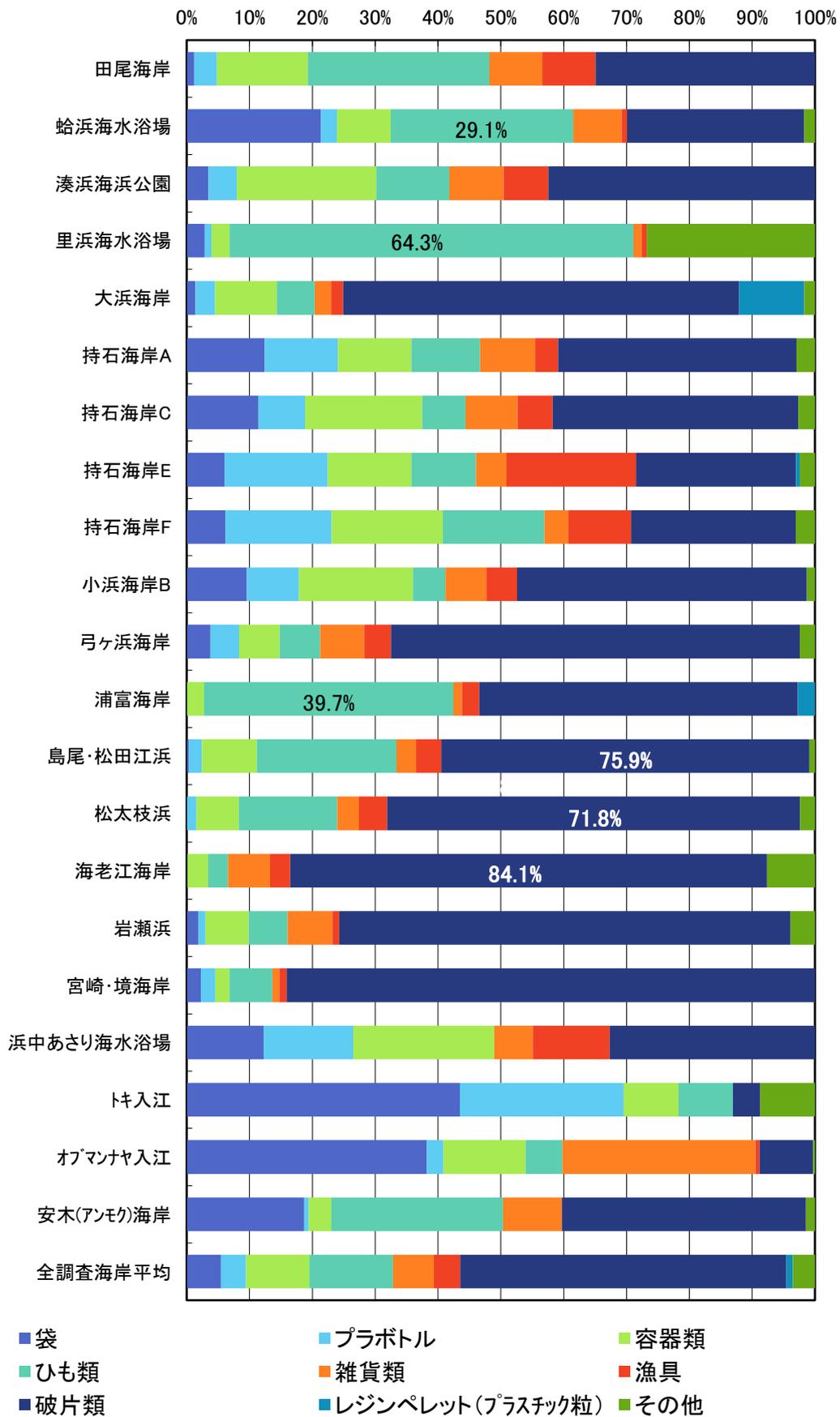


図2. 5-4 プラスチック類の海岸別単位面積あたりの個数の割合(%)

(5) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数

エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数とその割合を図2. 5-5、表2. 5-5に示す。

エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数では、「エリアC(北陸エリア)」が 189 個/100m²と最も多く、次いで「エリアB(中国・近畿エリア)」101 個/100m²の順であった。個数が最も少なかったのは、「エリアD(東北エリア)」の 16 個/100m²であった。

(6) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数の割合

小分類別で個数の多い「破片類」の割合は、「エリアC(北陸エリア)」が 68.3%と最も高く、次いで「エリアB(中国・近畿エリア)」が 49.1%であった。「ひも類」の割合は、「エリアA(九州・沖縄エリア)」が 31.1%と最も高く、次いで、「エリアG(韓国 東海岸エリア)」が 27.3%であった。

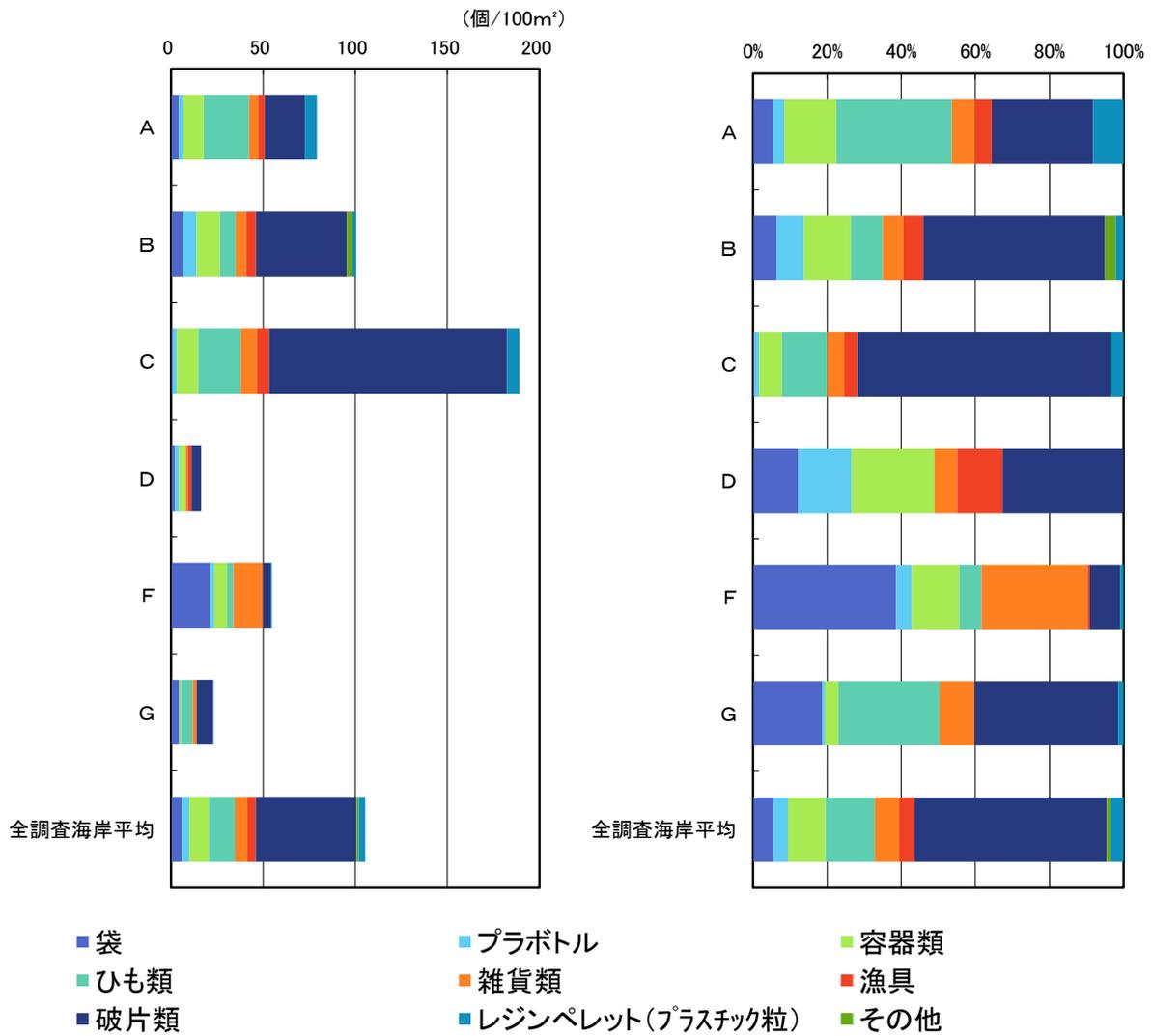


図2. 5-5 エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数と割合(%)

表2. 5-5(1) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数(個/100m²)

エリア	袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンペレット(プラスチック粒)	その他	合計
A (九州・沖縄エリア)	4	3	11	25	5	4	22	0	7	79
B (中国・近畿エリア)	6	7	13	9	6	5	49	3	2	101
C (北陸エリア)	1	2	12	23	9	7	129	0	7	189
D (東北エリア)	2	2	4	0	1	2	5	0	0	16
F (ロシアエリア)	21	2	7	3	16	0	5	0	1	55
G (韓国 東海岸エリア)	4	0	1	6	2	0	9	0	0	23
全調査海岸平均	6	4	11	14	7	4	55	1	4	105

表2. 5-5(2) エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数の割合(%)

エリア	袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンペレット(プラスチック粒)	その他
A (九州・沖縄エリア)	5.3%	3.2%	14.0%	31.1%	6.3%	4.6%	27.3%	0.0%	8.3%
B (中国・近畿エリア)	6.4%	7.4%	12.7%	8.5%	5.7%	5.3%	49.1%	2.9%	2.1%
C (北陸エリア)	0.4%	1.2%	6.2%	12.2%	4.6%	3.5%	68.3%	0.0%	3.5%
D (東北エリア)	12.2%	14.3%	22.4%	0.0%	6.1%	12.2%	32.7%	0.0%	0.0%
F (ロシアエリア)	38.6%	4.3%	12.8%	6.1%	28.6%	0.6%	8.2%	0.0%	0.9%
G (韓国 東海岸エリア)	18.7%	0.7%	3.6%	27.3%	9.4%	0.0%	38.8%	0.0%	1.4%
全調査海岸平均	5.5%	4.0%	10.1%	13.3%	6.5%	4.2%	51.9%	1.0%	3.5%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

3. マイクロプラスチック調査の結果

3. 1 マイクロプラスチック量の結果

マイクロプラスチックの分類別個数については、調査海岸ごとに砂の採取面積や体積が異なるため、単位面積あたりの個数と単位体積あたりの個数を比較した。また、複数地点で調査している場合は、その平均値とした。

2025年度(調査海岸数:17 海岸 43 地点)の調査で採取したマイクロプラスチックの分類別単位面積あたりの個数とその割合を図3. 1-1、表3. 1-1~2、分類別単位体積あたりの個数とその割合を図3. 1-2、表3. 1-3~4に示す。

(1) マイクロプラスチックの分類別単位面積あたりの個数

マイクロプラスチックの分類別単位面積あたりの個数は、1,386 個/m²であり、「肥料コーティングカプセル」が 670 個/m²(マイクロプラスチックの分類別単位面積あたりの個数の 48.3%)と最も多く、次いで「発泡スチロール片」591 個/m²(同 42.7%)の順であり、その他の分類の占める割合は、いずれも5%以下であった。

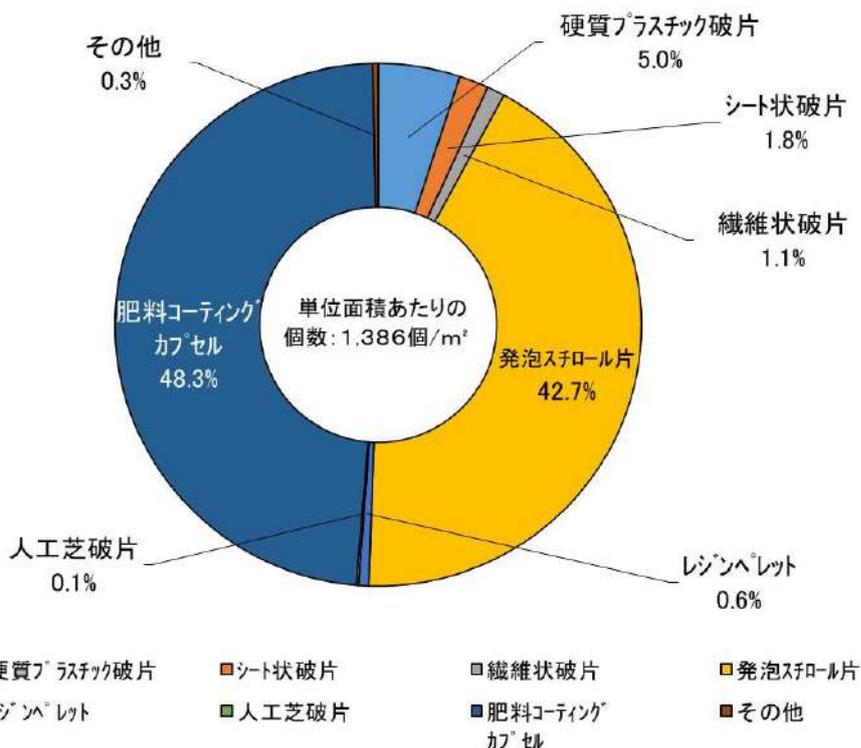


図3. 1-1 マイクロプラスチックの分類別単位面積あたりの個数の割合(%)

表3. 1-1 マイクロプラスチックの分類別の単位面積あたりの個数(個/m²)

	硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンペレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他	合計
単位面積あたりの個数(個/m ²)	70	25	15	591	9	2	670	5	1,386
割合(%)	5.0%	1.8%	1.1%	42.7%	0.6%	0.1%	48.3%	0.3%	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

表3. 1-2 マイクロプラスチック分類別単位面積あたりの個数(個/m²)

単位面積あたりの 個数(個/m ²)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	湊浜海浜公園	里浜海水浴場	西浜海岸	弓ヶ浜海岸	浦富海岸
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-13	J42-12	J32-17	J31-11	J31-02
①硬質プラスチック破片		50	342	0	108	0	0	0
②シート状破片		0	125	0	8	0	0	0
③繊維状破片		25	33	25	0	0	0	0
④発泡スチロール片		0	8	50	0	2,850	0	17
⑤レジンペレット		25	0	25	0	0	0	0
⑥人工芝破片		0	0	0	0	0	0	0
⑦肥料コーティングカプセル		25	17	0	0	275	0	0
⑧その他		0	0	0	0	63	0	0
合計		125	525	100	117	3,188	0	17

単位面積あたりの 個数(個/m ²)	調査海岸	柴垣海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場
	海岸コード	J17-06	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03
①硬質プラスチック破片		50	75	0	75	17	0	167
②シート状破片		17	0	0	8	8	0	75
③繊維状破片		0	8	0	17	0	0	33
④発泡スチロール片		92	5,858	17	608	317	58	0
⑤レジンペレット		0	8	0	33	8	0	8
⑥人工芝破片		0	0	0	8	8	0	0
⑦肥料コーティングカプセル		8	1,017	250	4,417	4,767	533	0
⑧その他		0	0	0	0	0	0	0
合計		167	6,967	267	5,167	5,125	592	283

単位面積あたりの 個数(個/m ²)	調査海岸	トキ入江	オブマンヤ 入江	安木 (アンモク) 海岸	全調査海岸平均	
	海岸コード	R01-02	R01-05	K01-11		
①硬質プラスチック破片		75	0	225	70	5.0%
②シート状破片		0	0	183	25	1.8%
③繊維状破片		25	0	92	15	1.1%
④発泡スチロール片		0	0	175	591	42.7%
⑤レジンペレット		0	0	42	9	0.6%
⑥人工芝破片		0	0	17	2	0.1%
⑦肥料コーティングカプセル		0	0	75	670	48.3%
⑧その他		0	0	17	5	0.3%
合計		100	0	825	1,386	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(2) マイクロプラスチックの分類別単位体積あたりの個数

マイクロプラスチックの分類別単位体積あたりの個数は、55 個/Lであり、「肥料コーティングカプセル」が 27 個 / L(マイクロプラスチックの分類別単位体積あたりの個数の 48.3%)と最も多く、次いで「発泡スチロール片」24 個/L(同 42.7%)の順であり、その他の分類の占める割合は、いずれも5%以下であった。

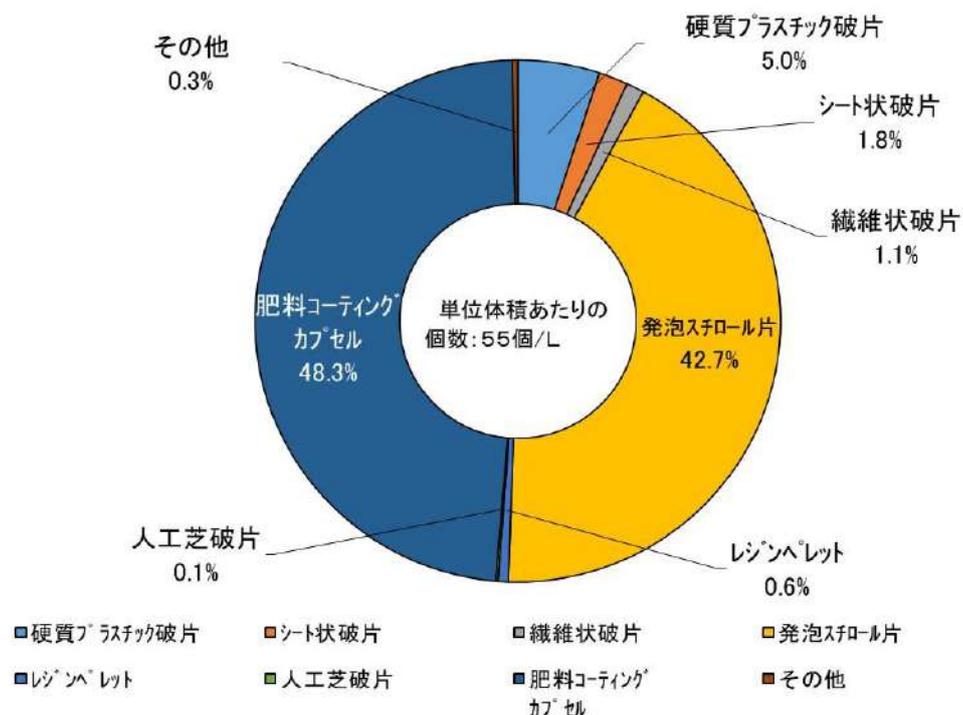


図3. 1-2 マイクロプラスチックの分類別単位面積あたりの個数の割合(%)

表3. 1-3 マイクロプラスチックの分類別の単位体積あたりの個数(個/L)

	硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンペレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他	合計
単位体積あたりの個数(個/L)	3	1	1	24	0	0	27	0	55
割合(%)	5.0%	1.8%	1.1%	42.7%	0.6%	0.1%	48.3%	0.3%	100.0%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

表3. 1-4 マイクロプラスチック分類別単位体積あたりの個数(個/L)

単位体積あたりの 個数(個/L)	調査海岸	田尾海岸	蛤浜海水浴場	湊浜海浜公園	里浜海水浴場	西浜海岸	弓ヶ浜海岸	浦富海岸
	海岸コード	J42-14	J42-11	J42-13	J42-12	J32-17	J31-11	J31-02
①硬質プラスチック破片		2	14	0	4	0	0	0
②シート状破片		0	5	0	0	0	0	0
③繊維状破片		1	1	1	0	0	0	0
④発泡スチロール片		0	0	2	0	114	0	1
⑤レジンペレット		1	0	1	0	0	0	0
⑥人工芝破片		0	0	0	0	0	0	0
⑦肥料コーティングカプセル		1	1	0	0	11	0	0
⑧その他		0	0	0	0	3	0	0
合計		5	21	4	5	128	0	1

単位体積あたりの 個数(個/L)	調査海岸	柴垣海岸	島尾・松田江浜	松太枝浜	海老江海岸	岩瀬浜	宮崎・境海岸	浜中あさり 海水浴場
	海岸コード	J17-06	J16-04	J16-03	J16-05	J16-02	J16-01	J06-03
①硬質プラスチック破片		2	3	0	3	1	0	7
②シート状破片		1	0	0	0	0	0	3
③繊維状破片		0	0	0	1	0	0	1
④発泡スチロール片		4	234	1	24	13	2	0
⑤レジンペレット		0	0	0	1	0	0	0
⑥人工芝破片		0	0	0	0	0	0	0
⑦肥料コーティングカプセル		0	41	10	177	191	21	0
⑧その他		0	0	0	0	0	0	0
合計		7	279	11	207	205	24	11

単位体積あたりの 個数(個/L)	調査海岸	トキ入江	オブマンヤ 入江	安木 (アンモク) 海岸	全調査海岸平均	
	海岸コード	R01-02	R01-05	K01-11		
①硬質プラスチック破片		3	0	9	3	5%
②シート状破片		0	0	7	1	2%
③繊維状破片		1	0	4	1	1%
④発泡スチロール片		0	0	7	24	43%
⑤レジンペレット		0	0	2	0	1%
⑥人工芝破片		0	0	1	0	0%
⑦肥料コーティングカプセル		0	0	3	27	48%
⑧その他		0	0	1	0	0%
合計		4	0	33	55	100%

注)表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

(3) マイクロプラスチックの海岸別単位面積あたりの個数

海岸別単位面積あたりの個数を図3. 1-3に示す。

海岸別単位面積あたりの個数は、「島尾・松田江浜(富山県)」の6,967個/m²(全調査海岸平均1,386個/m²の5.0倍)が最も多く、次いで「海老江海岸(富山県)」の5,167個/m²(同3.7倍)、「岩瀬浜(富山県)」の5,125個/m²(同3.7倍)の順であり、単位面積あたりの個数が少なかったのは、「弓ヶ浜海岸(鳥取県)」、「オブマンナヤ入江(ロシア ハバロフスク地方)」の0個/m²、「浦富海岸(鳥取県)」が17個/m²であった。

(4) マイクロプラスチックの海岸別単位面積あたりの個数の割合

海岸別単位面積あたりの個数の割合を図3. 1-4に示す。

分類別で個数の割合が最も高いのは、「肥料コーティングカプセル」であり、海岸別では「松太枝浜(富山県)」が93.8%と最も高く、次いで「岩瀬浜(富山県)」が93.0%、「宮崎・境海岸(富山県)」が90.1%の順であった。次いで割合が高かったのは、「発泡スチロール片」で、海岸別では「浦富海岸(鳥取県)」の100.0%、「西浜海岸(島根県)」の89.4%、「島尾・松田江浜(富山県)」の84.1%の順であった。

(5) マイクロプラスチックの海岸別単位体積あたりの個数

海岸別単位体積あたりの個数を図3. 1-5に示す。

海岸別単位体積あたりの個数は、「島尾・松田江浜(富山県)」の279個/L(全調査海岸平均55個/Lの5.0倍)が最も多く、次いで「海老江海岸(富山県)」の207個/L(同3.7倍)、「岩瀬浜(富山県)」の205個/L(同3.7倍)の順であり、単位体積あたりの個数が少なかったのは、「弓ヶ浜海岸(鳥取県)」、「オブマンナヤ入江(ロシア ハバロフスク地方)」の0個/m²、「浦富海岸(鳥取県)」が1個/m²であった。

(6) マイクロプラスチックの海岸別単位体積あたりの個数の割合

海岸別単位体積あたりの個数の割合を図3. 1-6に示す。

分類別で個数の割合が最も高いのは、「肥料コーティングカプセル」であり、海岸別では「松太枝浜(富山県)」が93.8%と最も高く、次いで「岩瀬浜(富山県)」が93.0%、「宮崎・境海岸(富山県)」が90.1%の順であった。次いで割合が高かったのは、「発泡スチロール片」で、海岸別では「浦富海岸(鳥取県)」の100.0%、「西浜海岸(島根県)」の89.4%、「島尾・松田江浜(富山県)」の84.1%の順であった。

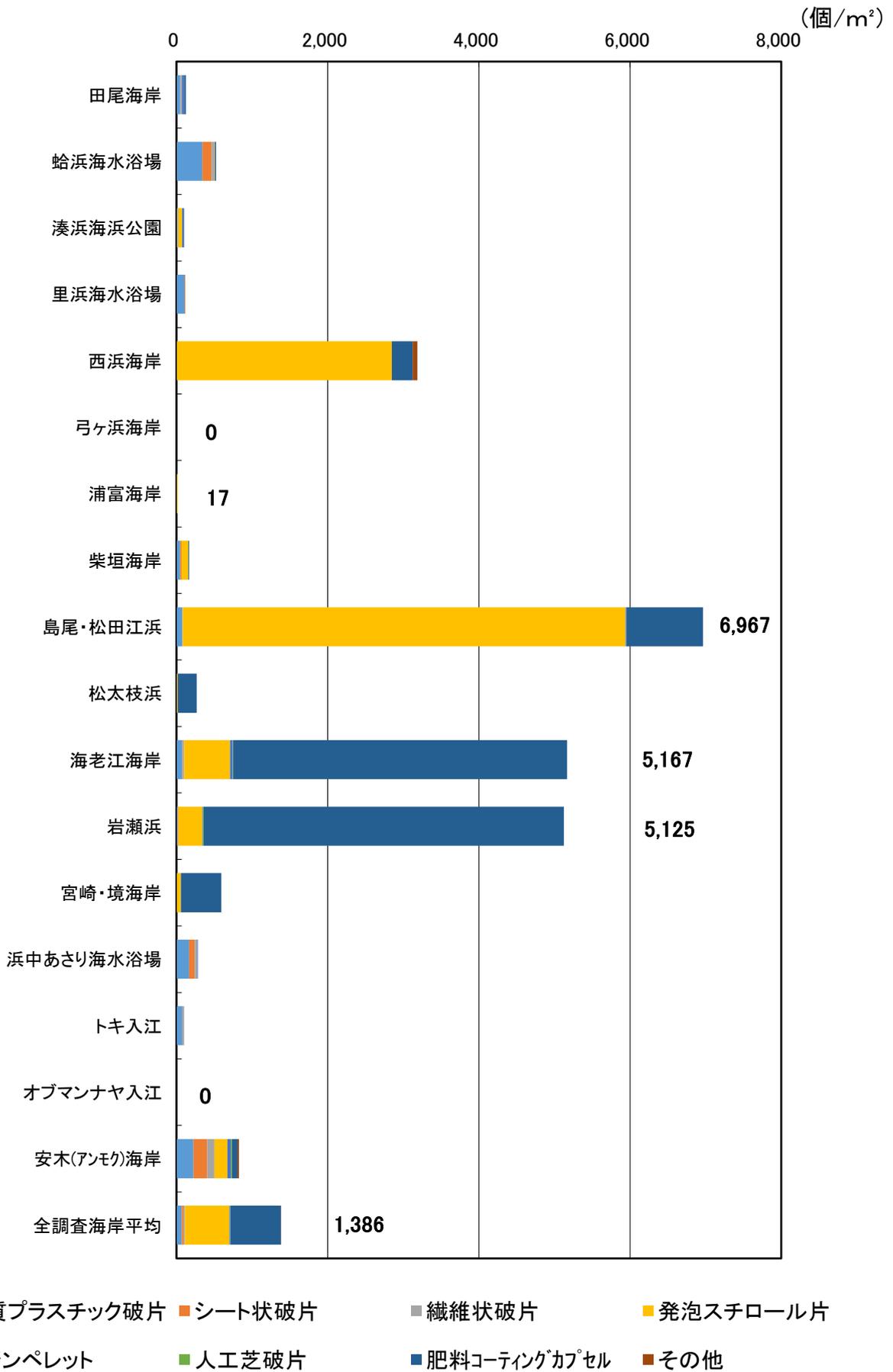


図3. 1-3 マイクロプラスチックの海岸別単位面積あたりの個数(個/m²)

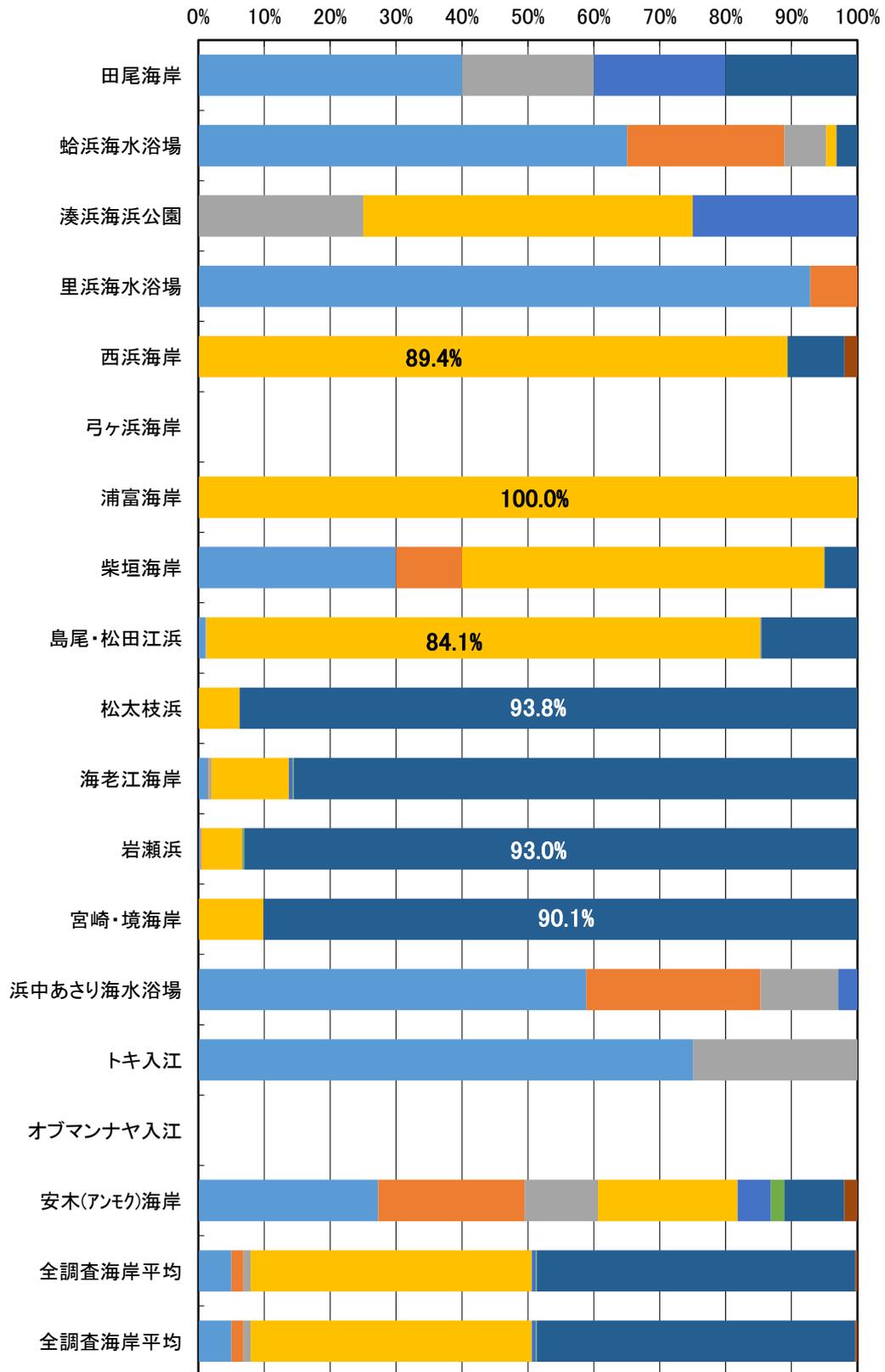
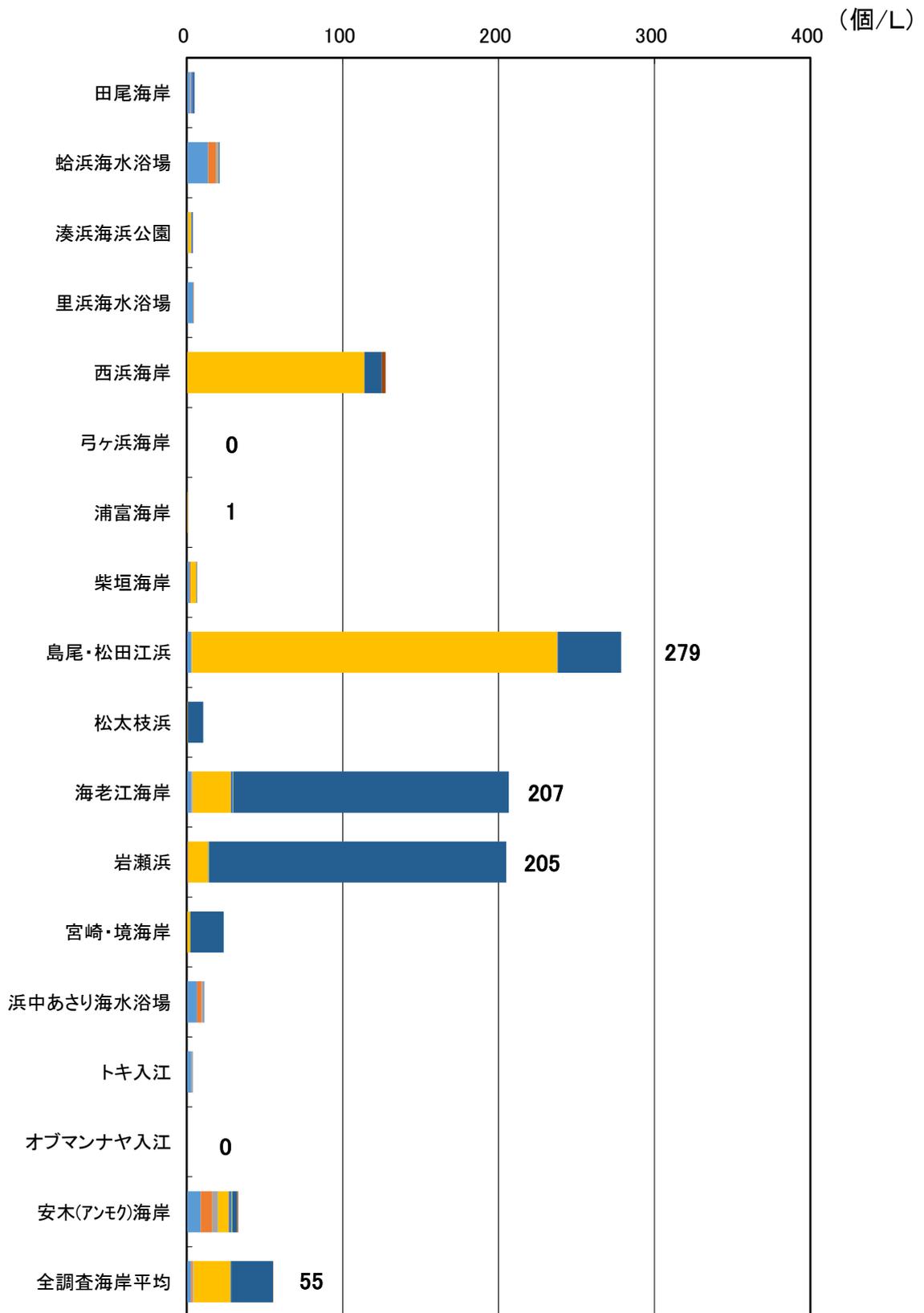
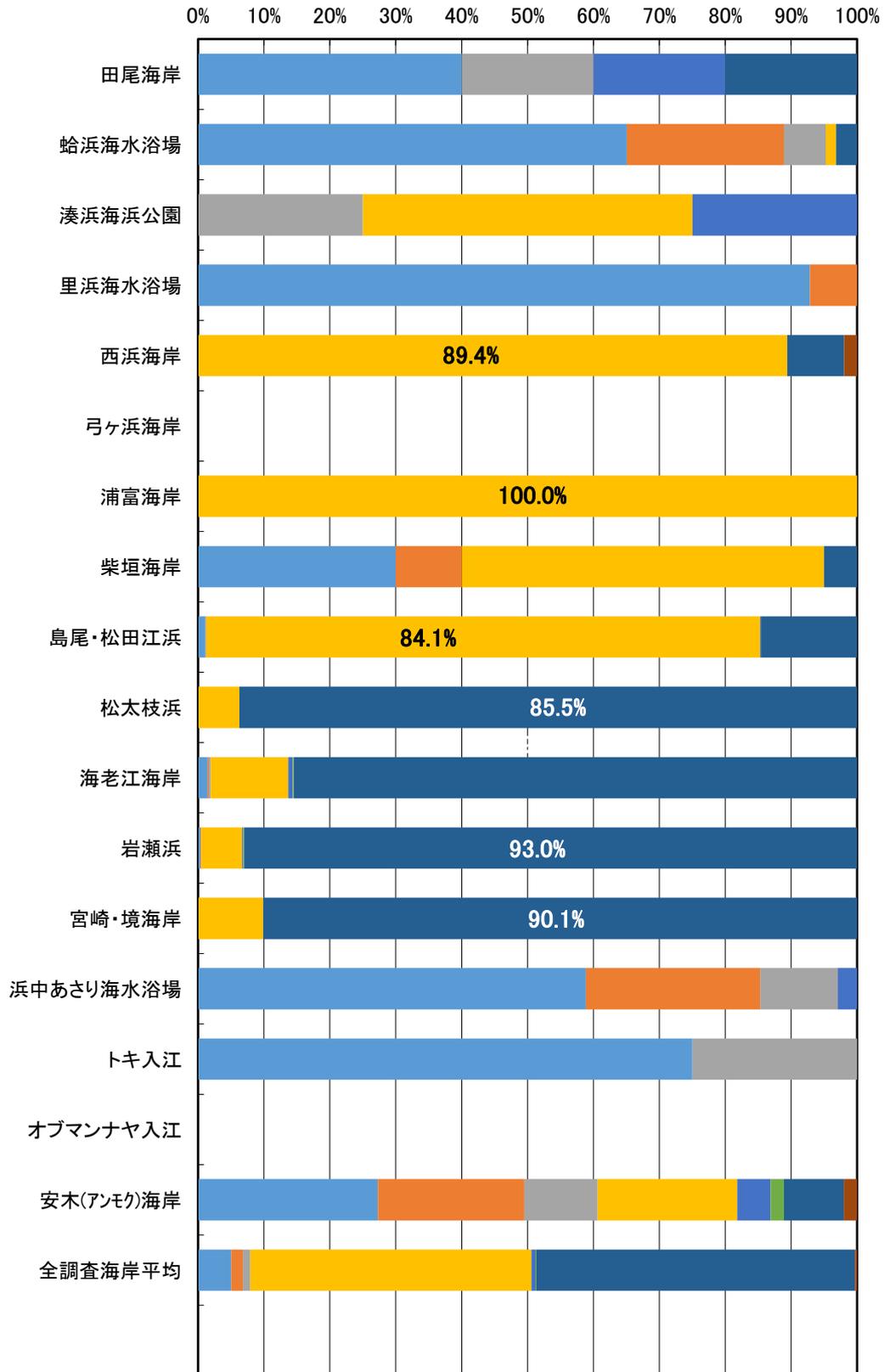


図3. 1-4 マイクロプラスチックの海岸別単位面積あたりの個数の割合(%)



- 硬質プラスチック破片 ■ シート状破片 ■ 繊維状破片 ■ 発泡スチロール片
- レジンペレット ■ 人工芝破片 ■ 肥料コーティングカプセル ■ その他

図3. 1-5 マイクロプラスチックの海岸別単位体積あたりの個数(個/L)



- 硬質プラスチック破片
- シート状破片
- 繊維状破片
- 発泡スチロール片
- レジンペレット
- 人工芝破片
- 肥料コーティングカプセル
- その他

図3. 1-6 マイクロプラスチックの海岸別単位体積あたりの個数の割合(%)

(7) エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位面積あたりの個数

エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位面積あたりの個数とその割合を図3. 1-7、表3. 1-5に示す。

エリア別分類別の単位面積あたりの個数では、「エリアC(北陸エリア)」が 3,047 個/m²と最も多く、次いで「エリアB(中国・近畿エリア)」1,068 個/m²の順であった。最も個数が少なかったのは、「エリアF(ロシアエリア)」の 50 個/m²であった。

(8) エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位面積あたりの個数の割合

「エリアA(九州・沖縄エリア)」、「エリアD(東北エリア)」、「エリアF(ロシアエリア)」、「エリアG(韓国 東海岸エリア)」は「硬質プラスチック破片」の割合が高く、「エリアB(中国・近畿エリア)」は「発泡スチロール片」、「エリアC(北陸エリア)」は「肥料コーティングカプセル」と、各エリアで割合の高い分類が異なった。

(9) エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位体積あたりの個数

エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位体積あたりの個数とその割合を図3. 1-8、表3. 1-6に示す。

エリア別分類別の単位体積あたりの個数では、「エリアC(北陸エリア)」が 122 個/Lと最も多く、次いで「エリアB(中国・近畿エリア)」43 個/Lの順であった。個数が少なかったのは、「エリアF(ロシアエリア)」の 2 個/Lであった。

(10) エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位体積あたりの個数の割合

エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位体積あたりの個数の割合は、単位面積あたりの個数の割合と同様で、各エリアで割合の高い分類が異なった。

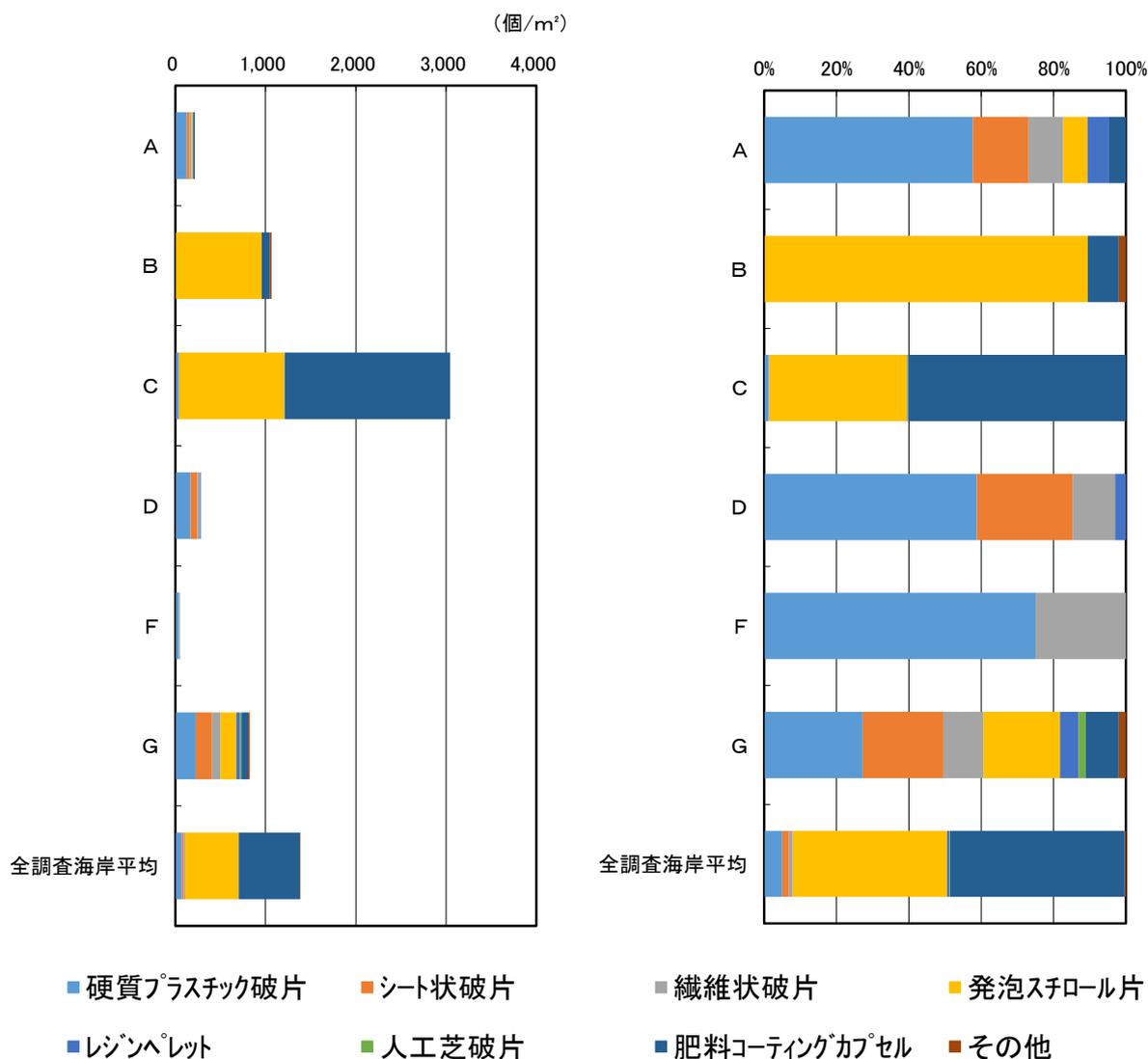


図3. 1-7 エリア別単位面積あたりのマイクロプラスチックの分類別個数と割合(%)

表3. 1-5(1) エリア別単位面積あたりのマイクロプラスチックの分類別個数(個/m²)

エリア	硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンペレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他	合計
A (九州・沖縄エリア)	125	33	21	15	13	0	10	0	217
B (中国・近畿エリア)	0	0	0	956	0	0	92	21	1,068
C (北陸エリア)	36	6	4	1,158	8	3	1,832	0	3,047
D (東北エリア)	167	75	33	0	8	0	0	0	283
F (ロシアエリア)	38	0	13	0	0	0	0	0	50
G (韓国 東海岸エリア)	225	183	92	175	42	17	75	17	825
全調査海岸平均	70	25	15	591	9	2	670	5	1,386

表3. 1-5(2) エリア別単位面積あたりのマイクロプラスチックの分類別個数の割合(%)

エリア	硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンペレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他
A (九州・沖縄エリア)	57.7%	15.4%	9.6%	6.7%	5.8%	0.0%	4.8%	0.0%
B (中国・近畿エリア)	0.0%	0.0%	0.0%	89.5%	0.0%	0.0%	8.6%	2.0%
C (北陸エリア)	1.2%	0.2%	0.1%	38.0%	0.3%	0.1%	60.1%	0.0%
D (東北エリア)	58.8%	26.5%	11.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
F (ロシアエリア)	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
G (韓国 東海岸エリア)	27.3%	22.2%	11.1%	21.2%	5.1%	2.0%	9.1%	2.0%
全調査海岸平均	5.0%	1.8%	1.1%	42.7%	0.6%	0.1%	48.3%	0.3%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

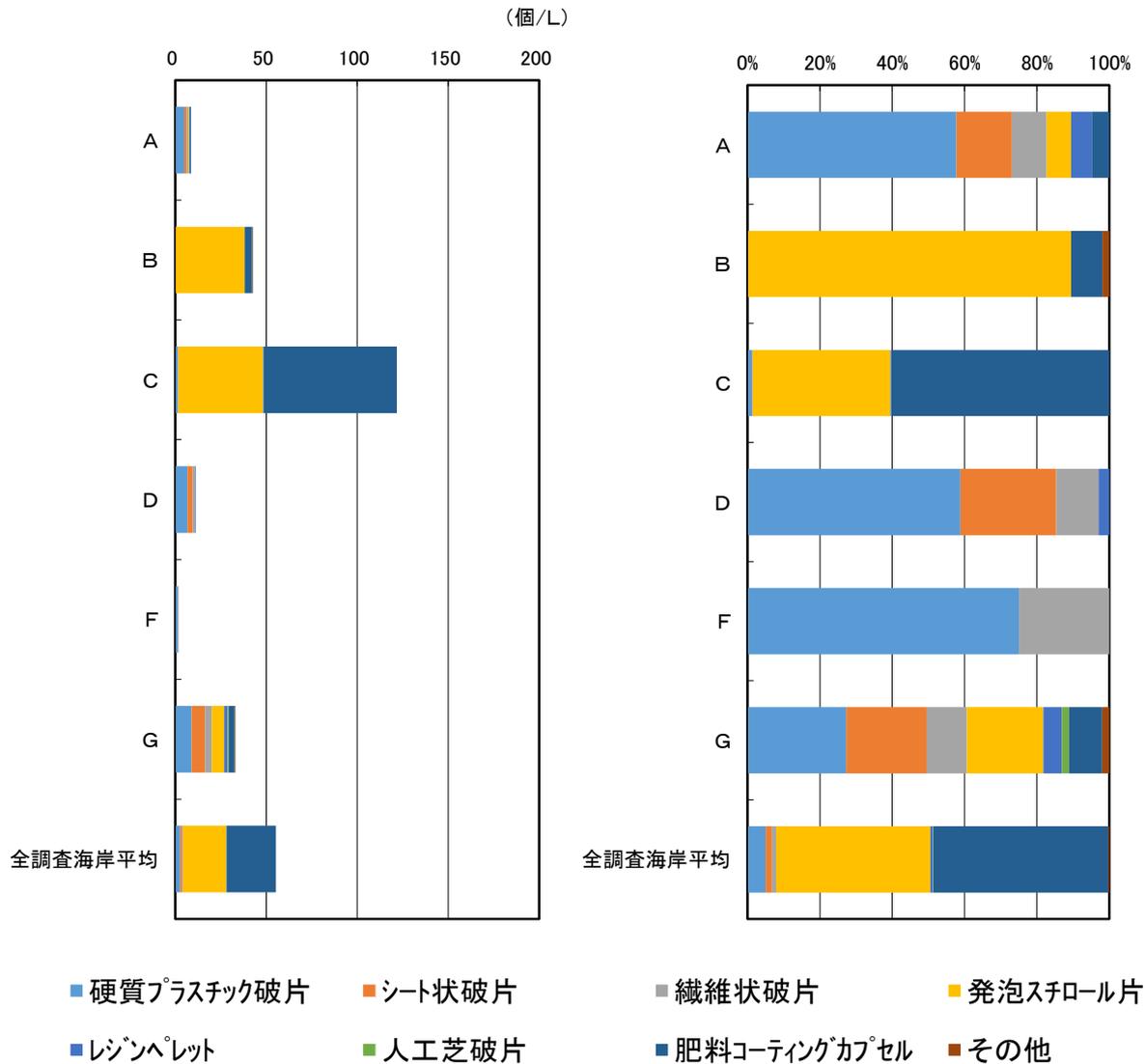


図3. 1-8 エリア別単位体積あたりのマイクロプラスチックの分類別個数と割合(%)

表3. 1-6(1) エリア別単位体積あたりのマイクロプラスチックの分類別個数(個/L)

エリア	硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンペレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他	合計
A (九州・沖縄エリア)	5	1	1	1	1	0	0	0	9
B (中国・近畿エリア)	0	0	0	38	0	0	4	1	43
C (北陸エリア)	1	0	0	46	0	0	73	0	122
D (東北エリア)	7	3	1	0	0	0	0	0	11
F (ロシアエリア)	2	0	1	0	0	0	0	0	2
G (韓国 東海岸エリア)	9	7	4	7	2	1	3	1	33
全調査海岸平均	3	1	1	24	0	0	27	0	55

表3. 1-6(2) エリア別単位体積あたりのマイクロプラスチックの分類別個数の割合(%)

エリア	硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンペレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他
A (九州・沖縄エリア)	57.7%	15.4%	9.6%	6.7%	5.8%	0.0%	4.8%	0.0%
B (中国・近畿エリア)	0.0%	0.0%	0.0%	89.5%	0.0%	0.0%	8.6%	2.0%
C (北陸エリア)	1.2%	0.2%	0.1%	38.0%	0.3%	0.1%	60.1%	0.0%
D (東北エリア)	58.8%	26.5%	11.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
F (ロシアエリア)	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
G (韓国 東海岸エリア)	27.3%	22.2%	11.1%	21.2%	5.1%	2.0%	9.1%	2.0%
全調査海岸平均	5.0%	1.8%	1.1%	42.7%	0.6%	0.1%	48.3%	0.3%

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

4. 漂着物とマイクロプラスチックの相関について

4. 1 漂着物のプラスチック類等とマイクロプラスチックの相関

漂着物の「プラスチック類」及び「発泡スチロール類」(以下「プラスチック類等」とする。)と、海岸の砂から採取されたマイクロプラスチックについて、両方の調査を実施した海岸の単位面積あたり個数の相関を確認した。相関係数は、2021～2025 年度のデータから算出した。漂着物のプラスチック類等とマイクロプラスチックの相関は、図4. 1-1及び表4. 1-1のとおり、相関係数は $r=0.294$ となり相関はみられなかった。

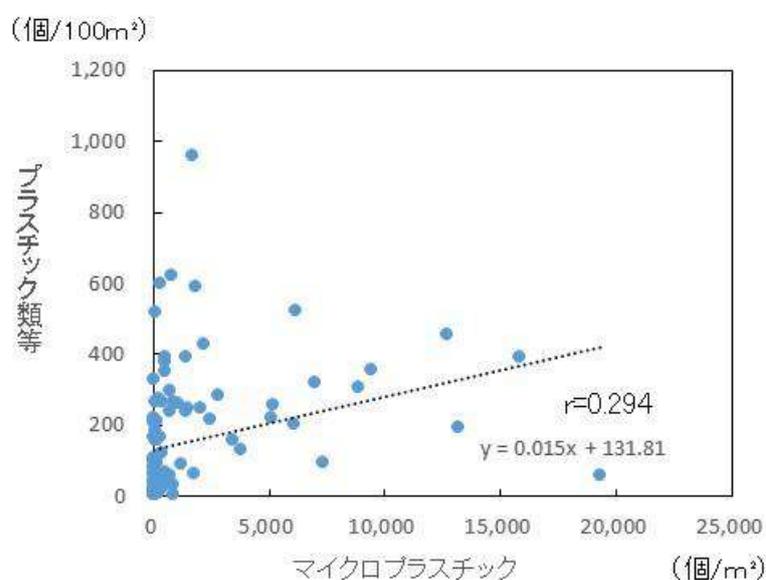


図4. 1-1 漂着物のプラスチック類等とマイクロプラスチックの相関

表4. 1-1 漂着物のプラスチック類等とマイクロプラスチックの相関

調査海岸	x軸 マイクロプラスチック (個/m ²)	y軸 プラスチック類等(個/100m ²)			
		プラスチック類		合計	
		プラスチック類	発泡スチロール類		
2021年度	田尾海岸	100	15	0	15
	鯉浜海水浴場	113	206	7	219
	里浜海水浴場	92	104	0	194
	白浜海岸	825	223	41	265
	三国サンセットビーチ	7,300	90	6	96
	鳥尾・松田江浜	6,117	252	274	525
	松太枝浜	9,490	95	262	357
	海老江海岸	6,092	203	3	206
	岩瀬浜	1,083	157	104	261
	宮崎・境海岸	58	0	9	10
	浜中あさり海水浴場	363	267	1	267
	トキ入江	0	8	1	9
	アンドレイ入江	0	4	1	5
	オブマンヤ入江	0	63	1	64
	間宮海峡ベズイマンヤ入江	25	11	3	14
	プロズラチヤ入江	0	41	1	42
	鏡浦(キョンポ)海水浴場	1,225	82	8	90
	波清里(ハリ)海水浴場	2,425	78	138	215
	千里浦(チョンリポ)海水浴場	250	19	0	19
	亡日峰(マンイルボン)海岸	50	18	3	21
竹林湾(チュンリムマン)海岸	25	4	0	4	
道南(トナム)海水浴場	50	19	3	22	
トンナム干潟海辺	75	21	11	32	
古農里(コヒョンリ)海岸	133	15	7	22	
2022年度	田尾海岸	700	59	0	60
	鯉浜海水浴場	525	294	85	379
	湊浜海浜公園	675	244	56	300
	里浜海水浴場	358	125	0	125
	弓ヶ浜海岸	12,700	407	49	455
	浦富海岸	42	292	225	517
	浦富海岸	0	297	34	331
	琴引浜海岸	58	114	44	158
	三国サンセットビーチ	3,400	149	9	158
	鳥尾・松田江浜	8,842	105	202	308
	松太枝浜	2,200	318	111	429
	海老江海岸	1,442	244	6	250
	岩瀬浜	517	64	4	68
	宮崎・境海岸	817	6	2	8
	浜中あさり海水浴場	175	149	12	161
	トキ入江	0	14	2	16
	アンドレイ入江	0	4	2	6
	オブマンヤ入江	0	46	0	46
	スレードニヤ入江	363	21	2	23
	プロズラチヤ入江	0	99	0	99
ピャティオホトニコフ入江	50	265	1	266	
波清里(ハリ)海水浴場	1,738	21	45	66	
万里浦(マンリポ)海水浴場	1,675	32	927	959	
亡日峰(マンイルボン)海岸	50	19	6	25	
道南(トナム)海水浴場	75	61	7	69	
トンナム干潟海辺	50	2	1	4	
古農里(コヒョンリ)海岸	55	16	1	17	
2023年度	田尾海岸	50	28	6	35
	鯉浜海水浴場	508	333	20	353
	湊浜海浜公園	25	106	5	111
	里浜海水浴場	50	102	0	102
	弓ヶ浜海岸	200	186	86	274
	浦富海岸	525	280	112	392
	三国サンセットビーチ	19,300	51	6	59
	鳥尾・松田江浜	15,808	204	189	393
	松太枝浜	750	432	189	621
	海老江海岸	3,783	127	4	131
	岩瀬浜	1,425	186	55	240
	宮崎・境海岸	242	3	9	12
	浜中あさり海水浴場	300	166	0	166
	トキ入江	38	7	0	7
	オブマンヤ入江	38	66	1	67
	鏡浦(キョンポ)海水浴場	200	35	1	35
	亡日峰(マンイルボン)海岸	50	17	3	20
	竹林湾(チュンリムマン)海岸	25	15	5	20
	道南(トナム)海水浴場	100	39	14	54
	トンナム干潟海辺	25	20	4	25
古農里(コヒョンリ)海岸	35	4	0	4	
2024年度	田尾海岸	75	28	1	29
	鯉浜海水浴場	2,792	167	117	284
	湊浜海浜公園	675	236	4	240
	里浜海水浴場	75	64	0	64
	弓ヶ浜海岸	25	125	96	221
	浦富海岸	0	165	3	168
	鳥尾・松田江浜	1,375	195	199	393
	松太枝浜	1,825	208	383	591
	海老江海岸	13,183	160	34	194
	岩瀬浜	2,058	158	89	247
	宮崎・境海岸	350	21	6	27
	浜中あさり海水浴場	100	65	13	78
	トキ入江	0	10	11	21
	オブマンヤ入江	0	79	4	83
	鏡浦(キョンポ)海水浴場	75	22	0	22
	亡日峰(マンイルボン)海岸	75	18	7	26
	竹林湾(チュンリムマン)海岸	50	20	12	31
	道南(トナム)海水浴場	25	57	24	80
	トンナム干潟海辺	50	25	10	35
	2025年度	田尾海岸	125	28	1
鯉浜海水浴場		525	39	0	39
湊浜海浜公園		100	155	32	187
里浜海水浴場		117	95	0	95
弓ヶ浜海岸		0	124	84	208
浦富海岸		17	24	13	37
鳥尾・松田江浜		6,967	144	177	321
松太枝浜		267	422	178	599
海老江海岸		5,167	213	46	259
岩瀬浜		5,125	145	76	221
宮崎・境海岸		592	22	35	57
浜中あさり海水浴場		283	16	3	19
トキ入江		100	8	1	9
オブマンヤ入江	0	102	4	106	
安木(アンモク)海岸	825	23	11	35	

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

4. 2 漂着物のプラスチック破片類等とマイクロプラスチックの相関

漂着物のプラスチック小分類の「破片類(シートや袋の破片、プラスチックの破片)」及び「発泡スチロール類」(以下「破片類等」とする。)と、海岸の砂から採取されたマイクロプラスチックについて、両方の調査を実施した海岸(日本の調査海岸、2021年度の11海岸、2022年度15海岸、2023年度13海岸、2024年度12海岸、2025年度12海岸)の単位面積あたり個数の相関を確認した。「プラスチック破片」は漂着物の「プラスチックの破片」とマイクロプラスチックの「硬質プラスチック破片」、「シート状破片」は漂着物の「シートや袋の破片」とマイクロプラスチックの「シート状破片」、「発泡スチロール片」は漂着物の「発泡スチロール類」とマイクロプラスチックの「発泡スチロール片」とし、3分類別に相関係数を算出した。また、「発泡スチロール片」においては、特異値を除き、相関係数を算出した。漂着物のプラスチック破片類等とマイクロプラスチックの相関は、図4. 2-1、表4. 2-1に示す。「プラスチック破片」は、相関係数 $r=0.061$ 、「シート状破片」は、相関係数 $r=0.019$ となり相関がみられず、「発泡スチロール片」は、相関係数 $r=0.490$ と弱い正の相関がみられた。

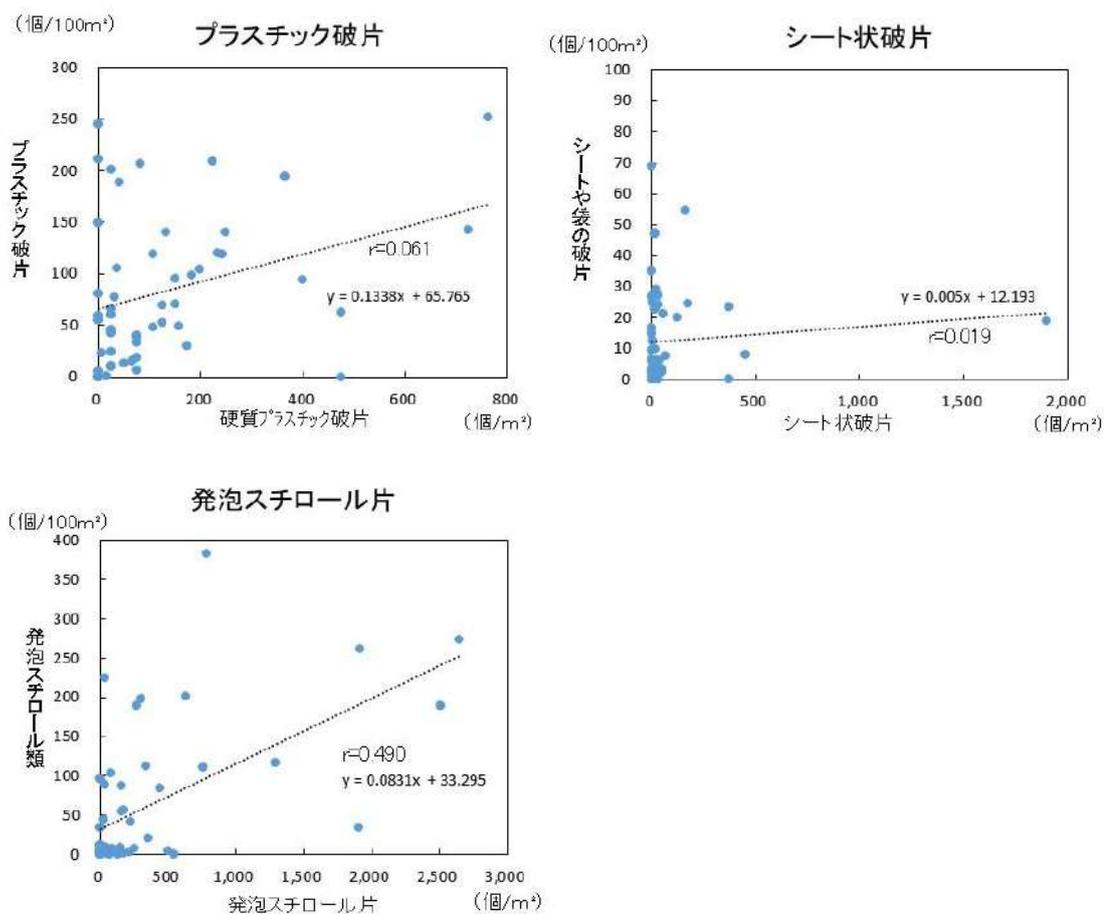


図4. 2-1 漂着物のプラスチック破片類等とマイクロプラスチックの相関

表4. 2-1 漂着物のプラスチック破片類等とマイクロプラスチックの相関

調査海岸	プラスチック破片		シート状破片		発泡スチロール片		
	x軸	y軸	x軸	y軸	x軸	y軸	
	硬質プラスチック破片(個/m ²)	プラスチック破片(個/100m ²)	シート状破片(個/m ²)	シートや袋の破片(個/100m ²)	発泡スチロール片(個/m ²)	発泡スチロール類(個/100m ²)	
2021年度	田尾海岸	75	6	0	2	0	0
	蛤浜海水浴場	0	59	0	35	88	7
	里浜海水浴場	0	54	17	1	75	0
	白浜海岸	75	19	450	8	225	41
	三国サンセットビーチ	25	46	1,900	19	0	6
	島尾・松田江浜	108	120	17	47	2,650	274
	松太枝浜	75	40	42	6	1,917	262
	海老江海岸	725	143	125	20	217	3
	岩瀬浜	125	70	33	27	83	104
	宮崎・境海岸	0	0	0	0	50	9
浜中あさり海水浴場	225	210	25	4	0	1	
2022年度	田尾海岸	25	42	0	4	550	0
	蛤浜海水浴場	42	189	8	13	442	85
	湊浜海浜公園	125	53	375	23	175	56
	里浜海水浴場	158	49	0	0	133	0
	二位の浜	763	252	13	3	*11,775	*48
	弓ヶ浜海岸	0	212	0	27	42	225
	浦富海岸	0	245	0	0	0	34
	琴引浜海岸	0	81	33	0	25	44
	三国サンセットビーチ	400	94	0	15	150	9
	島尾・松田江浜	175	30	17	23	633	202
	松太枝浜	367	195	8	25	758	111
	海老江海岸	83	207	50	2	50	6
	岩瀬浜	67	16	175	25	42	4
宮崎・境海岸	0	1	0	3	175	2	
浜中あさり海水浴場	150	96	0	3	0	12	
2023年度	田尾海岸	25	11	25	0	0	6
	蛤浜海水浴場	133	140	8	1	358	20
	湊浜海浜公園	25	24	0	15	0	5
	里浜海水浴場	50	14	0	7	0	0
	弓ヶ浜海岸	38	105	0	6	163	88
	浦富海岸	25	201	0	0	338	112
	三国サンセットビーチ	75	33	0	0	250	8
	島尾・松田江浜	150	70	58	21	2,508	189
	松太枝浜	200	105	167	55	267	189
	海老江海岸	183	99	67	8	500	4
	岩瀬浜	233	121	17	10	158	55
	宮崎・境海岸	17	1	0	1	42	9
浜中あさり海水浴場	250	140	50	3	0	0	
2024年度	田尾海岸	25	9	25	6	25	1
	蛤浜海水浴場	475	0	375	0	1,300	117
	湊浜海浜公園	475	63	0	69	0	4
	里浜海水浴場	8	23	0	0	67	0
	弓ヶ浜海岸	25	66	0	10	0	96
	浦富海岸	0	149	0	0	0	3
	島尾・松田江浜	108	48	33	24	308	199
	松太枝浜	25	61	25	29	783	383
	海老江海岸	242	119	0	17	1,908	34
	岩瀬浜	33	77	58	21	42	89
	宮崎・境海岸	0	6	0	3	83	6
浜中あさり海水浴場	75	39	25	3	0	13	
2025年度	田尾海岸	50	28	0	1	0	1
	蛤浜海水浴場	342	0	125	33	8	0
	湊浜海浜公園	0	172	0	25	50	32
	里浜海水浴場	108	0	8	0	0	0
	弓ヶ浜海岸	0	236	0	6	0	84
	浦富海岸	0	28	0	9	17	13
	島尾・松田江浜	75	221	0	116	5,858	177
	松太枝浜	0	485	0	69	17	178
	海老江海岸	75	610	8	35	608	46
	岩瀬浜	17	272	8	41	317	76
宮崎・境海岸	0	48	0	26	58	35	
浜中あさり海水浴場	167	15	75	1	0	3	
相関係数	r=0.061		r=0.019		r=0.490		

注) 1. 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。
 2. 表中の*は特異値を示し、相関関係はその値を除外して算出した。

また、シート状破片については、漂着物のプラスチック小分類の「袋」との単位面積あたり個数の相関関係も確認した。漂着物のプラスチック袋とマイクロプラスチックの相関は図4. 2-2及び表4. 2-2のとおり、相関係数 $r=0.126$ となり相関がみられなかった。今後も相関関係を明らかにするためには、データの蓄積や漂着特性など知見の収集が必要である。

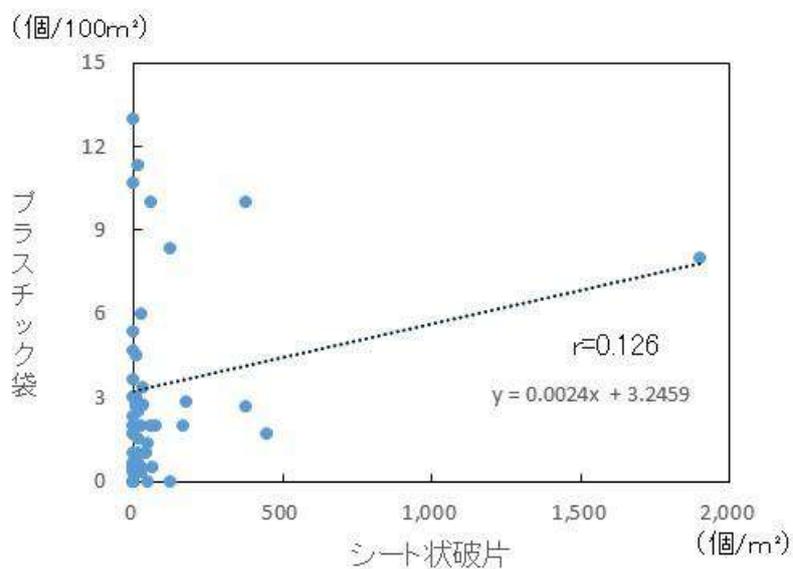


図4. 2-2 漂着物のプラスチック袋とマイクロプラスチックの相関

表4. 2-2 漂着物のプラスチック袋とマイクロプラスチックの相関

調査海岸	x軸	y軸	
	シート状破片 (個/m ²)	プラスチック袋 (個/100m ²)	
2021年度	田尾海岸	0	0
	蛤浜海水浴場	0	11
	里浜海水浴場	17	1
	白浜海岸	450	2
	三国サンセットビーチ	1,900	8
	島尾・松田江浜	17	3
	松太枝浜	42	1
	海老江海岸	125	0
	岩瀬浜	33	3
	宮崎・境海岸	0	0
	浜中あさり海水浴場	25	1
2022年度	田尾海岸	0	1
	蛤浜海水浴場	8	3
	湊浜海浜公園	375	10
	里浜海水浴場	0	3
	二位の浜	13	11
	弓ヶ浜海岸	0	2
	浦富海岸	0	2
	琴引浜海岸	33	3
	三国サンセットビーチ	0	2
	島尾・松田江浜	17	1
	松太枝浜	8	5
	海老江海岸	50	0
	岩瀬浜	175	3
	宮崎・境海岸	0	0
浜中あさり海水浴場	0	1	
2023年度	田尾海岸	25	2
	蛤浜海水浴場	8	23
	湊浜海浜公園	0	0
	里浜海水浴場	0	19
	弓ヶ浜海岸	0	17
	浦富海岸	0	2
	三国サンセットビーチ	0	3
	島尾・松田江浜	58	2
	松太枝浜	167	2
	海老江海岸	67	1
	岩瀬浜	17	2
	宮崎・境海岸	0	0
浜中あさり海水浴場	50	1	
2024年度	田尾海岸	25	0
	蛤浜海水浴場	375	3
	湊浜海浜公園	0	13
	里浜海水浴場	0	2
	弓ヶ浜海岸	0	4
	浦富海岸	0	0
	島尾・松田江浜	33	3
	松太枝浜	25	1
	海老江海岸	0	0
	岩瀬浜	58	10
	宮崎・境海岸	0	0
	浜中あさり海水浴場	25	6
2025年度	田尾海岸	0	0
	蛤浜海水浴場	125	8
	湊浜海浜公園	0	5
	里浜海水浴場	8	3
	弓ヶ浜海岸	0	5
	浦富海岸	0	0
	島尾・松田江浜	0	1
	松太枝浜	0	0
	海老江海岸	8	0
	岩瀬浜	8	3
	宮崎・境海岸	0	1
	浜中あさり海水浴場	75	2
相関係数	r=0.126		

注) 表中の数値は、四捨五入の関係で、合計値が一致しない場合がある。

5. 調査結果のまとめ

2025年度の漂着物調査においては、「プラスチック類」が全海岸の総重量の59.5%、総個数65.1%を占め、他の7種類の分類項目に比べて高い割合であった。また、「発泡スチロール類」が全海岸の総個数の22.9%を占めた。単位面積あたりの重量及び個数においては、「プラスチック類」が全海岸の単位面積あたりの重量の58.8%、全海岸の単位面積あたりの個数の65.0%を占め、他の7種類項目に比べて高い割合であった。同様の傾向は、過去の調査結果においてもみられるとともに、「プラスチック類」が高い傾向は日本・韓国・ロシアの多くの海岸でも同様の傾向であった。また、「プラスチック類」をさらに9種類に分類したところ、「破片類」が全海岸の総個数(プラスチック類)の51.9%、単位面積あたり個数(プラスチック類)の51.9%を占め、他の8種類の分類項目に比べ最も高い割合であった。「プラスチック類」や「発泡スチロール類」の軽くて破片化しやすいようなプラスチック素材が多い結果となった。さらに、エリア別で最も単位面積あたりの個数が多かった「エリアC(北陸エリア)」においても、その大半は「プラスチック類」と「発泡スチロール類」であった。

マイクロプラスチック調査においては、調査海岸17海岸、43地点で採取され、全調査海岸平均の単位面積あたりの個数が1,386個/m²、単位体積あたりの個数が55個/Lであった。海岸別に個数のばらつきや分類別の組成の違いが大きかったが、日本海沿岸においては、「肥料コーティングカプセル」などの一次マイクロプラスチックほか、「プラスチック類」等が細片化した二次マイクロプラスチックと回収が困難なマイクロプラスチックが広く存在していると考えられる。

国内外で主要な環境問題のひとつとなっている海洋プラスチック問題が、日本海沿岸においても発生しており、課題として、関係機関の連携協力によるプラスチックごみの発生抑制や流出防止対策が必要となっている。

市民参加型の本調査では、高価な機材を用いず、専門的な調査に比べて繰り返し長期間にわたる調査が可能となるとともに、市民の環境保全意識が高められるといった利点がある。

このことから、今後も日本海沿岸の地方自治体、市民と連携した漂着物調査を継続的に行い、実態把握に努めるとともに、市民への普及啓発に取り組むことが必要である。

資 料 編

海辺の漂着物調査【調査海岸概況票】

自治体	調査エリア	調査海岸コード	記入者名		
海岸名	所在地				
緯度・経度	緯度： 度 分 秒 経度： 度 分 秒				
調査日時	年 月 日() 時 分 ~ 時 分				
天気概況	[当日] [前日]				
風速(風向)	[当日] 日最大 m/s() [前日] 日最大 m/s() [過去1か月間] 月 日、日最大 m/s()				
注意報・警報 発表状況	[当日] (発表日時： 解除日時：) [直近] (発表日時： 解除日時：) [観測所]				
台風・豪雨	<input type="checkbox"/> 3ヶ月より前 <input type="checkbox"/> 3ヶ月以内 <input type="checkbox"/> 1ヶ月以内				
地理的概況					
調査地域の状況	[用途] [近隣] [河川からの距離] [近くの河川流域の土地利用状況] [周辺状況]				
海岸の状況	[奥行] m [清掃状況] [年間利用者] 人				
参加団体 ※学校、団体、行政機関 などを調査に参加者を 全て記入してください	[参加者(団体)名] [参加人数] 人(大人 人、学生 人)				
漂着物調査区画	[海岸調査面積] m ² (内訳) (H - [列数] 延 列 (H - [区画数] 延 区画) [100m ² 未満の区画数] 区画 [波打ち際から漂着物が塊となっている箇所までの距離]				
	調査区画コード	H -	H -	H -	H -
	波打ち際からの距離	m	m	m	m
マイクロプラスチック調査地点	調査地点No.	No. 1	No. 2	No. 3	
	波打ち際からの距離	m	m	m	
特記事項 (当日の漂着物の 状況など)					

マイクロプラスチック調査 調査票

調査海岸コード		エリア	
調査海岸名		調査日時	
自治体名		記入者名	

調査地点番号		←※番号を1から付ける					
砂の採取場所		←※「満潮線上」、「独自方式(韓国科学技術院)」、「独自方式(その他)」、「不明」のどれかをプルダウンから選択					
砂の採取区画	縦[cm]a		横[cm]b		深さ[cm]c		
砂の採取量[L]d	0	←※自動計算($a \times b \times c / 1,000$)のため入力不可					
マイクロプラスチックの大きさの範囲[mm](最小~最大)		~		←※ふるいの目開きの大きさでも可			
砂の分離方法		←※「ふるい分離」、「浮上分離」、「不明」のどれかをプルダウンから選					
マイクロプラスチックの個数[個]	分類毎	① 硬質プラスチック破片		② シート状破片		③ 繊維状破片	
		④ 発泡スチロール片		⑤ レジンペレット		⑥ 人工芝破片	
		⑦ 肥料コーティングカプセル		⑧ その他(合計)	0	⑧ その他(分類不可)	
		⑧ その他(以下に名称)		⑧ その他(以下に名称)		⑧ その他(以下に名称)	
合計e	0	←※「⑧その他(合計)」と「合計e」は自動計算のため入力不可					
マイクロプラスチック密度	1Lあたり個数[個/L]		0.0	←※自動計算(e / d)のため入力不可			
	1m ² あたり個数[個/m ²]		0.0	←※自動計算($e / (a \times b) \times 10,000$)のため入力不可			

※ **水色のセルに入力**ください。(黄色のセルは自動で入力されるので、入力不可です。)

※「⑧その他(以下に名称)」欄には、①~⑦以外に、判別できたものがあれば、その種類と個数を記入ください。(例えば、「スポンジの破片」など)

備考欄 (砂の採取場所の詳細など)	
----------------------	--

エリア別分類別の漂着物重量(g)

エリア	番号	自治体	所在地	調査海岸名	調査回数	面積(m ²)	重量(g)									合計
							プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物		
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	650.0	0.0	5.0	0.0	3.0	866.0	18.0	469.0	2,011.0	
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	248.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	0.0	274.0	
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	300	5,404.0	87.0	253.0	0.0	0.0	0.0	542.0	1,000.0	7,286.0	
	4		壱岐市	里浜海水浴場	1	400	5,900.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	300.0	6,200.0	
	小計			合計	4	1,300	12,202.0	89.0	258.0	0.0	3.0	866.0	584.0	1,769.0	15,771.0	
				平均		325	3,050.5	22.3	64.5	0.0	0.8	216.5	146.0	442.3	3,942.8	
B	5	山口県	長門市	大浜海岸	1	500	6,002.0	6.0	49.0	2.0	0.0	33.0	67.0	1,893.0	8,052.0	
	6	島根県	益田市	持石海岸A	1	300	2,372.0	100.0	51.0	9.0	355.0	169.0	243.0	100.0	3,399.0	
	7			持石海岸C	1	300	3,508.0	183.0	71.0	8.0	224.0	0.0	89.0	252.0	4,335.0	
	8			持石海岸E	1	300	3,094.0	1,420.0	547.0	20.0	16.0	7.0	90.0	500.0	5,694.0	
	9			持石海岸F	1	300	2,539.0	1.0	524.0	1.0	5.0	0.0	401.0	1.0	3,472.0	
	10			小浜海岸B	1	300	3,904.0	65.0	69.0	8.0	199.0	1.0	295.0	322.0	4,863.0	
	12			鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	3,540.0	140.0	210.0	30.0	50.0	20.0	0.0	2,160.0
	13	岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	32.0	5.0	4.0	11.0	0.0	142.0	0.0	0.0	194.0		
	小計			合計	8	2,600	24,991.0	1,920.0	1,525.0	89.0	849.0	372.0	1,185.0	5,228.0	36,159.0	
				平均		325	3,123.9	240.0	190.6	11.1	106.1	46.5	148.1	653.5	4,519.9	
C	15	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	1	400	3,313.0	18.0	380.0	2.0	1.0	200.0	15.0	1,848.0	5,777.0	
	16		高岡市	松太枝浜	1	200	4,580.0	125.0	359.0	2.0	0.0	209.0	181.0	2,115.0	7,571.0	
	17		射水市	海老江海岸	1	400	430.0	7.0	15.0	3.0	0.0	0.0	0.0	941.0	1,396.0	
	18		富山市	岩瀬浜	1	300	1,183.0	30.0	47.0	1.0	3.0	466.0	31.0	2,962.0	4,723.0	
	19		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	400	101.0	147.0	33.0	1.0	0.0	0.0	0.0	3,756.0	4,038.0	
	小計			合計	5	1,700	9,607.0	327.0	834.0	9.0	4.0	875.0	227.0	11,622.0	23,505.0	
			平均		340	1,921.4	65.4	166.8	1.8	0.8	175.0	45.4	2,324.4	4,701.0		
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	300	1,500.0	0.0	8.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1,511.0	
	小計			合計	1	300	1,500.0	0.0	8.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1,511.0	
				平均		300	1,500.0	0.0	8.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1,511.0	
F	21	ハバロフ	ワーニンスキー地区	トキ入江	1	300	584.0	21.0	19.0	0.0	0.0	1,370.0	813.0	73.0	2,880.0	
	22	スク地方	ソビエツカヤガハニ地区	オブマンナヤ入江	1	300	2,174.0	90.0	34.0	158.0	275.0	2,675.0	1,640.0	0.0	7,046.0	
	小計			合計	2	600	2,758.0	111.0	53.0	158.0	275.0	4,045.0	2,453.0	73.0	9,926.0	
				平均		300	1,379.0	55.5	26.5	79.0	137.5	2,022.5	1,226.5	36.5	4,963.0	
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アンモク)海岸	1	600	1,668.0	4.0	2.0	2.0	4.0	10.0	8.0	25.0	1,723.0	
	小計			合計	1	600	1,668.0	4.0	2.0	2.0	4.0	10.0	8.0	25.0	1,723.0	
				平均		600	1,668.0	4.0	2.0	2.0	4.0	10.0	8.0	25.0	1,723.0	
合計					21	7,100	52,726.0	2,451.0	2,680.0	259.0	1,135.0	6,168.0	4,457.0	18,719.0	88,595.0	
平均						338	2,510.8	116.7	127.6	12.3	54.0	293.7	212.2	891.4	4,218.8	

エリア別分類別の漂着物個数(個)

エリア	番号	自治体	所在地	調査海岸名	調査回数	面積(m ²)	個数(個)								合計
							プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	83	0	4	0	1	19	2	1	110
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	117	11	0	0	0	0	4	0	132
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	300	464	3	97	0	0	0	9	6	579
	4		壱岐市	里浜海水浴場	1	400	381	0	0	0	0	0	0	1	382
	小計			合計	4	1,300	1,045	14	101	0	1	19	15	8	1,203
				平均		325	261	4	25	0	0	5	4	2	301
B	5	山口県	長門市	大浜海岸	1	500	1,060	6	112	13	0	6	2	16	1,215
	6	島根県	益田市	持石海岸A	1	300	274	4	37	6	13	2	13	19	368
	7			持石海岸C	1	300	376	19	94	5	9	0	9	8	520
	8			持石海岸E	1	300	165	5	89	5	2	1	5	20	292
	9			持石海岸F	1	300	130	2	30	1	4	0	6	23	196
	10			小浜海岸B	1	300	386	3	72	5	4	2	12	8	492
	12			鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	372	8	253	2	2	7	0
	13	岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	73	3	38	4	0	3	0	0	121	
	小計			合計	8	2,600	2,836	50	725	41	34	21	47	99	3,853
				平均		325	355	6	91	5	4	3	6	12	482
C	15	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	1	400	575	2	708	3	1	3	5	43	1,340
	16		高岡市	松太枝浜	1	200	843	3	355	4	0	2	6	22	1,235
	17		射水市	海老江海岸	1	400	850	7	185	6	0	0	0	39	1,087
	18		富山市	岩瀬浜	1	300	436	4	228	1	1	7	1	18	696
	19		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	400	88	1	138	1	0	0	0	12	240
	小計			合計	5	1,700	2,792	17	1,614	15	2	12	12	134	4,598
			平均		340	558	3	323	3	0	2	2	27	920	
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	300	49	0	9	1	0	0	0	1	60
	小計			合計	1	300	49	0	9	1	0	0	0	1	60
				平均		300	49	0	9	1	0	0	0	1	60
F	21	ハバロフスク地方	ワーニスキー地区	トキ入江	1	300	23	1	4	0	0	496	6	3	533
	22	ソビエツカヤガハニ地区	オブマンナヤ入江	1	300	306	10	11	5	16	50	32	0	430	
	小計			合計	2	600	329	11	15	5	16	546	38	3	963
				平均		300	165	6	8	3	8	273	19	2	482
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アンモク)海岸	1	600	139	8	68	9	20	15	21	83	363
	小計			合計	1	600	139	8	68	9	20	15	21	83	363
				平均		600	139	8	68	9	20	15	21	83	363
合計					21	7,100	7,190	100	2,532	71	73	613	133	328	11,040
平均						338	342	5	121	3	3	29	6	16	526

エリア別分類別の単位面積あたりの漂着物重量(g/100m²)

エリア	番号	自治体	所在地	調査海岸名	調査回数	面積(m ²)	単位面積あたりの重量(g/100m ²)								
							プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	合計
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	216.7	0.0	1.7	0.0	1.0	288.7	6.0	156.3	670.3
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	82.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	91.3
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	300	1,801.3	29.0	84.3	0.0	0.0	0.0	180.7	333.3	2,428.7
	4		壱岐市	里浜海水浴場	1	400	1,475.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	1,550.0
	小計			合計	4	1,300	3,575.7	29.7	86.0	0.0	1.0	288.7	194.7	564.7	4,740.3
				平均		325	893.9	7.4	21.5	0.0	0.3	72.2	48.7	141.2	1,185.1
B	5	山口県	長門市	大浜海岸	1	500	1,200.4	1.2	9.8	0.4	0.0	6.6	13.4	378.6	1,610.4
	6	島根県	益田市	持石海岸A	1	300	790.7	33.3	17.0	3.0	118.3	56.3	81.0	33.3	1,133.0
	7			持石海岸C	1	300	1,169.3	61.0	23.7	2.7	74.7	0.0	29.7	84.0	1,445.0
	8			持石海岸E	1	300	1,031.3	473.3	182.3	6.7	5.3	2.3	30.0	166.7	1,898.0
	9			持石海岸F	1	300	846.3	0.3	174.7	0.3	1.7	0.0	133.7	0.3	1,157.3
	10			小浜海岸B	1	300	1,301.3	21.7	23.0	2.7	66.3	0.3	98.3	107.3	1,621.0
	12			鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	1,180.0	46.7	70.0	10.0	16.7	6.7	0.0
	13	岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	10.7	1.7	1.3	3.7	0.0	47.3	0.0	0.0	64.7	
	小計			合計	8	2,600	7,530.1	639.2	501.8	29.4	283.0	119.6	386.1	1,490.3	10,979.4
				平均		325	941.3	79.9	62.7	3.7	35.4	15.0	48.3	186.3	1,372.4
C	15	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	1	400	828.3	4.5	95.0	0.5	0.3	50.0	3.8	462.0	1,444.3
	16		高岡市	松太枝浜	1	200	2,290.0	62.5	179.5	1.0	0.0	104.5	90.5	1,057.5	3,785.5
	17		射水市	海老江海岸	1	400	107.5	1.8	3.8	0.8	0.0	0.0	0.0	235.3	349.0
	18		富山市	岩瀬浜	1	300	394.3	10.0	15.7	0.3	1.0	155.3	10.3	987.3	1,574.3
	19		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	400	25.3	36.8	8.3	0.3	0.0	0.0	0.0	939.0	1,009.5
	小計			合計	5	1,700	3,645.3	115.5	302.2	2.8	1.3	309.8	104.6	3,681.1	8,162.6
			平均		340	729	23	60	1	0	62	21	736	1,632.5	
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	300	500.0	0.0	2.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	503.7
	小計			合計	1	300	500.0	0.0	2.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	503.7
				平均		300	500.0	0.0	2.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	503.7
F	21	ハバロフスク地方	ワーニンスキー地区	トキ入江	1	300	194.7	7.0	6.3	0.0	0.0	456.7	271.0	24.3	960.0
	22	ソビエツカヤガハニ地区	オブマンナヤ入江	1	300	724.7	30.0	11.3	52.7	91.7	891.7	546.7	0.0	2,348.7	
	小計			合計	2	600	919.3	37.0	17.7	52.7	91.7	1,348.3	817.7	24.3	3,308.7
				平均		300	460	19	9	26	46	674	409	12	1,654.3
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アンモク)海岸	1	600	278.0	0.7	0.3	0.3	0.7	1.7	1.3	4.2	287.2
	小計			合計	1	600	278.0	0.7	0.3	0.3	0.7	1.7	1.3	4.2	287.2
				平均		600	278.0	0.7	0.3	0.3	0.7	1.7	1.3	4.2	287.2
合計					21	7,100	16,448	822	911	86	378	2,068	1,504	5,765	27,982
平均						338	783.3	39.1	43.4	4.1	18.0	98.5	71.6	274.5	1,332.5

エリア別分類別の単位面積あたりの漂着物個数(個/100m²)

エリア	番号	自治体	所在地	調査海岸名	調査回数	面積(m ²)	単位面積あたりの個数(個/100m ²)								合計
							プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類	布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他の人工物	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	28	0	1	0	0	6	1	0	37
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	39	4	0	0	0	0	1	0	44
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	300	155	1	32	0	0	0	3	2	193
	4		壱岐市	里浜海水浴場	1	400	95	0	0	0	0	0	0	0	96
	小計		合計		4	1,300	317	5	34	0	0	6	5	3	369
			平均			325	79	1	8	0	0	2	1	1	92
B	5	山口県	長門市	大浜海岸	1	500	212	1	22	3	0	1	0	3	243
	6	島根県	益田市	持石海岸A	1	300	91	1	12	2	4	1	4	6	123
	7			持石海岸C	1	300	125	6	31	2	3	0	3	3	173
	8			持石海岸E	1	300	55	2	30	2	1	0	2	7	97
	9			持石海岸F	1	300	43	1	10	0	1	0	2	8	65
	10			小浜海岸B	1	300	129	1	24	2	1	1	4	3	164
	12			鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	124	3	84	1	1	2	0
	13	岩美郡岩美町	浦富海岸	1	300	24	1	13	1	0	1	0	0	40	
	小計		合計		8	2,600	804	16	227	12	11	6	15	31	1,122
			平均			325	101	2	28	1	1	1	2	4	140
C	15	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	1	400	144	1	177	1	0	1	1	11	335
	16		高岡市	松太枝浜	1	200	422	2	178	2	0	1	3	11	618
	17		射水市	海老江海岸	1	400	213	2	46	2	0	0	0	10	272
	18		富山市	岩瀬浜	1	300	145	1	76	0	0	2	0	6	232
	19		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	400	22	0	35	0	0	0	0	3	60
	小計		合計		5	1,700	945	5	511	5	1	4	5	41	1,516
		平均			340	189	1	102	1	0	1	1	8	303	
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	300	16	0	3	0	0	0	0	0	20
	小計		合計		1	300	16	0	3	0	0	0	0	0	20
			平均			300	16	0	3	0	0	0	0	0	20
F	21	ハバロフスク地方	ワーンスキー地区	トキ入江	1	300	8	0	1	0	0	165	2	1	178
	22	ソビエツカヤガハニ地区	オブマンナヤ入江	1	300	102	3	4	2	5	17	11	0	143	
	小計		合計		2	600	110	4	5	2	5	182	13	1	321
			平均			300	55	2	3	1	3	91	6	1	161
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アンモク)海岸	1	600	23	1	11	2	3	3	4	14	61
	小計		合計		1	600	23	1	11	2	3	3	4	14	61
			平均			600	23	1	11	2	3	3	4	14	61
合計					21	7,100	2,215	31	791	20	21	201	41	89	3,409
平均						338	105	1	38	1	1	10	2	4	162

エリア別プラスチック類の小分類別個数(個)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査回数	面積(m ²)	個数(個)										
							袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンベレット(プラスチック粒)	その他	合計	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	1	3	12	24	7	7	29	0	0	83	
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	25	3	10	34	9	1	33	0	2	117	
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	300	16	21	103	54	40	33	197	0	0	464	
	4		壱岐市	里浜海水浴場	1	400	11	4	11	245	5	3	0	0	102	381	
	小計				合計	4	1,300	53	31	136	357	61	44	259	0	104	1,045
					平均		325	13	8	34	89	15	11	65	0	26	261
B	5	山口県	長門市	大浜海岸	1	500	15	33	104	64	28	20	668	110	18	1,060	
	6	島根県	益田市	持石海岸A	1	300	34	32	32	30	24	10	104	0	8	274	
	7			持石海岸C	1	300	43	28	70	26	31	21	147	0	10	376	
	8			持石海岸E	1	300	10	27	22	17	8	34	42	1	4	165	
	9			持石海岸F	1	300	8	22	23	21	5	13	34	0	4	130	
	10			小浜海岸B	1	300	37	32	70	20	25	19	178	0	5	386	
	12			鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	14	17	24	24	26	16	242	0	9
	13	岩美郡岩美町	浦富海岸		1	300	0	0	2	29	1	2	37	2	0	73	
	小計				合計	8	2,600	161	191	347	231	148	135	1,452	113	58	2,836
					平均		325	20	24	43	29	19	17	182	14	7	355
C	15	富山県	水見市	鳥尾・松田江浜	1	400	2	12	50	128	18	23	337	0	5	575	
	16		高岡市	松太枝浜	1	200	0	13	57	132	29	38	554	0	20	843	
	17		射水市	海老江海岸	1	400	1	0	28	27	57	27	645	0	65	850	
	18		富山市	岩瀬浜	1	300	8	5	30	27	31	5	313	0	17	436	
	19		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	400	2	2	2	6	1	1	74	0	0	88	
	小計				合計	5	1,700	13	32	167	320	136	94	1,923	0	107	2,792
				平均		340	3	6	33	64	27	19	385	0	21	558	
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	300	6	7	11	0	3	6	16	0	0	49	
	小計				合計	1	300	6	7	11	0	3	6	16	0	49	
					平均		300	6	7	11	0	3	6	16	0	49	
F	21	ハバロフスク地方	ワーニンスキー地区	トキ入江	1	300	10	6	2	2	0	0	1	0	2	23	
	22		ソビエツカヤガハニ地区	オブマンナヤ入江	1	300	117	8	40	18	94	2	26	0	1	306	
	小計				合計	2	600	127	14	42	20	94	2	27	0	3	329
				平均		300	64	7	21	10	47	1	14	0	2	165	
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アンモク)海岸	1	600	26	1	5	38	13	0	54	0	2	139	
	小計				合計	1	600	26	1	5	38	13	0	54	0	2	139
					平均		600	26	1	5	38	13	0	54	0	2	139
合計					21	7,100	386	276	708	966	455	281	3,731	113	274	7,190	
平均						338	18	13	34	46	22	13	178	5	13	342	

エリア別単位面積あたりのプラスチック類の小分類別個数(個/100m²)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	調査回数	面積(m ²)	単位面積あたりの個数(個/100m ²)										
							袋	プラボトル	容器類	ひも類	雑貨類	漁具	破片類	レジンベレット(プラスチック粒)	その他	合計	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	300	0	1	4	8	2	2	10	0	0	28	
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	1	300	8	1	3	11	3	0	11	0	1	39	
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	300	5	7	34	18	13	11	66	0	0	155	
	4		壱岐市	里浜海水浴場	1	400	3	1	3	61	1	1	0	0	26	95	
	小計				合計	4	1,300	17	10	44	99	20	14	86	0	26	317
					平均		325	4	3	11	25	5	4	22	0	7	79
B	5	山口県	長門市	大浜海岸	1	500	3	7	21	13	6	4	134	22	4	212	
	6	島根県	益田市	持石海岸A	1	300	11	11	11	10	8	3	35	0	3	91	
	7			持石海岸C	1	300	14	9	23	9	10	7	49	0	3	125	
	8			持石海岸E	1	300	3	9	7	6	3	11	14	0	1	55	
	9			持石海岸F	1	300	3	7	8	7	2	4	11	0	1	43	
	10			小浜海岸B	1	300	12	11	23	7	8	6	59	0	2	129	
	12			鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	1	300	5	6	8	8	9	5	81	0	3
	13	岩美郡岩美町	浦富海岸			1	300	0	0	1	10	0	1	12	1	0	24
	小計				合計	8	2,600	52	59	102	68	46	42	395	23	17	804
					平均		325	6	7	13	9	6	5	49	3	2	101
C	15	富山県	水見市	島尾・松田江浜	1	400	1	3	13	32	5	6	84	0	1	144	
	16			高岡市	松太枝浜	1	200	0	7	29	66	15	19	277	0	10	422
	17			射水市	海老江海岸	1	400	0	0	7	7	14	7	161	0	16	213
	18			富山市	岩瀬浜	1	300	3	2	10	9	10	2	104	0	6	145
	19			下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	1	400	1	1	1	2	0	0	19	0	0	22
	小計				合計	5	1,700	4	12	59	115	44	33	645	0	33	945
				平均		340	1	2	12	23	9	7	129	0	7	189	
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	1	300	2	2	4	0	1	2	5	0	0	16	
	小計				合計	1	300	2	2	4	0	1	2	5	0	0	16
					平均		300	2	2	4	0	1	2	5	0	0	16
F	21	ハバロフスク地方	ワーニンスキー地区	トキ入江	1	300	3	2	1	1	0	0	0	0	1	8	
	22		ソビエツカヤガハニ地区	オブマンナヤ入江	1	300	39	3	13	6	31	1	9	0	0	102	
	小計				合計	2	600	42	5	14	7	31	1	9	0	1	110
					平均		300	21	2	7	3	16	0	5	0	1	55
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アンモク)海岸	1	600	4	0	1	6	2	0	9	0	0	23	
	小計				合計	1	600	4	0	1	6	2	0	9	0	0	23
					平均		600	4	0	1	6	2	0	9	0	0	23
合計					21	7,100	121	88	223	295	144	93	1,150	23	78	2,215	
平均						338	6	4	11	14	7	4	55	1	4	105	

エリア別マイクロプラスチックの分類別個数(個)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	地点数	面積 (cm ²)	砂の 採取量 (L)	個数(個)								合計
								硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンベレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他	
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	400	1	2	0	1	0	1	0	1	0	5
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	3	400, 400, 400	1, 1, 1	41	15	4	1	0	0	2	0	63
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	400	1	0	0	1	2	1	0	0	0	4
	4		壱岐市	里浜海水浴場	3	400, 400, 400	1, 1, 1	13	1	0	0	0	0	0	0	14
	小計			合計	8			56	16	6	3	2	0	3	0	86
			平均				14	4	2	1	1	0	1	0	22	
B	11	島根県	出雲市	西浜海岸	2	400, 400	1, 1	0	0	0	228	0	0	22	5	255
	12	鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	2	400, 400	1, 1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13		岩美郡岩美町	浦富海岸	3	400, 400, 400	1, 1, 1	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	小計			合計	7			0	0	0	230	0	0	22	5	257
			平均				0	0	0	77	0	0	7	2	86	
C	14	石川県	羽咋市	柴垣海岸	3	400, 400, 400	1, 1, 1	6	2	0	11	0	0	1	0	20
	15	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	3	400, 400, 400	1, 1, 1	9	0	1	703	1	0	122	0	836
	16		高岡市	松太枝浜	3	400, 400, 400	1, 1, 1	0	0	0	2	0	0	30	0	32
	17		射水市	海老江海岸	3	400, 400, 400	1, 1, 1	9	1	2	73	4	1	530	0	620
	18		富山市	岩瀬浜	3	400, 400, 400	1, 1, 1	2	1	0	38	1	1	572	0	615
	19		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	3	400, 400, 400	1, 1, 1	0	0	0	7	0	0	64	0	71
小計			合計	18			26	4	3	834	6	2	1,319	0	2,194	
			平均				4	1	1	139	1	0	220	0	366	
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	3	400, 400, 400	1, 1, 1	20	9	4	0	1	0	0	0	34
	小計			合計	3			20	9	4	0	1	0	0	0	34
				平均				20	9	4	0	1	0	0	0	34
F	21	ハバロフ スク地方	ワーンスキュー地区	トキ入江	2	400, 400	1, 1	6	0	2	0	0	0	0	0	8
	22		ソビエツカヤガバン地区	オブマンナヤ入江	2	400, 400	1, 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計			合計	4			6	0	2	0	0	0	0	0	8
			平均				3	0	1	0	0	0	0	0	4	
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アソモク)海岸	3	400, 400, 400	1, 1, 1	27	22	11	21	5	2	9	2	99
	小計			合計	3			27	22	11	21	5	2	9	2	99
				平均				27	22	11	21	5	2	9	2	99
合計					43			135	51	26	1,088	14	4	1,353	7	2,678
平均								8	3	2	64	1	0	80	0	158

エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位面積あたりの個数(個/m²)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	地点数	面積 (cm ²)	砂の 採取量 (L)	単位面積あたりの個数(個/m ²)								合計	
								硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンペレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他		
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	400	1	50	0	25	0	25	0	25	0	125	
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	3	400,400,400	1,1,1	342	125	33	8	0	0	17	0	525	
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	400	1	0	0	25	50	25	0	0	0	100	
	4		壱岐市	里浜海水浴場	3	400,400,400	1,1,1	108	8	0	0	0	0	0	0	117	
	小計				合計	8			500	133	83	58	50	0	42	0	867
	小計				平均				125	33	21	15	13	0	10	0	217
B	11	島根県	出雲市	西浜海岸	2	400,400	1,1	0	0	0	2,850	0	0	275	63	3,188	
	12	鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	2	400,400	1,1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	13		岩美郡岩美町	浦富海岸	3	400,400,400	1,1,1	0	0	0	17	0	0	0	0		
	小計				合計	7			0	0	0	2,867	0	0	275	63	3,204
小計				平均				0	0	0	956	0	0	92	21	1,068	
C	14	石川県	羽咋市	柴垣海岸	3	400,400,400	1,1,1	50	17	0	92	0	0	8	0	167	
	15	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	3	400,400,400	1,1,1	75	0	8	5,858	8	0	1,017	0	6,967	
	16		高岡市	松太枝浜	3	400,400,400	1,1,1	0	0	0	17	0	0	250	0	267	
	17		射水市	海老江海岸	3	400,400,400	1,1,1	75	8	17	608	33	8	4,417	0	5,167	
	18		富山市	岩瀬浜	3	400,400,400	1,1,1	17	8	0	317	8	8	4,767	0	5,125	
	19		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	3	400,400,400	1,1,1	0	0	0	58	0	0	533	0	592	
	小計				合計	18			217	33	25	6,950	50	17	10,992	0	18,283
小計				平均				36	6	4	1,158	8	3	1,832	0	3,047	
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	3	400,400,400	1,1,1	167	75	33	0	8	0	0	0	283	
	小計				合計	3			167	75	33	0	8	0	0	283	
	小計				平均				167	75	33	0	8	0	0	283	
F	21	ハバロフ	ワーンスキー地区	トキ入江	2	400,400	1,1	75	0	25	0	0	0	0	0	100	
	22	スク地方	ソビエツカヤガバン地区	オブマンナヤ入江	2	400,400	1,1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計				合計	4			75	0	25	0	0	0	0	100	
	小計				平均				38	0	13	0	0	0	0	50	
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アンモク)海岸	3	400,400,400	1,1,1	225	183	92	175	42	17	75	17	825	
	小計				合計	3			225	183	92	175	42	17	75	17	825
	小計				平均				225	183	92	175	42	17	75	17	825
合計					43			1,183	425	258	10,050	150	33	11,383	79	23,563	
平均								70	25	15	591	9	2	670	5	1,386	

エリア別分類別のマイクロプラスチックの単位体積あたりの個数(個/L)

エリア	番号	所在地	所在地	調査海岸名	地点数	面積 (cm ²)	砂の 採取量 (L)	単位体積あたりの個数(個/L)								合計	
								硬質プラスチック破片	シート状破片	繊維状破片	発泡スチロール片	レジンペレット	人工芝破片	肥料コーティングカプセル	その他		
A	1	長崎県	五島市	田尾海岸	1	400	1	2	0	1	0	1	0	1	0	5	
	2		南松浦郡新上五島町	蛤浜海水浴場	3	400,400,400	1,1,1	14	5	1	0	0	1	0	21		
	3		対馬市	湊浜海浜公園	1	400	1	0	0	1	2	1	0	0	4		
	4		壱岐市	里浜海水浴場	3	400,400,400	1,1,1	4	0	0	0	0	0	0	5		
	小計				合計	8			20	5	3	2	2	0	2	0	35
					平均				5	1	1	1	1	0	0	0	9
B	11	島根県	出雲市	西浜海岸	2	400,400	1,1	0	0	0	114	0	0	11	3	128	
	12	鳥取県	米子市	弓ヶ浜海岸	2	400,400	1,1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	13		岩美郡岩美町	浦富海岸	3	400,400,400	1,1,1	0	0	0	1	0	0	0	1		
	小計				合計	7			0	0	0	115	0	0	11	3	128
				平均				0	0	0	38	0	0	4	1	43	
C	14	石川県	羽咋市	柴垣海岸	3	400,400,400	1,1,1	2	1	0	4	0	0	0	0	7	
	15	富山県	氷見市	島尾・松田江浜	3	400,400,400	1,1,1	3	0	0	234	0	0	41	0	279	
	16		高岡市	松太枝浜	3	400,400,400	1,1,1	0	0	0	1	0	0	10	0	11	
	17		射水市	海老江海岸	3	400,400,400	1,1,1	3	0	1	24	1	0	177	0	207	
	18		富山市	岩瀬浜	3	400,400,400	1,1,1	1	0	0	13	0	0	191	0	205	
	19		下新川郡朝日町	宮崎・境海岸	3	400,400,400	1,1,1	0	0	0	2	0	0	21	0	24	
	小計				合計	18			9	1	1	278	2	1	440	0	731
				平均				1	0	0	46	0	0	73	0	122	
D	20	山形県	酒田市	浜中あさり海水浴場	3	400,400,400	1,1,1	7	3	1	0	0	0	0	0	11	
	小計				合計	3			7	3	1	0	0	0	0	11	
					平均				7	3	1	0	0	0	0	11	
F	21	ハバロフ	ワーンニスキー地区	トキ入江	2	400,400	1,1	3	0	1	0	0	0	0	0	4	
	22	スク地方	ソビエツカヤガパン地区	オブマンナヤ入江	2	400,400	1,1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計				合計	4			3	0	1	0	0	0	0	4	
					平均				2	0	1	0	0	0	0	2	
G	23	江原特別自治道	江陵市	安木(アンモク)海岸	3	400,400,400	1,1,1	9	7	4	7	2	1	3	1	33	
	小計				合計	3			9	7	4	7	2	1	3	1	33
					平均				9	7	4	7	2	1	3	1	33
合計					43			47	17	10	402	6	1	455	3	943	
平均								3	1	1	24	0	0	27	0	55	

漂着物調査とマイクロプラスチック調査の様子

日本

長崎県	
五島市 田尾海岸	南松浦郡新上五島町 蛤浜海水浴場
	
対馬市 湊浜海浜公園	壱岐市 里浜海水浴場
	

山口県	
長門市 大浜海岸	
	

島根県

益田市 持石海岸A



益田市 持石海岸C



益田市 持石海岸E



益田市 持石海岸F



益田市 小浜海岸B



出雲市 西浜海岸



鳥取県

米子市 弓ヶ浜海岸



岩美郡岩美町 浦富海岸



石川県

羽咋市 柴垣海岸



山形県

酒田市 浜中あさり海水浴場



富山県

氷見市 島尾・松田江浜



高岡市 松太枝浜



富山市 岩瀬浜



射水市 海老江海岸



下新川郡朝日町 宮崎・境海岸



ロシア

ハバロフスク地方

ワーニンスキー地区 トキ入江



ソビエツカヤガバン地区 オブマンナヤ入江



韓国

江原特別自治道

江陵市 安木(アンモク)海岸





海洋ごみがない海岸はどんなところ？

没有海洋垃圾的海岸是个什么样的地方？

해양쓰레기가 없는 해안은 어떤 곳인가？

Какое оно побережье где нет морского мусора？



公益財団法人 環日本海環境協力センター

NPEC Northwest Pacific Region Environmental Cooperation Center (NPEC)

〒930-0856 富山県富山市牛島新町5-5

TEL. 076-445-1571 FAX. 076-445-1581

<https://www.npec.or.jp/>